

きた住まいるサポートシステム  
操作マニュアル

令和2年5月

北海道建設部住宅局建築指導課

## 目次

1	きた住まいるサポートシステムについて	1
1.1	きた住まいるメンバーとは？	1
1.2	きた住まいるサポートシステムの概要について	2
1.3	きた住まいるメンバーシート・実績シートについて	4
1.4	住宅ラベリングシート・住宅概要シートについて	11
1.5	履歴保管された住宅情報について（住宅 ID 取得者）	15
2	システム利用のおおまかな流れ	16
3	システムへのログイン	17
3.1	ID・パスワードの取得	17
3.2	ログイン	18
3.3	ログアウト	20
4	パスワードの変更	21
5	マイページについて	22
5.1	きた住まいるメンバーの場合	22
5.2	住宅 ID 取得者の場合	24
6	きた住まいるメンバーシートの作成	26
6.1	きた住まいるメンバー情報の入力	26
6.2	きた住まいるメンバーシートの公開・非公開設定	29
7	住宅データを新しく作成する	30
8	住宅の詳細情報の入力について	35
9	住宅データの入力について	39
9.1	住宅データ入力の主な流れ	39
9.2	住宅データの入力	40
9.3	住宅ラベリングシート・住宅概要シートの作成	41
9.4	保管用詳細データの入力・各基準への適合判定	47
10	点検・修繕履歴の入力	52
11	住宅ラベリングシートの発行について	53
12	きた住まいる実績への反映について	56
12.1	本システムで住宅ラベリングシートを発行する場合	57
12.2	本システム以外の住宅ラベリングシートを添付する場合	58
13	保管申請をする	61
14	利用者の紐付け機能について	65

15 ひな形データの活用（住宅データの複製） .....	67
15.1 ひな形データの作成 .....	67
15.2 ひな形データを利用した住宅データの複製.....	68
巻末資料	
ラベリングシートを発行する要件	
きた住まいの実績に反映する要件	
北方型住宅(ECO)の適合するための要件	
北海道 R 住宅の適合するための要件	
その他住宅の適合するための要件	

# 1 きた住まいのサポートシステムについて

## 1.1 きた住まいのメンバーとは？

北海道が定めたルールを守り、安心して良質な家づくりができる  
**北海道がおススメする住宅事業者です。**

住宅の基本性能の確保や専門技術者による設計・施工、家づくりに関する記録の保管などのルールを守る道内の住宅事業者を「きた住まいのメンバー」として北海道が登録しています。

「きた住まいのメンバー」がつくる家は、**3つのルールを守った安心な家!**

### ルール①

省エネ・耐久・耐震といった**基本性能の確保**

省エネ性能	耐久性能	耐震性能
断熱等性能等級 <b>4以上</b>	劣化対策等級 <b>3以上</b>	新築住宅 / 平成12年基準以上
一次エネルギー消費量等級 <b>4以上</b>		既存住宅 / 昭和56年基準以上

※日本住宅性能表示基準に規定する等級。

### ルール②

**BIS<sup>※1</sup>やBIS-E<sup>※2</sup>などの専門技術者による設計・施工**

※1:建築物の温熱環境要件に関して高度な専門知識を有し、正しい設計、精度の高い施工方法を指導できる技術者。  
※2:住宅等の適切な断熱・気密施工技能を有し、これを指導できる技術者。  
詳しくは、<http://www.hobea.or.jp> をご覧ください。

### ルール③

設計や施工など家づくりに関する**記録の保管**

※きた住まいのランド「きた住まいのメンバー一覧」ページ参考

・ <https://www.kita-smile.jp/member>

## 1.2 きた住まいるサポートシステムの概要について

「きた住まいる」とは、省エネ性能、耐久性能及び耐震性能を確保しながら、多様化するユーザーのニーズにも対応した良質な住まいを安心して取得し、維持管理できる環境の形成を目指した制度です。

この制度により、省エネ性能や耐久性能に係る一定の技術水準を擁する道内の住宅事業者である「きた住まいるメンバー」として登録された事業者が、その情報を消費者へわかりやすく表示するため、また、住宅の履歴を保管するためのシステムが「きた住まいるサポートシステム」です。

【きた住まいるサポートシステムでできること】

きた住まいるメンバー	きた住まいるメンバーシートの作成・公開	→P26
	住宅ラベリングシートの作成・発行	→P41、P53
	住宅概要シートの作成・公開	→P41
	住宅基準への適合判定（北方型住宅基準など）	→P47
	住宅履歴の保管（住宅建設時から点検・修繕、改修）	→P61
一般利用者	きた住まいるメンバーの情報や実績の検索	→P4
	住宅ラベリングシートの見方	→P11
	履歴保管された住宅情報の見方	→P15

## 動作環境

本システムは Web アプリケーションのため、ブラウザ上で動作します。  
本システムを利用するためには、インターネットへ常時接続している必要があります。

OS	Microsoft Windows7 以上であること Mac OSX 以上であること
Web ブラウザ	以下のいずれかのバージョン以上であること Microsoft InternetExplorer11 以上 Mozilla FireFox 28 以上 Google Chrome 32 以上 Opera 20 以上
その他	PDF ファイル閲覧：Adobe Reader を推奨 CSV ファイル閲覧・編集：Microsoft Excel を推奨

## その他の動作条件

本システムでは JavaScript および Cookie を利用します。そのため、ブラウザと OS の設定でこれらを許可するようにしてください。これらが利用できない環境では、ソフトのバージョン等が上記のとおりでも、動作しません。

また、本システムではメールアドレスの登録が必須となっています。有効な PC 用のメールアドレスをご用意ください。

## 留意事項

システム更新は、「お知らせ」に掲載されますので、ご注意ください。

### 1.3 きた住まいるメンバーシート・実績シートについて

きた住まいるサポートシステムでは、きた住まいるメンバーの会社概要や有資格者登録数、きた住まいる基本性能項目に対する技術対応力等を入力することで、「きた住まいるメンバーシート」を作成することができます。

また、きた住まいるの基本性能項目を満たした住宅のデータを入力し、実績として反映させることにより、「実績シート」を作成することができます。

メンバーシートと実績シートは、一般利用者がメンバーを検索する画面「きた住まいるメンバー検索」で公開することができ、メンバーは自社の技術力などをPRすることができます。

上図のように、メンバー検索画面で「メンバーシート」「実績シート」をクリックすると、以下のような画面がそれぞれ開きます。

## ■ メンバーシートの表示例 ①

きた住まいサポートシステム ログアウト | システム管理者 様 (000001)

○きた住まいるメンバー検索 ○システム管理者専用マイページ ○ご利用方法 ○お問い合わせ

きた住まいるメンバーシート【メンバー試験160616】

■ 会社概要 入力情報更新日：2016年07月28日

会社名（商号又は名称）	メンバー試験160616		
所在地	札幌市西区中央5条9丁目3-1		
登録番号	887766	登録区分	住宅設計 住宅建設
登録日	2016年06月06日	対応する住宅種類	戸建新築 戸建改修 共同新築 共同改修

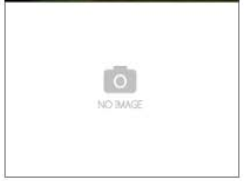
**01 高断熱・高耐久性への挑戦**

私たちは北海道の冷涼な気候へ対応した高断熱・高耐久性住宅の設計と建設に携わって30年の歴史を有しています。新築住宅の設計・施工はもとより、既存住宅のリフォーム・リビルド、リノベーション住宅の企画・設計にいたるまで手がけております。お気軽にご相談ください。



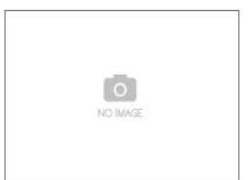
**02 コストと利便性の両立**

当社がご提供する住宅は単に数値で図れる性能が良いだけにとどまりません。すべての居室、すべての部分において住まう人の感性に訴えかけるものを備えている、住まうことがひとつのエモーションとなる、それが当社のプランです。



**03 標準装備の充実**

当社がご提供するプランはいずれも標準装備として〇〇、〇〇、〇〇などを備えており、住宅として求められる基本性能を十分に満たすものです。そのため、お施主様には住宅の間取りやデザインといった部分のご検討に専念していただくことが可能です。





## ■ メンバーシートの表示例 ②

■ 会社概要 入力情報更新日：2016年07月28日

会社名（商号又は名称）	メンバー試験160616		
所在地	札幌市西区中央5条9丁目3-1		
登録番号	887766	登録区分	住宅設計 住宅建設
登録日	2016年06月06日	対応する住宅種類	戸建新築 戸建改修 共同新築 共同改修
創立年月	平成24年2月	資本金	1500万円
従業員数	39名		
TEL	011-999-0000	フリーダイヤル	0120-00-5678
FAX	011-000-9999	E-Mail	hogehoge@sample.com
URL	http://www.yahoo.co.jp		
業務内容	私たちは北海道の冷涼な気候へ対応した高断熱・高耐久性住宅の設計と建設に携わって30年の歴史を有しています。新築住宅の設計・施工はもとより、既存住宅のリフォーム・リビルド、リノベーション住宅の企画・設計にいたるまで手がけております。お気軽にご相談ください。		
業務エリア	札幌市・小樽市・石狩市及び周辺市町村		
住宅構造	木造/軽量鉄骨/鉄筋/その他(ログハウス)		
建設業許可種別	建築工事業	建設業許可番号	(特-9)第123456号
建築士事務所登録種別	一級	建築士事務所登録番号	第54321号
所属団体等	公益財団法人〇〇センター/一般社団法人〇〇普及会		

## ■ 有資格者在籍数

一級建築士	1名	二級建築士	2名	木造建築士	3名	一級建築施工管理技士	4名
二級建築施工管理技士	5名	断熱施工技術者(BIS)	6名	断熱施工技術者(BIS-E)	7名	断熱施工技術者(BIS-M)	8名
住宅省エネルギー技術講習会 設計者講習会修了者	1名	住宅省エネルギー技術講習会 施工技術者講習会修了者	2名	北海道住宅検査人	9名	既存住宅状況調査技術者	2名
〇〇〇技術者	2名	□□□技術者	3名	-	-	-	GOT
-							

■ メンバーシートの表示例 ③

■ 過去の実績

■ 戸建（新築）

北方型住宅	1戸	北方型住宅ECO	2戸	長期優良住宅	4戸
北海道M住宅	3戸	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

■ 戸建（改修【リフォーム】）

北海道R住宅	5戸	耐震リフォーム ※性能向上に限る	-	省エネルギーフォーム ※性能向上に限る	3戸
耐久リフォーム ※性能向上に限る	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

■ 共同（新築）

北方型住宅	4戸	北方型住宅ECO	10戸	長期優良住宅	1戸
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

■ 共同（改修【リフォーム】）

北海道R住宅	2戸	耐震リフォーム ※性能向上に限る	1戸	省エネルギーフォーム ※性能向上に限る	1戸
耐久リフォーム ※性能向上に限る	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

## ■ メンバーシートの表示例 ④

### ■ 基本性能項目に対する技術対応力

#### ■ 戸建（新築）

基本性能項目	内容	等級					
		1	2	3	4	5	6
耐震等級（構造躯体の倒壊等防止）	地震などに対する強さ（構造の安定）	－	－	－	1	2	3
断熱等性能等級	省エネルギー対策（温熱環境）	1	2	3	4		
一次エネルギー消費量等級	省エネルギー対策（エネルギー消費量）	－	－	－	4	5	
劣化対策等級（構造躯体等）	柱や土台などの耐久性（劣化の軽減）	－	1	2	3		
住宅性能に関する取組・特徴	寒冷地域である北海道の気候にあわせて対応を行っております。						

#### ■ 戸建（改修【リフォーム】）

基本性能項目	内容	等級					
		1	2	3	4	5	6
耐震等級（構造躯体の倒壊等防止）	地震などに対する強さ（構造の安定）	－	－	－	1	2	3
断熱等性能等級	省エネルギー対策（温熱環境）	－	1	2	3	4	
劣化対策等級（構造躯体等）	柱や土台などの耐久性（劣化の軽減）	－	1	2	3		
住宅性能に関する取組・特徴							

#### ■ 共同（新築）

基本性能項目	内容	等級					
		1	2	3	4	5	6
耐震等級（構造躯体の倒壊等防止）	地震などに対する強さ（構造の安定）	－	－	－	1	2	3
断熱等性能等級	省エネルギー対策（温熱環境）	1	2	3	4		
一次エネルギー消費量等級	省エネルギー対策（エネルギー消費量）	－	－	－	4	5	
劣化対策等級（構造躯体等）	柱や土台などの耐久性（劣化の軽減）	－	1	2	3		
住宅性能に関する取組・特徴	共同住宅でも寒冷地域である北海道の気候にあわせて対応を行っております。						

#### ■ 共同（改修【リフォーム】）

基本性能項目	内容	等級					
		1	2	3	4	5	6
耐震等級（構造躯体の倒壊等防止）	地震などに対する強さ（構造の安定）	－	－	－	1	2	3
断熱等性能等級	省エネルギー対策（温熱環境）	－	1	2	3	4	
劣化対策等級（構造躯体等）	柱や土台などの耐久性（劣化の軽減）	－	1	2	3		
住宅性能に関する取組・特徴	共同住宅でも寒冷地域である北海道の気候にあわせて対応を行っております。						

## ■ メンバーシートの表示例 ⑤

### ■ 住宅履歴の保管

本システムでの保管	きた住まいるサポートシステムで設計図書等の住宅データを保管する
きた住まいるサポートシステム以外の 保管方法・機関(1)	本システム（一般財団法人北海道建築指導センター）
きた住まいるサポートシステム以外の 保管方法・機関(2)	
きた住まいるサポートシステム以外の 保管方法・機関(3)	

### ■ 建設後の点検・維持管理

定期点検	
------	--

### ■ その他

その他	私たちは北海道の冷涼な気候へ対応した高断熱・高耐久性住宅の設計と建設に携わって30年の歴史を有しています。新築住宅の設計・施工はもとより、既存住宅のリフォーム・リビルド、リノベーション住宅の企画・設計にいたるまで手がけております。お気軽にご相談ください。
-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

PDF版をダウンロードする

■ 実績シートの表示例

きた住まいる実績シート【株式会社〇〇建築設計】

会社概要 入力情報更新日：2019年07月17日

会社名（商号又は名称）	株式会社〇〇建築設計		
所在地	札幌市中央区北1条西1丁目1-1		
登録番号	0012345	登録区分	住宅設計・建設事業者
登録日	2016年05月11日	対応する住宅種類	戸建（新築）・戸建（改修）・共同（新築）・共同（改修）

実績一覧【戸建住宅（改修【リフォーム】）】

住宅番号	住宅概要				きた住まいるブランド住宅	概要閲覧	備考
00008367	建設地	札幌市	竣工年	2016年		概要シート	設計のみ
	敷地面積	300㎡	延床面積	200㎡			
	構造	その他	階数	2階建			

実績一覧【共同住宅（新築）】

住宅番号	住宅概要				きた住まいるブランド住宅	概要閲覧	備考
00008363	建設地		竣工年			非公開	設計・建設
	敷地面積		延床面積				
	構造		階数				

PDF版をダウンロードする

実績シートで概要が公開されている住宅は、クリックすることで「住宅概要シート」を開くことができます。

## 1.4 住宅ラベリングシート・住宅概要シートについて

きた住まいるサポートシステムでは、住宅の情報を入力（→P39）することで、「住宅ラベリングシート」を作成することができ、住宅の性能や特長をわかりやすく表示することができます。

### ■ 住宅ラベリングシート

住宅ラベリングシートは、住宅の写真、住宅・土地の概要、設計上の特長に加え、きた住まいるで定める基本性能（耐震性能、省エネルギー性能、耐久性）やきた住まいるブランド住宅の適合状況などを表示します。

きた住まいるメンバーは、建設後に、このシートを住宅所有者に発行し、住宅性能などを説明する際に活用します。

### 新築住宅の場合

発行日：  
作成者：




## 住宅ラベリングシート(未確定)

住宅番号：00008374

戸建  
新築

### ■ 住宅の写真



### ■ 住宅の写真

住宅の外観・内観写真を表示します。

### ■ 住宅・土地の概要

建設地	〇〇市〇〇区〇〇丁目 14	構造・階数・材料区分	木造・2階建/その他
所在行政区	〇〇市〇〇区〇〇丁目 14	床面積/仕立形式	144.48㎡/4LDK以上
用途地域	第一種住居地域	建築面積	89.81㎡
地区計画/指定等	〇〇計画	延床面積	99.81㎡
取得年月	1988.10.01	耐震等級	耐震等級1
地盤状況	地盤調査結果あり	築年数	27年
地震リスク	表層改良	耐エネルギー等級	大気熱伝導
竣工年月日	2016年09月06日		

### ■ 事業者の概要

設計・建築者(設計)	〇〇建設
設計・建築者(施工)	〇〇設計事務所
伊達事業者	〇〇建設
BS	北海道 (123456)
BS	北海道 (345678)
BS	北海道 (123456)
BS	北海道 (345678)
BS	北海道 (123456)
BS	北海道 (345678)

### ■ 住宅性能

登録住宅性能評価機関による
  登録住宅性能評価機関等による(ない)

項目	内容	等級					
		1	2	3	4	5	
耐震等級 (特選級除の簡易等級)	地震などに対する堅さ (耐震の安定)				1	2	3
きた住まいる基本性能項目					4		
断熱性能等級	省エネルギー対策 (断熱性能)	1	2	3			
一次エネルギー消費量等級	省エネルギー対策 (エネルギー消費量)	1			4	5	
劣化対策等級 (構造体等)	柱や土台などの耐久性 (劣化の軽減)		1	2	3		
その他の性能項目					1	2	3
維持管理対策等級 (専用部分)	写真的清掃や修繕のしやすさ、更新対策 (維持管理・更新への配慮)						
両面等配光対策等級 (専用部分)	西向きや障害物への配慮 (西向き等への配慮)				1	2	3
							4

#### ● 外皮性能

この住宅の外皮平均熱伝導率 U<sub>0.34</sub> [W/m<sup>2</sup>・K]

0.34

(1.2未満(2.06) 0.800以下(0.47))

第三者認証済み

評価等級: 2.4 (総合区分: 1)

#### ● 気密性能

この住宅の気密指数 (n<sub>50</sub>)

0.08

評価等級: 0.08

#### ● 一次エネルギー消費量

この住宅の一次エネルギー消費量

未算定

評価等級: 未算定

### ■ 設計上の特長

4LDK、1及び2階にバルコニーあり、2階にトイレあり、1.5世帯住宅、駐車スペース2台(カーポート)

### ■ きた住まいるブランド住宅の適合状況

長期優良住宅	認定年月日: 2016/08/31	認定番号: 第123456789号
住宅性能評価	認定年月日: 2016/08/29	建築〇〇センター
住宅性能評価	認定年月日: 2016/08/06	建築〇〇センター
きた住まいるサポートシステム	登録番号: 〇〇〇〇〇〇〇〇	
住宅性能評価	登録番号: 〇〇〇〇〇〇〇〇	
住宅性能評価	登録番号: 〇〇〇〇〇〇〇〇	

### ■ 認定・登録状況

### ■ 住宅の外気性能、気密性能、一次エネルギー消費量を表示します。

### ■ 設計上の特長やきた住まいるブランド住宅への適合状況、認定・登録状況を表示します。

既存【リフォーム】住宅の場合



きた住まいる

## 住宅ラベリングシート(未確定)

住宅番号: 000101189  
発行日:  
作成者:

戸建  
改修

---

### ■ 住宅の写真



### ■ 改修工事の概要

断熱性向上!	新築同等以上
省エネ性向上!	省エネ等級向上
耐久性向上!	耐久等級向上
その他	その他等級向上

---

### ■ 住宅・土地の概要

種別	ap+213東西6丁目	構造・基礎/柱骨	木造・2階建/準耐火構造
所在地	ap+4 団地内	延床面積/坪数	150m <sup>2</sup> /36
地区計画/用途	a	用途	R15
延床面積	300m <sup>2</sup>	階数	2階
建物種類	木造(1階あり)	給排水	E1/給排水
建物状態	a	竣工/改修/解体	2階/改修
竣工/年月日	2018/01/15	インスペクション年月日	2019/01/02
		改修年月日(工事)	2019/01/02

### ■ 事業者(改修)の概要

設計(建築設計)	建築株式会社
設計(室内設計)	建築株式会社
建築事務所	建築株式会社
FES	
FES F	
設計/建築士会等	
設計/建築士会等	
インスペクション実施機関	あまあま (北海道住宅協会)

---

### ■ 住宅性能

登録住宅性能評価機関による  登録住宅性能評価機関による(別紙) 本工事の作業の仕上がり、完成、本工事により得られた性能

この住宅は、「きた住まいる」で求める住宅性能(既存基準)を満たしていません。

項目	内容	等級	性能高い					備考	
			0	1	2	3	4		5
きた住まいる 基本性能項目	耐震等級 (構造体の耐震等級)	地震などに対する強さ (構造の変更)	既存基準				3		
	断熱性能等級	省エネルギー対策(断熱環境)	既存基準	1	2				
	劣化対策等級(構造部等)	柱や土台などの耐久性 (劣化の経過)	既存基準	0	1	2	3		
その他の 性能項目	一次エネルギー消費量等級	省エネルギー対策 (エネルギー消費量)	既存基準	1			4	5	
	維持管理対策等級(専用部分)	配管の清掃や修繕のしやすさ、 更新対策(維持管理・更新への配慮)	既存基準		1	2	3		
	高齢者等配慮対策等級 (専用部分)	高齢者や障害者への配慮 (高齢者等への配慮)	既存基準	0	1	2	3	4	5

---

### ● 外皮性能

この住宅の外皮平均熱伝達率 **0.46** W/m<sup>2</sup>K

自己評価による: 0.46 W/m<sup>2</sup>K (0.40 W/m<sup>2</sup>K - 0.50 W/m<sup>2</sup>K)

4.3 (0.40 W/m<sup>2</sup>K)

### ● 気密性能

この住宅の気密性能(実測値)相当換気回数 **1.5** 回/時

### ● 一次エネルギー消費量

この住宅の設計一次エネルギー消費量 **0%削減** (0.14 kWh/m<sup>2</sup>・年)

自己評価による: 0.14 kWh/m<sup>2</sup>・年 (0.14 kWh/m<sup>2</sup>・年)

0%削減 (0.14 kWh/m<sup>2</sup>・年)

---

### ■ きた住まいるブランド住宅の適合状況

### ■ 認定・登録状況

長期優良住宅 認定年月日: 2019/05/01 認定番号: F  
きた住まいるブランドシステム  
保管番号: KU190613-00226  
共通ID: 00001C000000000000000000000042D81

■ 住宅の写真  
住宅の外観・内観写真を表示します。  
■ 改修工事の概要  
耐震性能や省エネ性能などについて向上した内容を表示します。

■ 住宅・土地の概要、事業者(改修)の概要についての情報を表示します。

■ 住宅性能  
きた住まいるの基本性能・その他の性能項目について表示します。

■ 住宅の外気性能、気密性能、一次エネルギー消費量を表示します。

■ きた住まいるブランド住宅への適合状況、認定・登録状況を表示します。

■ 住宅概要シート

住宅概要シートは、住宅ラベリングシートから個人情報を除いた情報を表示したシートであり、住宅ラベリングシートを作成することで自動的に作成することができます。このシートは「きた住まいるメンバー」が設計・建設した住宅の概要として、本システム上で一般の方に公開（→P10）することができます。

新築住宅の場合



## 住宅概要シート(未確定)

戸建  
新築

住宅番号: 0008374

---

■ 住宅の写真



■ 住宅・土地の概要

建設種別	○○○	用途・用途制限	住宅・2階建てその他
建設計画所在地	東京都○○区	建築面積	144.40㎡/4LDK以上
建設計画の完成予定	○○○	建築時期	1999年
設計会社	198-10月	建築会社	住友不動産
建設地	標準建築基準あり	建築時期	建築前段階
建設内容	高層階	建築時期	高層階部分
竣工年月	2016年09月04日	建築時期	高層階部分

---

■ 住宅性能

項目	内容	等級	性能高い →				
きた住まいる基本性能項目	耐震等級 (地震揺れの相対等級)	地震などに耐える強さ (地震の発生)	1	2	3	4	5
	断気性能等級	省エネルギー対策 (温熱環境)	1	2	3	4	5
	一次エネルギー消費量等級	省エネルギー対策 (エネルギー消費量)	1	2	3	4	5
	劣化対策等級 (構造躯体等)	柱や土台などの耐久性 (劣化の遅延)	1	2	3	4	5
その他の性能項目	維持管理対応等級 (専用記号)	記号の表示や情報のしやすさ、更新対応 (維持管理・更新への対応)	1	2	3	4	5
	高齢者等対応等級 (専用記号)	高齢者や障害者への配慮 (高齢者等への配慮)	1	2	3	4	5

■ 事業者の概要

設計事務所(設計)	○○○
設計士事務所	○○○
建設業者	○○○

---

● 外皮性能

この住宅の外皮一次エネルギー消費量: **0.34** kWh/m<sup>2</sup>/a

第三者認証済み

この住宅の外皮一次エネルギー消費量: **2.4** kWh/m<sup>2</sup>/a

● 気密性能

この住宅の気密性指数 (n50): **未判定**

これは換気装置の稼働時の値

● 一次エネルギー消費量

この住宅の設計一次エネルギー消費量: **未判定**

等級: **1**

---

■ 設計上の特長

4LDK、1及び2階にバルコニーあり、2階にトイレあり、1.5世帯住宅、駐車スペース2台（カーポート）

■ 認定・登録状況

きた住まいるブランド住宅の適合状況

長期優良住宅  
住宅性能評価  
住宅性能評価  
住宅性能評価  
住宅性能評価  
きた住まいるサポートシステム

■ 住宅の外皮性能、気密性能、一次エネルギー消費量を表示します。

■ きた住まいるブランド住宅への適合状況、認定・登録状況を表示します。



# 既存【リフォーム】住宅の場合

住宅番号：00010189



## 住宅概要シート(未確定)

戸建  
改修

### ■ 住宅の写真



### ■ 改修工事の概要

耐震性向上	地震に強い
省エネ性能向上	省エネ性能向上
耐久性向上	耐久性向上
その他	その他向上

### ■ 住宅・土地の概要

建物名	α	竣工・増改築年月	2016年12月	用途・用途変更	住宅・住居用
所在地	東京都中央区	築年数	150年	階数	2階
延床面積	300㎡	構造	RC造	耐震等級	1
築年数	150年	築年数	150年	築年数	150年
築年数	2016年12月	築年数	2016年12月	築年数	2016年12月

### ■ 事業者(改修)の概要

設計事務所	株式会社
施工会社	株式会社
建築士	株式会社

### ■ 住宅性能

数値住宅性能評価等級による  数値住宅性能評価等級による(※保証、本工場の取組の計画、記録、本工場の取組の計画)

この住宅は、「きた住まいる」で求める住宅性能(既存基準)を満たしていません。

項目	内容	等級	性能高い					備考	
			0	1	2	3	4		5
きた住まいる 基本性能項目	耐震等級 (構造体の損傷防止)	地震などに対する強さ (構造の安定)	既存基準		0	1	2	3	
	断熱性能等級	省エネルギー対策(断熱性能)	既存基準		1	2	3	4	
	防火対策等級(構造躯体等)	住宅台座などの耐火性 (炎の伝播)	既存基準	0	1	2	3		
その他の 性能項目	一次エネルギー消費量等級	省エネルギー対策 (エネルギー消費)	既存基準	1			4	5	
	維持管理対策等級(専用部分)	配管の経路や材料のしやすさ 更新対策(維持管理、更新への対応)	既存基準		1	2	3		
	高齢者等福祉対策等級 (専用部分)	高齢者や障害者への配慮 (高齢者への配慮)	既存基準	0	1	2	3	4	5

#### ● 外皮性能

この住宅の外皮断熱係数: **0.46** (0.46)

自己評価による: ▼ (0.46)

目標値: 0.43 (0.43)

#### ● 気密性能

この住宅の気密性: **1.5** (1.5)

自己評価による: ▲ (1.5)

#### ● 一次エネルギー消費量

この住宅の設計一次エネルギー消費量: **0%削減** (0%)

自己評価による: ▲ (0%)

### ■ きた住まいるブランド住宅の適合状況

### ■ 認定・登録状況

長期優良住宅  
住宅性能評価書: きた住まいるサポートシステム

■ 住宅の写真  
住宅の外観・内観写真を表示します。  
(住宅概要シート専用写真)  
■ 改修工事の概要  
耐震性能や省エネ性能などについて向上した内容を表示します。

■ 住宅・土地の概要、事業者についての情報を表示します。

■ 住宅性能  
きた住まいる基本性能・その他の性能項目について表示します。

■ 住宅の外皮性能、気密性能、一次エネルギー消費量を表示します。

■ 設計上の特長やきた住まいるブランド住宅への適合状況、認定・登録状況を表示します。

## 1.5 履歴保管された住宅情報について（住宅 ID 取得者）

住宅 ID 取得者は、付与された住宅 ID 及びパスワードでログインし、マイページから履歴保管された住宅情報を閲覧することができます。

マイページの「保管データ（基本）を見る」または「保管データ（詳細）を見る」ボタンをクリックすると以下の様な画面に移動します。この画面では、住宅情報のグループ毎に住宅情報が閲覧することができます。

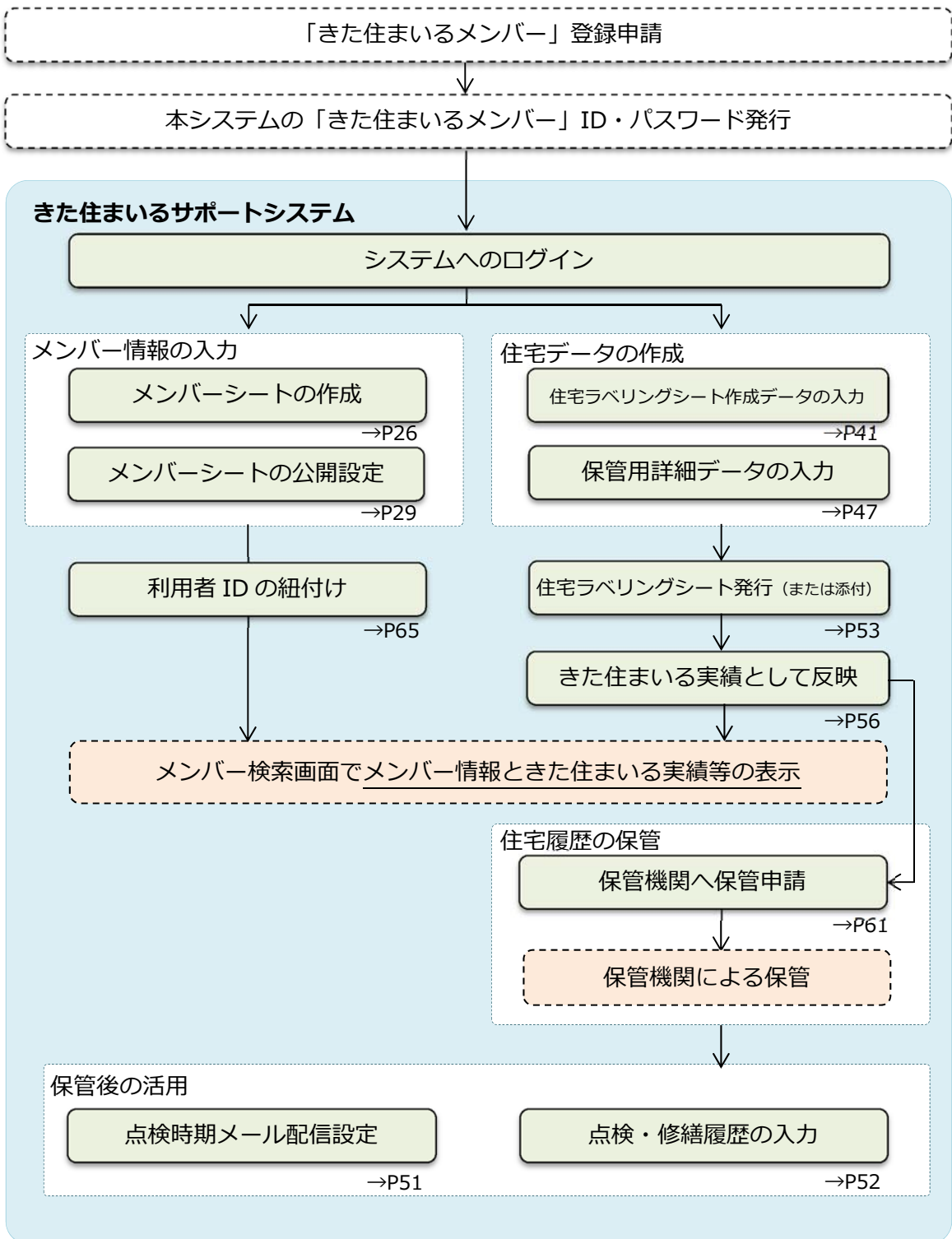
住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの入力 【きた住まいるブランド(北方型)/きた住まいるブランド住宅/1.北方型住宅】

### 画面の各部分の意味について

番号	説明
1	大グループ選択ボタン
2	小グループ選択ボタン（大グループによって切り替わります）
3	住宅 ID 取得者は使用できません
4	各項目に対する住宅の情報
5	住宅の詳細情報（マイページ）画面に戻るボタン
6	住宅ラベリングシートを表示するボタン
7	きた住まいるの実績に反映する要件一覧を表示するボタン ※住宅 ID 取得者は使用しません。
8	住宅ラベリングシートを発行する要件一覧を表示するボタン ※住宅 ID 取得者は使用しません。

## 2 システム利用のおおまかな流れ

本システムの利用のおおまかな流れは以下のようになります。  
詳細については項目毎、各ページにてご確認ください。



## 3 システムへのログイン

### 3.1 ID・パスワードの取得

#### きた住まいるメンバーの場合

本システムで「きた住まいるメンバー」としてメンバー情報入力・住宅データの入力を行うためには、まず、北海道にきた住まいるメンバーの登録を申請し、登録後に通知される本システムのきた住まいるメンバー用のID・仮パスワードによりログインする必要があります。

「きた住まいるメンバー」の登録を行う場合は、トップページの下部にある北海道のサイトへリンクしているボタンをクリックし手続きを行ってください。



#### 住宅ID取得者の場合

自身の住宅がきた住まいるサポートシステムで保管されると住宅ID及びパスワードが発行されますので、保管機関（(一財)北海道建築指導センター）より通知を受けてください。

## 3.2 ログイン

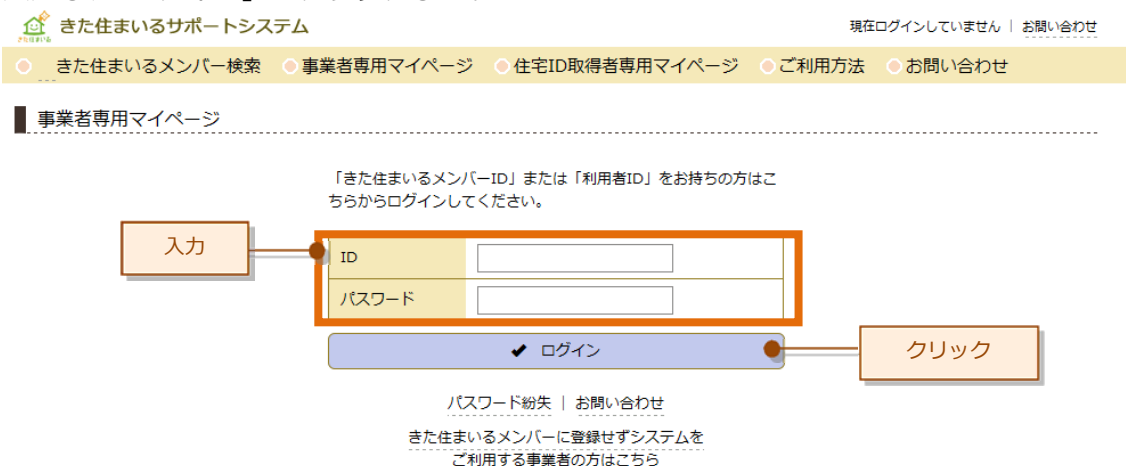
### きた住まいるメンバーの場合

上部のメニューから「事業者専用マイページ」をクリックします。



すると、以下のようなログイン画面が表示されます。

ここで「ユーザ ID」「パスワード」欄に、きた住まいるメンバー用の ID・パスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。



正しくログインすると、以下のような「マイページ（きた住まいるメンバー専用）」が表示されます（誤ったパスワード等の場合、その旨表示されます）。このマイページ内で、住宅データを新しく作成したり、メンバー情報を入力・変更するなどの操作を行います。

**※北海道から通知された仮パスワードは変更してください。**

きた住まいるサポートシステム パスワード変更 | ログアウト | 株式会社〇〇建築設計 様 (000002)

きた住まいるメンバー検索 ● 事業者専用マイページ ● 事業者支援ツール ● ご利用方法 ● お問い合わせ

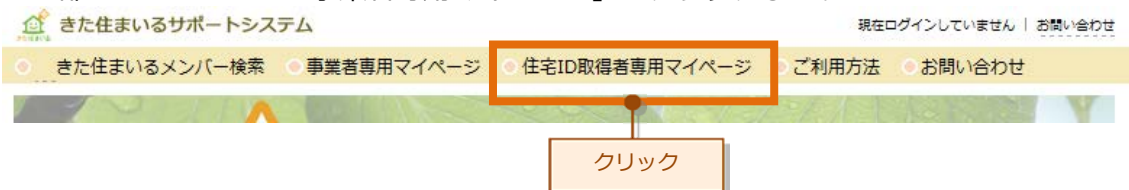
**マイページ（きた住まいるメンバー専用）【株式会社〇〇建築設計】**

**会社概要** 入力情報更新日：2019年03月05日

会社名（商号又は名称）	株式会社〇〇建築設計		
所在地	札幌市中央区北1条西1丁目1-1		
登録番号	0012345	登録区分	住宅設計・建設事業者
登録日	2016年05月11日	対応する住宅種類	戸建（新築）・戸建（改修）・共同（新築）・共同（改修）
メンバーシート	メンバーシート【公開中】	実績シート	実績シート

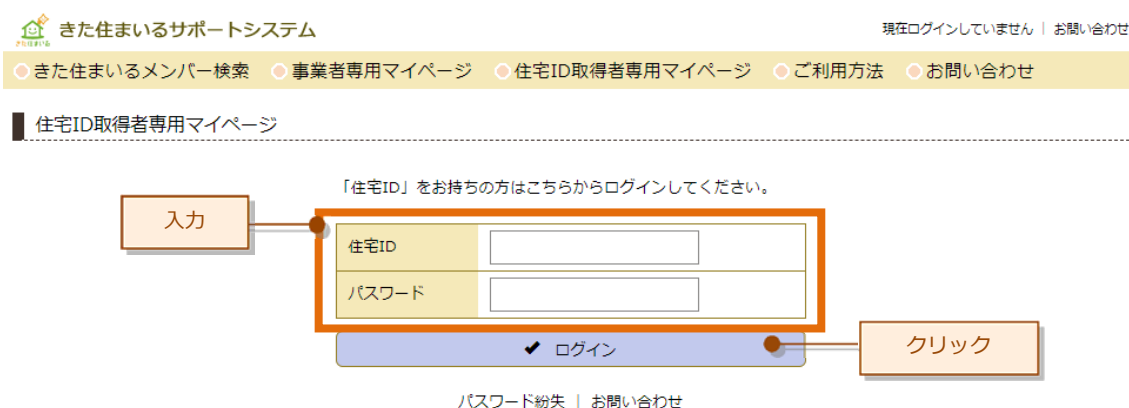
## 住宅 ID 取得者の場合

上部のメニューから「事業者専用マイページ」をクリックします。



すると、以下のようなログイン画面が表示されます。

ここで「ユーザ ID」「パスワード」欄に、きた住まいるメンバー用の ID・パスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。

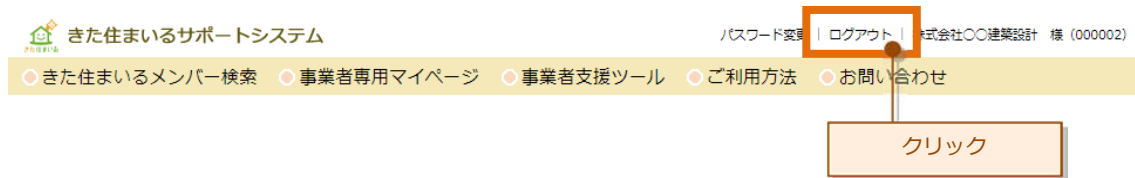


正しくログインすると、以下のような「マイページ (住宅 ID 取得者専用)」が表示されま  
す (誤ったパスワード等の場合、その旨表示されます)。このマイページ内で、住宅ラベリ  
ングシートの閲覧、保管データを見ることができます。



### 3.3 ログアウト

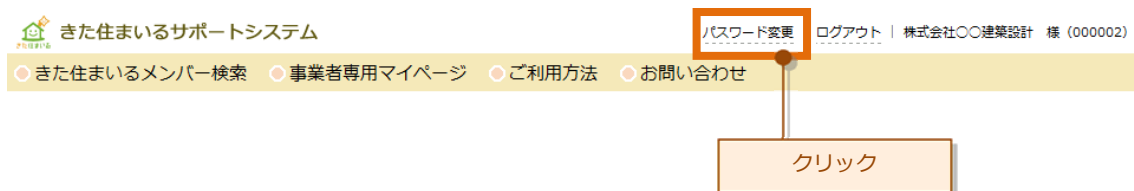
ログアウトする場合は「ログアウト」をクリックします。



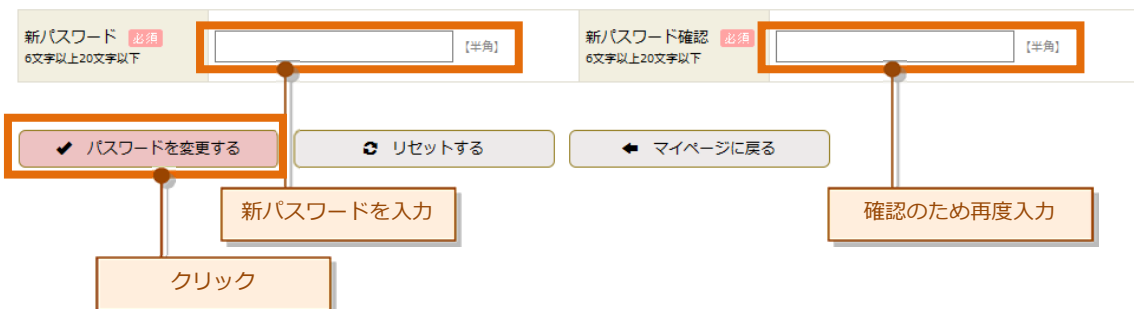
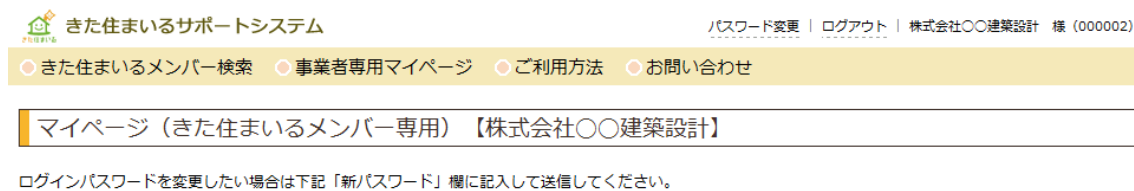
## 4 パスワードの変更

前項のように、本システムを利用する場合はID・パスワードが必要となります。IDは変更することができませんが、パスワードは適宜、変更することが可能です。

パスワードを変更する場合、ログイン後の画面の右上にある「パスワード変更」をクリックします。



すると、以下のような画面が開きます。



この画面で「新パスワード」「新パスワード確認」欄に新しいパスワードを入力します。パスワードは半角英数字、6文字以上20文字以内である必要があります。入力したら「パスワードを変更する」ボタンをクリックします。

クリック後は、マイページに戻ります。

次のログインから、新しいパスワードを使ってログインしてください。



## 5 マイページについて

### 5.1 きた住まいるメンバーの場合

マイページ（きた住まいるメンバー専用）では、住宅データを新しく作成したり、メンバー情報を入力・変更したり、ID を取得している利用者の管理するデータを共有することができるよう、紐付けすることができます。

マイページ（きた住まいるメンバー専用）の各部分の意味、ならびにボタン等の機能は以下のとおりです。

1: パスワード変更  
2: ログアウト

きた住まいるサポートシステム 株式会社〇〇建築設計 様 (000002)

○きた住まいるメンバー検索 ○事業者専用マイページ ○事業者支援ツール ○ご利用方法 ○お問い合わせ

マイページ（きた住まいるメンバー専用）【株式会社〇〇建築設計】

3: 会社概要 入力情報更新日：2019年03月05日

会社名（商号又は名称）	株式会社〇〇建築設計		
所在地	札幌市中央区北1条西1丁目1-1		
登録番号	0012345	登録区分	住宅設計・建設事業者
登録日	2016年05月11日	対応する住宅種類	戸建（新築）・戸建（改修）・共同（新築）・共同（改修）
メンバーシート	4: メンバーシート【公開中】	実績シート	5: 実績シート 6:

住宅データを新しく作成する（住宅ラベリングシートの作成や住宅履歴情報の保管などを行う場合は、こちらをクリックしてください）

メンバーシートを作成する・内容を変更する（きた住まいるメンバーシートの作成・内容変更を行う場合は、こちらをクリックしてください）

メンバーシートの公開・非公開を設定する（入力後にメンバーシートを公開してください）

8: お知らせ

お知らせはありません。

9: 管理している住宅データ一覧

〇〇邸		詳細情報	
所在地	札幌市中央区	住宅区分	その他の新築住宅（判定：X未適合）
建築主氏名	〇〇	保管状態・番号	未保管
担当者氏名		きた住まいる実績	X 反映不可（判定：X 未適合）

検索項目  検索内容  検索 リセット

11: 紐付けられている利用者ID一覧

紐付けられている利用者はありません。

他の利用者を紐付けする

## マイページの各部分の意味、ならびにボタン等の機能について

番号	説明
1	パスワードを変更したい場合、ここをクリックします。
2	システムを終える場合、ここをクリックします。
3	メンバーの会社概要が表示されます。
4	メンバーシートを確認する場合、ここをクリックします。
5	実績シートを確認する場合、ここをクリックします。
6	住宅データの新規作成をする場合、ここをクリックします。
7	メンバー情報の入力及び公開設定を行う場合、ここをクリックします。
8	システムからのお知らせが表示されます。
9	管理している住宅データの一覧が表示されます。
10	住宅データの詳細を閲覧・操作する場合、ここをクリックします。
11	新しく利用者を紐付けしたい場合、ここをクリックします。

## 5.2 住宅 ID 取得者の場合

マイページ（住宅 ID 取得者専用）では、住宅ラベリングシート及び住宅概要シートの閲覧、保管データの閲覧、点検・修繕履歴シートの閲覧等を行うことができます。

マイページ（住宅 ID 取得者専用）の各部分の意味、ならびにボタン等の機能は以下のとおりです。

きた住まいるサポートシステム

パスワード変更 ログアウト 住宅ID取得者 様 (003936)

きた住まいるメンバー検索 住宅ID取得者専用マイページ ご利用方法 お問い合わせ

マイページ（住宅ID所有者専用）【きた住まいるブランド(北方型)】

住宅の詳細情報 入力情報更新日：2019年07月17日

住宅名称	きた住まいるブランド(北方型)	所在地	
建築主氏名	北海道	保管状態	保管済
設計事業者(設計)		保管番号	KB190717-00227
設計事業者(工事監理)		共通ID	00001C00000000000000D000000042D82
施工事業者		保管日	2019年07月17日
基準・水準	きた住まいるブランド住宅（判定：○ 適合）	保管期間	保管日から30年間
きた住まいるブランド住宅登録名	1.北方型住宅	竣工年月日	
きた住まいる判定	×（きた住まいるの要件を満たしていません）	備考	

住宅概要シートを見る 住宅ラベリングシートを見る 保管データ(基本)を見る 保管データ(詳細)を見る

点検・修繕履歴の入力 点検・修繕履歴シートを見る 点検時期メール配信設定 入力データ一覧の出力

保管期間の延長申請

## マイページの各部分の意味、ならびにボタン等の機能について

番号	説明
1	パスワードを変更したい場合、ここをクリックします。
2	システムを終える場合、ここをクリックします。
3	住宅の写真が表示されます。
4	住宅の概要データが表示されます。
5	各種画面にリンクしているボタンです。以下に詳細を記載しています。

## 各ボタンの機能

ボタンの名称	内容	説明	参照
住宅概要シートを見る	住宅概要シートの PDF ファイルを表示します。		→P13
住宅ラベリングシートを見る	住宅ラベリングシートの PDF ファイルを表示します。		→P11
保管データ（基本）を見る	住宅の基本的なデータを見ることができます。 ※閲覧のみとなります。	基本的なデータとは、住宅ラベリングシートに記載されている内容で、住宅・土地の概要、基本的な住宅性能等のことをいいます。	
保管データ（詳細）を見る	住宅の詳細なデータを見ることができます。 ※閲覧のみとなります。	詳細なデータとは基本的なデータに加えて、住宅が備える基準・水準を判定するために入力されたデータののことをいいます。	
点検・修繕履歴の入力	この画面は、既存住宅の点検・修繕履歴を入力する画面が開きます。		→P52
点検・修繕履歴シートを見る	点検・修繕履歴シートの PDF ファイルを表示します。		
点検時期メール配信設定	点検時期のお知らせをメール配信する設定を行います。		→P51
入力データ一覧の出力	住宅データを一覧形式で PDF ファイルとして出力できます。		
保管期間の延長申請	保管後に、保管機関へ、保管期間の延長の申請を行うことができます。	保管後にのみ使用できます。	

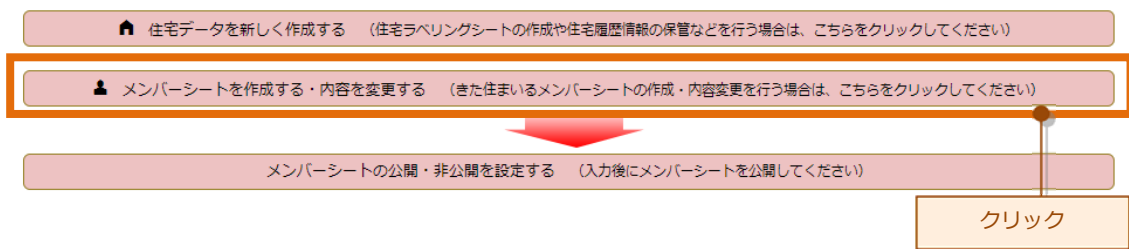
## 6 きた住まいるメンバーシートの作成

きた住まいるサポートシステムでは、きた住まいるメンバーは自社の情報をきた住まいるメンバー情報として入力することにより、「きた住まいるメンバーシート」が作成でき、一般利用者等にシートを表示・検索していただくことができます。

※設計及び施工の両方を行っている事業者は、両方の実績を入力してください。

### 6.1 きた住まいるメンバー情報の入力

メンバーシートを作成する場合は、「マイページ（きた住まいるメンバー専用）」の以下のボタンをクリックし、きた住まいるメンバー情報の入力画面を開きます。



きた住まいるメンバー情報の入力画面は以下のようになっています（抜粋）。

きた住まいるサポートシステム パスワード変更 | ログアウト | 株式会社〇〇建築設計 様 (000002)

○きた住まいるメンバー検索 ○事業者専用マイページ ○事業者支援ツール ○ご利用方法 ○お問い合わせ

マイページ（きた住まいるメンバー専用）【株式会社〇〇建築設計】

会社概要の入力 入力情報更新日：2019年03月05日

会社名	株式会社〇〇建築設計	登録番号	0012345
登録区分	住宅設計・建設事業者	登録年月日	2016年05月11日
創立年月 <small>必須</small> <small>※年・月を記入</small>	昭和45年8月	資本金	2000 万円
従業員数 <small>必須</small>	300 名	所在地 <small>必須</small>	札幌市中央区北1条西1丁目1-1
TEL <small>必須</small> <small>※ハイフンを付けて記入</small>	011-999-9999	FAX <small>※ハイフンを付けて記入</small>	011-888-0000
フリーダイヤル	0120-33-4444	E-Mail <small>必須</small> <small>※問合せ窓口のアドレス</small>	sample@sample.com
URL	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/ks		
対応する住宅種類 <small>必須</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 戸建（新築） <input checked="" type="checkbox"/> 戸建（改修【リフォーム】） <input checked="" type="checkbox"/> 共同（新築） <input checked="" type="checkbox"/> 共同（改修【リフォーム】）		

各項目には、それぞれ、次に示す表に記載したとおりの内容を入力します。

入力後には、画面下部の「記入内容を送信する」ボタンをクリックします。クリックしなければ、入力したデータは保存されずに、ページの移動などで消えてしまいます。

「必須」と表示されている項目は必ず入力して下さい。未入力となっている場合は、メンバーシートを公開設定することが出来ません。

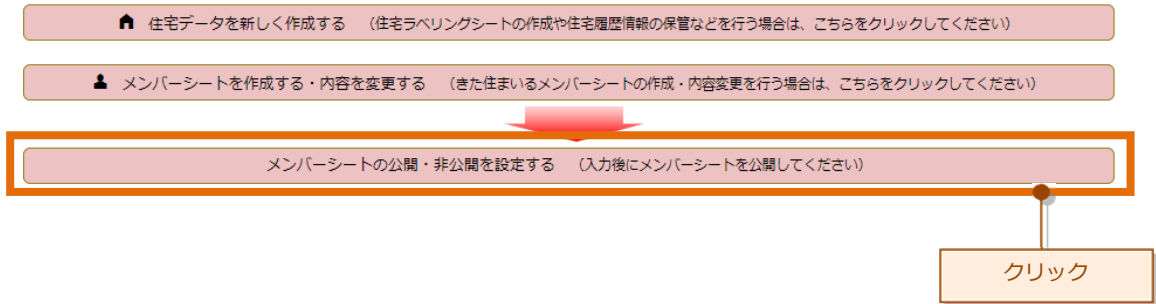
#### きた住まいるメンバー情報の入力項目

項目の名称	入力内容	説明
会社概要	自社の連絡先、業務内容、対応する住宅種類、建設業許可や建築士事務所登録種別等を入力します。	
有資格者在籍数	自社の有資格者在籍数を、資格ごとに入力します。記載のない資格は「その他有資格者」欄に資格の名称と在籍数を記載します。	
過去の実績	北方型住宅や長期優良住宅、地域型住宅など、過去の実績数を記載します。	会社概要の「対応する住宅種類」でチェックをしなかった住宅種類では入力不要です。
基本性能項目に対する技術対応力	きた住まいるの基本性能に対する自社の技術対応力を入力します。対応する住宅種類に応じた対応力について入力します。	会社概要の「対応する住宅種類」でチェックをしなかった住宅種類では入力不要です。
住宅履歴の保管	住宅履歴を本システムで保管する場合は「本システムでの保管」にチェックを入れ、他のシステムで保管する場合はその保管方法と保管機関を入力します。	
建設後の点検・維持管理および PR 次項	建設後の点検内容・期間について入力します。また、自社の PR 文章や写真、パンフレットを入力します。PR は 3 項目入力できますので、できるだけ 3 項目とも入力するようにしてください。	添付する写真は、検索画面等に表示されますので、肖像権や著作権、個人情報等に十分配慮してください。



## 6.2 きた住まいるメンバーシートの公開・非公開設定

メンバーシートの公開・非公開設定をする場合は、「メンバーシートの公開・非公開を設定する（入力後にメンバーシートを公開してください）」のボタンをクリックしてください。



すると、以下のようなメンバーシート公開設定画面が表示されます。  
ここで「非公開とする」「公開する」を選択します。



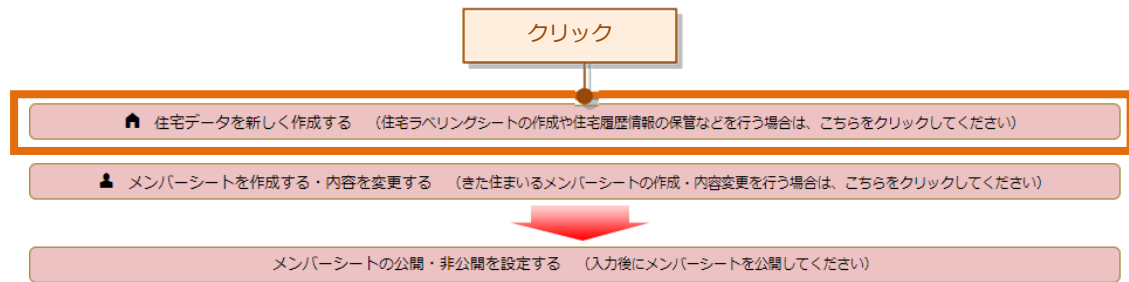
公開設定をすると「きた住まいるメンバー検索」で検索結果に表示されるようになり一般利用者がメンバーシート等を閲覧できるようになりますので、必ず「公開する」を選択してください。



## 7 住宅データを新しく作成する

きた住まいるサポートシステムでは、きた住まいるメンバーが設計・建設した住宅のデータを作成・入力し、実績の公開やデータの保管をすることができます。

住宅データを新しく登録する場合は、マイページの以下のボタンをクリックし「住宅データを新規登録」画面を開きます。



住宅データの新規登録画面は以下のようになっており、住宅の基本データを入力します。

きた住まいるサポートシステム パスワード変更 | ログアウト | 株式会社〇〇建築設計 様 (000002)

○きた住まいるメンバー検索 ○事業者専用マイページ ○事業者支援ツール ○ご利用方法 ○お問い合わせ

### 住宅データの新規登録

住宅データ名 <b>必須</b> ※住宅モデル名等、簡潔に	<input type="text"/>			[全角・半角]
基準・水準 <b>必須</b> ※きた住まいるメンバーの方	<input type="text"/>	住宅の種類 <b>必須</b>	<input type="text"/>	
きた住まいるブランド 住宅登録名 <b>必須</b> ※きた住まいるメンバーの方	<input type="text"/>	データの扱い <b>必須</b> ※注2	<input type="text"/>	
担当作業 <b>必須</b>	<input type="text"/>	<input type="button" value="入力"/>		

※注1：きた住まいるブランド住宅に登録された「北方型住宅」「北方型住宅ECO」「北海道R住宅」とする場合には、「きた住まいるブランド住宅」を選択してください。（きた住まいるの基本要件である一次エネルギー消費量等級4以上が必要となります。）なお、「北方型住宅水準」、「北方型住宅ECO水準」については、当面使用することはできませんが、きた住まいるブランド住宅とは異なりますので、ご注意ください。

※注2：通常データは保管申請せず1年経過すると自動的に削除されます。ひな形データは削除されませんが、保管申請ができません。保管申請を行う場合には、住宅データの複製を行い、通常データとして、所定の項目を入力してから保管申請してください。

クリック

各項目には、それぞれ、次に示す表に記載したとおりの内容を入力します。  
入力後には「新規登録を実行する」をクリックします。

## 住宅データの新規登録時の入力項目

項目の名称	入力内容	説明
住宅データ名	この住宅データをシステムで表示する際、タイトルとして表示する名称を入力します。	必須・全角または半角文字にて入力
基準・水準	この住宅が備える基準・水準を選択入力します。なお、選んだ基準・水準に応じて、「保管用詳細データの入力・各基準適合判定（→P32）」で適合状況を判定することができます。 ※住宅の保管を行うには、選択した基準・水準で適合する必要があります。	必須・選択式
住宅の種類	住宅の種類（戸建や共同、新築や改修）を選択します。	必須・選択式
きた住まいるブランド住宅登録名	「基準・水準」で「きた住まいるブランド住宅」とした場合に選択します。	必須・選択式 ※「基準・水準」で「きた住まいるブランド住宅」を選択した場合に必須
担当作業	この住宅にどのように関わったか（設計・建設・設計建設両方）を選択入力します。	必須・選択式
データの扱い	「通常データ」とすると、 <b>保管申請をせずにデータ作成日から1年経過すると、データが削除されてしまいます。</b> 「ひな形データ」とすると、 <b>保管申請ができない代わりに、1年経過しても削除されません。</b> 「ひな形データ」は、自社の住宅に係る特長・共通性能などをあらかじめ入力しておき、コピーして新しい住宅データを作成する際のコピー元として利用することができます。	必須・選択式

住宅データを新しく作成すると、マイページの「管理している住宅データ一覧」に掲載されます。その後の住宅データの入力については、次項で解説します。

### 管理している住宅データ一覧

■ ○○部			詳細情報
所在地	札幌市中央区	住宅区分	その他の新築住宅（判定：X未適合）
建築主氏名	○○	番号	未保管
担当者氏名		きた住まいる実績	X 反映不可（判定：X 未適合）
竣工年月日		最終更新日	2019年06月26日

掲載される

■ その他			詳細情報
所在地		住宅区分	その他の新築住宅（判定：X未適合）
建築主氏名		保管状態・番号	未保管
担当者氏名		きた住まいる実績	X 反映不可（判定：X 未適合）
竣工年月日		最終更新日	2018年05月22日

※きた住まいのランド「きた住まいのブランド住宅登録一覧」ページ参照  
 ・ [https://www.kita-smile.jp/brand\\_house](https://www.kita-smile.jp/brand_house)

■きた住まいのブランド住宅の登録基準

『北方型住宅』の登録基準は、次のとおりです。

活用できるメンバーの範囲		きた住まいのメンバー全員			
性能	基準	性能等級の目安			
長寿命	(1) 乾燥材等の使用	・柱・梁等の主要構造材、床を構成する木材及び気密工事に使用する木材には、乾燥材（含水率 20%以下）または集成材を使用	—		
	(2) 外壁内の通気措置	・外壁には通気層を設置 ※又はその他の措置	劣化対策等級 (構造躯体等) <b>等級 3</b>		
	(3) 小屋裏の換気措置	・小屋裏または屋根裏換気のための換気口を設置	きた住まいの基本要件 等級 3		
	(4) 耐震性能	・建築基準法（平成 12 年基準）への適合	耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止) <b>等級 1</b> きた住まいの基本要件 等級 1		
維持管理の容易さ	(5) 住宅の仕様等の記録の作成及び保管	・きた住まいのサポートシステムにより、新築時の住宅の仕様や性能に関する記録を作成・保管 ・維持保全計画の作成・保管	—		
	(6) 給排水管等の維持管理対策	・構造躯体に影響を及ぼすことなく給排水管等の補修が可能 ・構造躯体および仕上材に影響を及ぼすことなく給排水管等の点検および排水管の清掃を行うことが可能	維持管理対策等級 (専用配管) <b>等級 3</b>		
安心・快適	(7) 住宅内の高齢者等への対応	・住宅内の移動等に伴う転倒、転落等を防止するための基本的な措置 ・介助用車いす使用者が基本的な生活行為を行うことが容易な措置	高齢者等配慮対策等級 (専用部分) <b>等級 3</b>		
	健康で快適な室内空間	(8) ホルムアルデヒド発散対策	・日本工業規格および日本農林規格に規定する F☆☆☆☆ 等級の規格に適合する建築材料の使用	ホルムアルデヒド発散等級 <b>等級 3</b>	
		(9) 換気システム	・必要な換気量と適切な換気経路が確保される換気システムを設置	—	
環境との共生	(11) 省エネルギー性能	・外皮平均熱貫流率は、0.46W/m <sup>2</sup> K 以下 (性能に応じた夏期の日射遮蔽と結露防止対策)	断熱等性能等級 <b>等級 4</b> きた住まいの基本要件 等級 4		
		・一次エネルギー消費量の大きな削減のための対策 (住宅の設計一次エネルギー消費量は基準一次エネルギー消費量の値を上回らない)	一次エネルギー消費量等級 <b>等級 4</b> きた住まいの基本要件 等級 4		
	美しいまちなみの形成	(12) 外壁の後退	・隙間相当面積は 2.0 cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> 以下 ・住宅（附属建築物等を除く）の外壁は、道路境界線から 1m 以上後退	—	
地域らしさ	地域の資源の活用	(13) 地域の気候・風土を活かした住宅の計画・設計	—		
その他	—	—	・BISによる設計、BIS-Eによる施工への関与		

太枠   は、きた住まいの基本項目

# 『北方型住宅ECO』の登録基準は、次のとおりです。

活用できるメンバーの範囲		きた住まいるメンバー全員			
性能	基準	性能等級の目安			
長 寿 命	(1) 乾燥材等の使用	・柱・梁等の主要構造材、床を構成する木材及び気密工事に使用する木材には、乾燥材（含水率 20%以下）または集成材を使用	-		
	(2) 外壁内の通気措置	・外壁には通気層を設置 ※又はその他の措置	劣化対策等級 (構造躯体等) <b>等級 3</b>		
	(3) 小屋裏の換気措置	・小屋裏または屋根裏換気のための換気口を設置	きた住まいる基本要件 等級 3		
	(4) 耐震性能	・建築基準法（平成 12 年基準）への適合	耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止) <b>等級 1</b> きた住まいる基本要件 等級 1		
維持管理の 容易さ	(5) 住宅の仕様等の 記録の作成及び保管	・きた住まいるサポートシステムにより、新築時の住宅の仕様や性能に関する記録を作成・保管 ・維持保全計画の作成・保管	-		
	(6) 給排水管等の 維持管理対策	・構造躯体に影響を及ぼすことなく給排水管等の補修が可能 ・構造躯体および仕上材に影響を及ぼすことなく給排水管等の点検および排水管の清掃を行うことが可能	維持管理対策等級 (専用配管) <b>等級 3</b>		
安 心 ・ 快 適	(7) 住宅内の高齢者等 への対応	・住宅内の移動等に伴う転倒、転落等を防止するための基本的な措置 ・介助用車いす使用者が基本的な生活行為を行うことが容易な措置	高齢者等配慮対策等級 (専用部分) <b>等級 3</b>		
	健康で快適な 室内空間	(8) ホルムアルデヒド 発散対策	・日本工業規格および日本農林規格に規定する F☆☆☆☆ 等級の規格に適合する建築材料の使用	ホルムアルデヒド発散等級 <b>等級 3</b>	
		(9) 換気システム	・必要な換気量と適切な換気経路が確保される換気システムを設置	-	
		(10) 暖房方式	・暖房方式は、原則、セントラルヒーティング ・全室暖房	-	
環 境 と の 共 生	(11) 省エネルギー性能・ 環境負荷の低減への 配慮	・外皮平均熱貫流率は、0.38W/m <sup>2</sup> K 以下 (性能に応じた夏期の日射遮蔽と結露防止対策)	断熱等性能等級 <b>等級 4</b> きた住まいる基本要件 等級 4		
		・一次エネルギー消費量の大きな削減のための対策 (住宅の設計一次エネルギー消費量は基準一次エネルギー消費量の値を上回らない)	一次エネルギー消費量等級 <b>等級 4</b> きた住まいる基本要件 等級 4		
美しい まちなみの 形成	(12) 外壁の後退	・隙間相当面積は 1.0 cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> 以下 (実測) ・暖房エネルギー消費量の把握 ・住宅（附属建築物等を除く）の外壁は、道路境界線から 1m 以上後退	-		
地 域 ら し さ	地域の資源の 活用	(13) 地域の気候・風土を 活かした住宅の計 画・設計	・地域の気候・風土を活かした住宅の計画・設計 -		
そ の 他	-	-	・BISによる設計、BIS-Eによる施工への関与 -		

太枠   は、きた住まいるの基本項目



## 『北海道R住宅』の登録基準は、次のとおりです。

活用できるメンバーの範囲	・きた住まいるメンバーのうち、北海道R住宅事業者ネットワークの会員
--------------	-----------------------------------

性能	基準	性能等級の目安		
長 寿 命	(1) 乾燥木材の使用	・柱・梁等の主要構造材、床を構成する木材及び気密工事に使用する木材には、乾燥材（含水率 20%以下）または集成材を使用	—	
	(2) 壁体の乾燥状態維持のための、通気層等の設置	・外壁には通気層を設置 ※又はその他の措置	劣化対策等級 (構造躯体等) <b>等級 3 (既存)</b> 〔きた住まいる基本要件 等級 3 (既存)〕	
	(3) 土台の防腐措置	・土台等への防腐剤の塗布又は防腐土台の使用	—	
	(4) 床下の防湿措置	・防湿フィルムやコンクリートにより防湿措置	—	
	(5) 昭和 56 年 6 月改正建築基準法に基づく「新耐震設計基準」同等、又はそれ以上の耐震性能	・建築基準法（昭和 56 年基準）への適合	耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止) <b>等級 1 (既存)</b> 〔きた住まいる基本要件 等級 1 (既存)〕	
	既存状況の調査・評価	(6) 北海道住宅検査人による既存状況の調査・検査・評価	—	
	瑕疵保険	(7) 構造・雨水の瑕疵保険加入	—	
	維持管理	(8) 住宅の仕様等の記録の作成及び保管	—	
安 心 ・ 快 適	高年齢社会への対応	(9) 段差解消・手すり	・便所、脱衣室・洗面所、その他日常生活空間（玄関、浴室、バルコニーを除く）の段差解消 ・階段の手すりの設置	—
環 境 と の 共 生	省エネルギー性	(10) 省エネルギー性能の確保	・外皮平均熱貫流率は、0.46W/ m <sup>2</sup> K 以下	断熱等性能等級 <b>等級 4</b> 〔きた住まいる基本要件 等級 3 (既存)〕
		(11) BIS 資格者が省エネルギー設計、BIS-E 資格者が省エネルギー施工管理	・BIS による設計、BIS-E による施工への関与	—
	気密性	(12) 気密性能の確保	・隙間相当面積は 2.0 cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> 以下（実測） ・気密性能試験の実施	—
地 域 ら し さ	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—

太枠    は、きた住まいるの基本項目

※北海道では、きた住まいるメンバーにより設計・施工された北方型住宅・北方型住宅 ECO・北海道R住宅に対し、『きた住まいるブランド住宅』として登録しています。

## 8 住宅の詳細情報の入力について

前項により住宅データを新しく作成すると、その住宅の詳細情報画面が開きます。また、管理している住宅データ一覧で当該住宅の「詳細情報」をクリックすると詳細情報画面が開きます。

住宅の詳細情報画面では、その住宅に係るデータの入力や、保管申請や保管延長の手続き、住宅データの削除、住宅ラベリングシートの出力などさまざまな操作を行うことができます。

### 管理している住宅データ一覧

■ ○○邸			
所在地	札幌市中央区	住宅区分	その他の新築住宅（判定：X未適合）
建築主氏名	○○	保管状態・番号	未保管
担当者氏名		きた住まいる実績	X 反映不可（判定：X 未適合）
竣工年月日		最終更新日	2019年06月26日

詳細情報

クリック

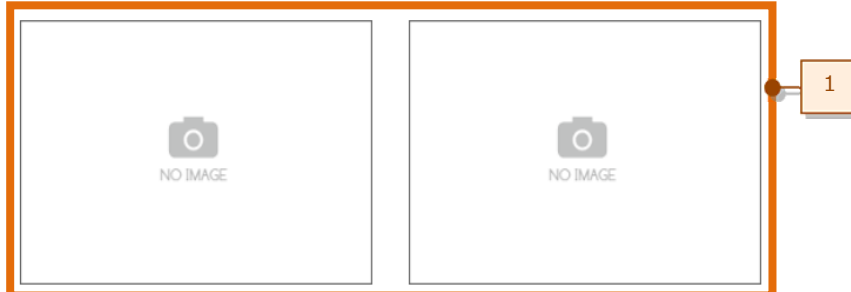
住宅の詳細情報画面の各部分の意味、ならびに機能は以下のようになっています。

きた住まいるサポートシステム パスワード変更 | ログアウト | 株式会社○○建築設計 様 (000002)

[きた住まいるメンバー検索](#)
[事業者専用マイページ](#)
[事業者支援ツール](#)
[ご利用方法](#)
[お問い合わせ](#)

### 住宅の詳細情報【きた住まいるブランド(北方型)】

#### 住宅の詳細情報 入力情報更新日：2019年06月28日



ステップ1：基本データの輸入は、こちらをクリックしてください（住宅ラベリングシートの作成ができます）

ステップ2：詳細データの輸入は、こちらをクリックしてください（住宅履歴情報の保管や北方型住宅等の基準適合判定ができます）

2 住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの入力

3 保管用詳細データの入力・各基準適合判定

※住宅概要シートとは住宅ラベリングシートのうち個人情報を除いたシートであり、一般ユーザーが閲覧することができます。

住宅名称	きた住まいるブランド(北方型)	所在地	
建築主氏名		保管状態	未保管
設計事業者(設計)		保管番号	
設計事業者(工事監理)		共通ID	
施工事業者		保管日	
住宅の種類	戸建住宅（新築）	保管期間	保管日から30年間
基準・水準	きた住まいるブランド住宅（判定：X 未適合）	竣工年月日	
きた住まいるブランド住宅登録名	1.北方型住宅	ラベリングシート発行	X 未発行（発行に必要な項目が未入力）
きた住まいる判定⓪ (メンバーの遵守事項への適合状況)	X 適合していません	きた住まいる実績	実績に未反映（要件不適合）
概要シート公開	非公開	備考	

4

住宅データの作成・入力	住宅ラベリングシートの発行	住宅履歴情報の保管	保管後の活用
住宅データの複製	住宅ラベリングシートを見る	保管申請をする	概要シートの公開状態を設定
住宅データ名等の変更	住宅概要シートを見る	保管申請書の出力	点検・修繕履歴の入力
一時保存住宅データの削除	住宅ラベリングシートの発行	委任状の出力	点検・修繕履歴シートを見る
入力データ一覧の出力	※住宅ラベリングシートを発行すると、未確定の表示が消え、確定版となります	※委任状により、保管後も事業者が住宅履歴情報を取り扱うことができます	点検時期メール配信設定
点検時期メール配信設定(事業者用)	住宅ラベリングシートを添付	きた住まいの実績に反映	保管期間の延長申請

← マイページに戻る

### 住宅の詳細情報画面の各部分の意味について

番号	説明
1	住宅の外観・内観写真が表示されます。 ※「住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの入力」画面等で設定できます。
2	住宅データの入力を行います。 ※住宅ラベリングシート・住宅概要シートを作成する場合はここをクリックします。
3	住宅データの入力を行います。 ※保管用詳細データの入力・各基準適合判定を行うにはここをクリックします。
4	住宅の概要が表示されます。 2、3で住宅データを入力することで表示されるようになります。
5	各種画面にリンクしているボタンです。 住宅データの作成・入力、住宅ラベリングシートの発行、住宅履歴情報の保管、保管後の活用等を行うことができます。

## 住宅の詳細情報画面の下部のボタンの機能

ボタンの名称	内容	説明	参照
住宅データの複製更	この住宅データを別の名前で複製することができます。なお、写真・ファイル、保管状態・保管番号は複製されません。		
住宅データ名等の変更	この住宅データを新規作成したときに決めた住宅データ名や住宅の種類などを変更することができます。	ラベリングシートの発行及び保管申請するまで使用できます。	
一時保存住宅データの削除	この住宅データを削除します。削除すると、すべての情報・画像等が削除されます。	ラベリングシートの発行及び保管申請するまで使用できます。	
入力データ一覧の出力	「住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの入力」および「保管用詳細データの入力・各基準適合判定」で入力したデータを一覧形式でPDFファイルとして出力できます。		
点検時期メール配信設定(事業者用)	点検時期のお知らせをメール配信する設定を行います。		
住宅ラベリングシートを見る	住宅ラベリングシートのPDFファイルを表示します。		→P11
住宅概要シートを見る	住宅概要シートのPDFファイルを表示します。		→P13
住宅ラベリングシートの発行	この住宅の住宅ラベリングシートの内容を確定します。発行には所定の項目の入力等が必要です。	発行後は住宅データを変更することができません	→P53
ラベリングシートを添付	本システムでラベリングシートを発行せずにきた住まいるへの実績反映を行う場合、独自の住宅ラベリングシートの添付を行うことができます。	本システムで発行したラベリングシートは添付しないでください。	
保管申請をする	保管機関にこの住宅の保管を申請します。保管申請は、選択した住宅区分(→P30)が適合になるまで申請できません。	申請後・保管後、選択した住宅区分の未適合の間は使用できません。	→P61

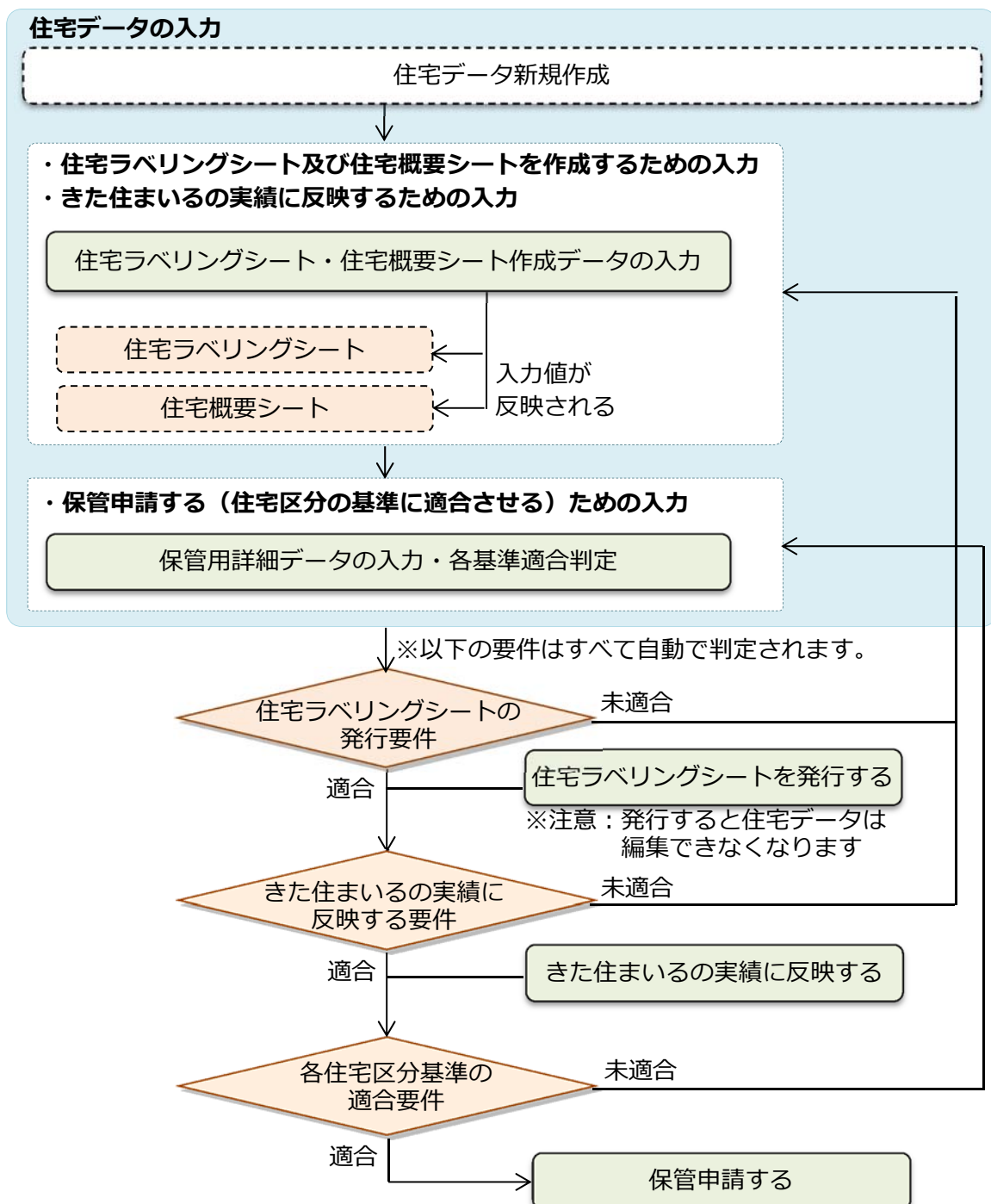


ボタンの名称	内容	説明	参照
保管申請書の出力	保管機関に提出する保管申請書のPDFを出力できます。	保管申請後にのみ使用できます。	
委任状の出力	委任状を出力します。		
きた住まいるの実績に反映	この住宅をきた住まいる実績として反映します。反映には所定の項目の入力等が必要です。		→P56
概要シートの公開状態を設定	実績シートにその住宅データの概要シートを表示するか否かを決定することができます。		
点検・修繕履歴の入力	この画面は、既存住宅の点検・修繕履歴を入力する画面が開きます。	保管後の点検・修繕履歴の入力は、「住宅ID取得者専用マイページ」からも入力できます。	→P52
点検・修繕履歴シートを見る	点検・修繕履歴シートのPDFファイルを表示します。		
点検時期メール配信設定	点検時期のお知らせをメール配信する設定を行います。		→P51
保管期間の延長申請	保管後に、保管機関へ、保管期間の延長の申請を行うことができます。	保管後にのみ使用できます。	

## 9 住宅データの入力について

新しく作った住宅データに、「住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの入力」画面で住宅情報を入力することで「住宅ラベリングシート」及び「住宅概要シート」を作成できます。また「保管用詳細データの入力・各基準適合判定」画面で住宅情報を入力することで各住宅区分の基準に適合しているかを判定することができます。適合となれば保管申請を行うことができます。

### 9.1 住宅データ入力の主な流れ



## 9.2 住宅データの入力

まず、住宅の詳細情報画面を開きます。

住宅の詳細情報画面は、新しく住宅データを作った場合は自動的にすぐ表示されますが、いったん作成した住宅データについて新たに住宅データを入力したい場合は、マイページ（きた住まいるメンバー専用）画面の住宅データ一覧から「詳細情報」リンクをクリックします。

### 管理している住宅データ一覧

■ 複製試験160721				詳細情報
所在地	札幌市曙北3条7丁目1-14	住宅区分	その他の新築住宅（判定：○適合）	クリック
建築主氏名	田中 一郎	保管状態・番号	申請中	
担当者氏名	橋本 崇哉	きた住まいる実績	X 未反映（判定：X 未適合）	
竣工年月日	2007年09月07日	最終更新日	2016年07月21日	
■ その他新築試験160624				詳細情報
所在地	札幌市中央区北6条西9丁目1-2	住宅区分	北方型住宅水準（判定：Y未適合）	

住宅データを入力するには、「住宅の詳細情報」画面で、「住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの入力」ボタンや「保管用詳細データの入力・各基準適合判定」ボタンのいずれかをクリックします。

ステップ1：基本データの入力は、こちらをクリックしてください（住宅ラベリングシートの作成ができます）

**住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの入力**

※住宅概要シートとは住宅ラベリングシートのうち個人情報を除いたシートであり、一般ユーザーが閲覧することができます。

クリック

ステップ2：詳細データの入力は、こちらをクリックしてください（住宅履歴情報の保管や北方型住宅等の基準適合判定ができます）

**保管用詳細データの入力・各基準適合判定**

クリック

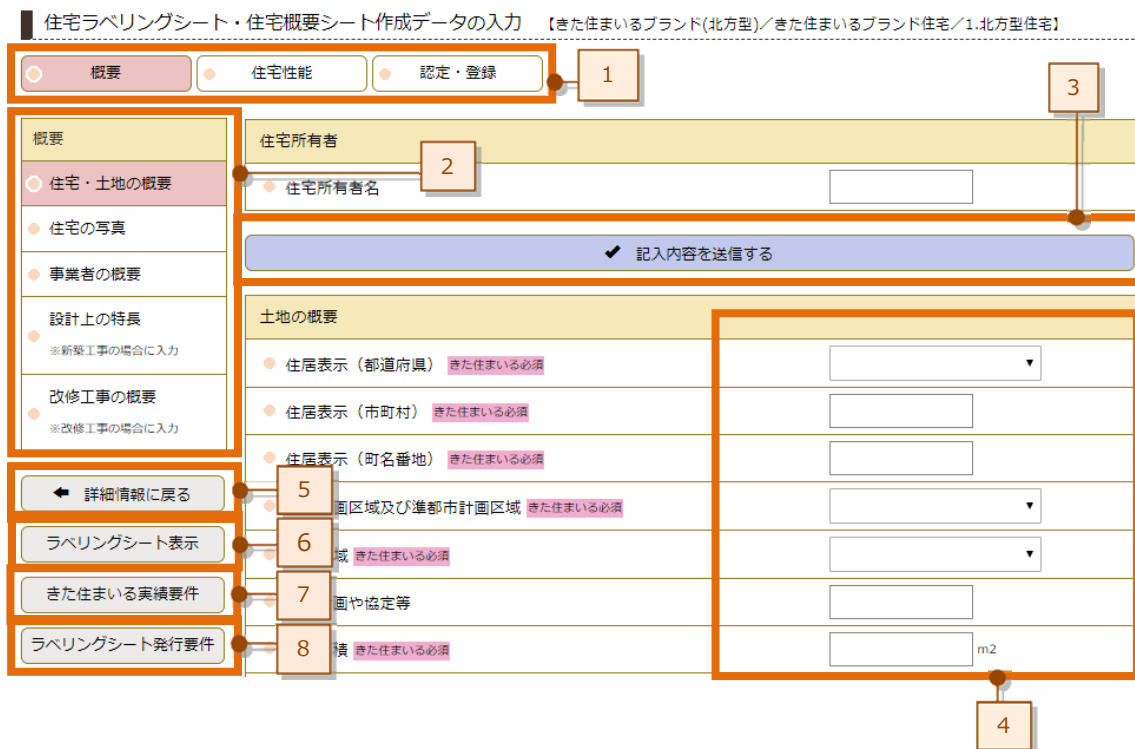
### 住宅データ入力用の各ボタンのちがいについて

ボタンの名称	内容	説明	参照
「住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの入力」ボタン	「住宅ラベリングシート」および「住宅概要シート」を作るにあたって必要十分な基本的な項目のみを入力できる画面を開きます。 また、「きた住まいるの実績」としたい場合もこちらでの入力となります。	住宅ラベリングシート・住宅概要シートを作成したい場合、きた住まいるの実績としたい場合はこちらを利用します。	→P41
「保管用詳細データの入力・各基準適合判定」ボタン	詳細な情報を入力し、選択した住宅区分ごとの適合性判定などを行うことができる画面が開きます。	保管申請をするために住宅区分に対して適合させるためにはこちらを利用します。	→P47

### 9.3 住宅ラベリングシート・住宅概要シートの作成

住宅の詳細情報画面（→P35）内の「住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの入力」ボタン（以後、「ラベリングシート入力ボタン」と呼びます）は、住宅ラベリングシートおよび住宅概要シートを出力するために必要な項目だけを集めた入力画面を開くことができます。

「住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの入力」画面（以後、「ラベリングシート入力画面」と呼びます）の各部分の意味、および機能は以下のとおりとなっています。



#### ラベリングシート入力画面の各部分の意味について

番号	説明	参照
1	大グループ選択ボタン	
2	小グループ選択ボタン（大グループによって切り替わります）	
3	記入内容を送信するボタン	
4	入力項目（ここにデータを入力）	
5	住宅の詳細情報画面に戻るボタン	
6	現在の住宅ラベリングシートを表示するボタン	
7	きた住まいのの実績に反映する要件一覧を表示するボタン	→P56
8	住宅ラベリングシートを発行する要件一覧を表示するボタン	→P53

ラベリングシート入力画面では、上部の入力ページの大グループ選択ボタンを押すと、左側の小グループ選択ボタンの一覧が入れ替わります。

小グループ選択ボタンを押すと、関連する項目が入力できる画面が開きます。このようにして各ページを開き、その住宅のデータを入力していきます。

住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの入力 【きた住まいるブランド(北方型)/きた住まいるブランド住宅/1.北方型住宅】

○ 概要 ● 住宅性能 ● 認定・登録

大グループ選択ボタン

<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span>○ 住宅・土地の概要</span> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span>● 住宅の写真</span> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span>● 事業者の概要</span> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span>● 設計上の特長</span>  <small>※新築工事の場合に入力</small> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span>● 改修工事の概要</span>  <small>※改修工事の場合に入力</small> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">       ← 詳細情報に戻る     </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">       ラベリングシート表示     </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">       きた住まいる実績要件     </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">       ラベリングシート発行要件     </div>	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">       住宅所有者       <ul style="list-style-type: none"> <li>● 住宅所有者名 <input style="width: 100%;" type="text"/></li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">       小グループ選択ボタン        (大グループによって切り替わる)     </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: right;"> <input type="button" value="を送信する"/> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">       土地の概要       <ul style="list-style-type: none"> <li>● 住居表示(都道府県) <small>きた住まいる必須</small> <input style="width: 100%;" type="text"/></li> <li>● 住居表示(市町村) <small>きた住まいる必須</small> <input style="width: 100%;" type="text"/></li> <li>● 住居表示(町名番地) <small>きた住まいる必須</small> <input style="width: 100%;" type="text"/></li> <li>● 都市計画区域及び準都市計画区域 <small>きた住まいる必須</small> <input style="width: 100%;" type="text"/></li> <li>● 用途地域 <small>きた住まいる必須</small> <input style="width: 100%;" type="text"/></li> <li>● 地区計画や協定等 <input style="width: 100%;" type="text"/></li> <li>● 敷地面積 <small>きた住まいる必須</small> <input style="width: 100%;" type="text"/> m<sup>2</sup></li> </ul> </div>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

また、ラベリングシート入力画面では、住宅データの項目ごとに、文字・数字をキーボードから入力したり、一覧から内容を選択したり、写真を添付することにより入力をすすめていきます。

ラベリングシート入力画面の入力方法ごとの説明は以下のとおりです。

### ■ 文字・数字の入力

● 設計事業者名(施工監理)

株式会社〇〇ホーム

文字・数字を入力する項目

文字・数字を入力する場合、項目をクリックして記入できる状態にして、キーボードから直接入力します。入力が終わったら、画面内の「記入内容を送信する」ボタンをクリックします。なお、画面内の「記入内容を送信する」ボタンは複数ありますが、どれをクリックしても、画面内の入力項目がすべて送信されます。

入力を終わったらクリック

■ 日付の項目（カレンダー項目）の入力



日付を入力する項目の場合、項目を選択すると、図のようなカレンダーが表示されることがあります。カレンダーが表示されたら、年・月を選択し、表示された当月の日付を選択することで、例えば「2016/06/01」といったような西暦年月日をかたんに正確に入力することができます。

入力が終わったら、画面内の「記入内容を送信する」ボタンをクリックします（文字等の入力の際と同じ）。

■ 写真添付項目の入力



## 写真添付項目の各部分の意味について

番号	説明
1	添付された写真
2	写真が添付されていない状態
3	添付した写真の説明コメント入力欄
4	写真を追加・更新するためのボタン
5	添付した写真を削除する場合チェック
6	複数写真がある場合の代表写真選択

写真添付項目では、自分のコンピュータ内にある写真（画像）ファイルを選択して添付します。

新たに写真を添付する場合、まず、「追加・更新」ボタンをクリックして自分のコンピュータ内の画像ファイル一覧を表示し（※表示内容はお使いの環境によって異なります）、画像を選択します。すると、項目上部に選択した写真が表示されます。

また、写真の下にある説明用のコメント欄に入力することができます。説明用のコメントは必須ではありません。

ひとつの項目（例えば「住宅の写真」の「外観写真」）には、原則として4つまで画像が添付できます。そのなかから一つ、代表的な写真を選び、「代表」ボタンにチェックします。

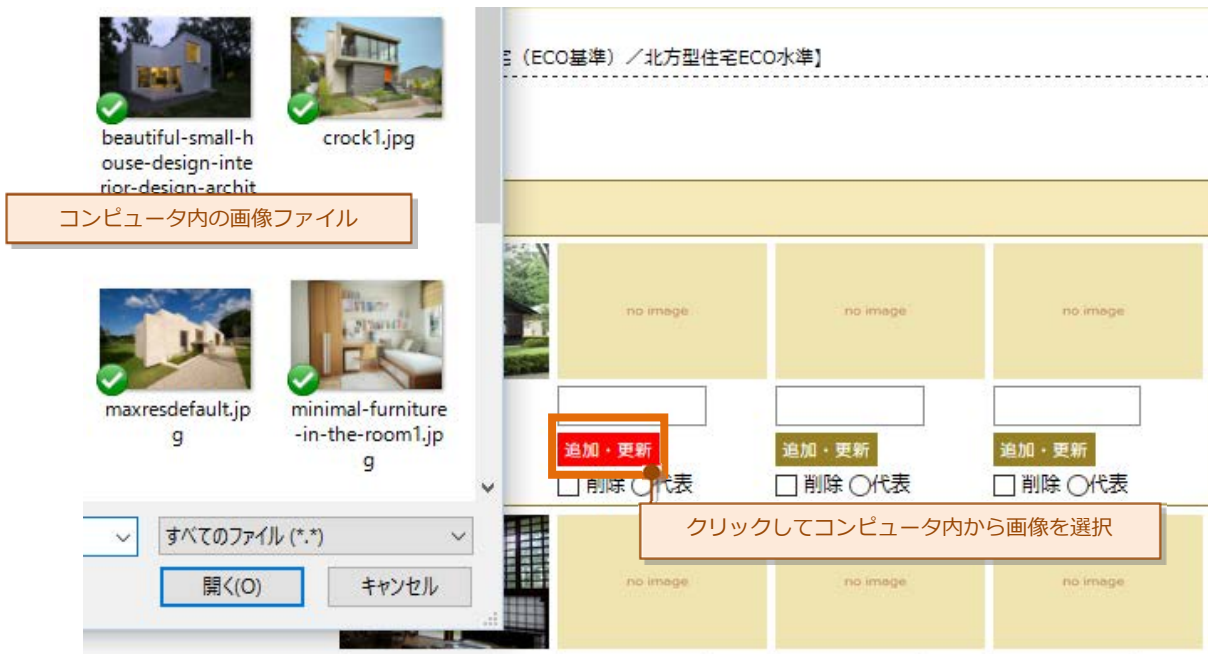
代表的な写真は、この項目を印刷・出力する場合に表示されます。

添付できる写真（画像）ファイルの種類は以下のとおりです。

- ・ JPEG ファイル（拡張子が\*.jpg または\*.jpeg）
- ・ PNG ファイル（拡張子が\*.png）
- ・ GIF ファイル（拡張子が\*.gif）

その他の画像形式や動画等は添付することができません。選択しても、「記入内容を送信する」ボタンをクリックした際に削除されます。





入力が終わったら、画面内の「記入内容を送信する」ボタンをクリックします。クリックしなければ、入力したデータは保存されずに、ページの移動などで消えてしまいます。  
(文字等の入力の際と同じ)。

■ 「きた住まいる」適合に必要な項目について

「きた住まいる」に適合とするためには、ラベリングシート入力画面内の桃色のマークが表示されている項目（下図）をすべて入力した上で、以下の内容を満たす必要があります。

土地の概要	
● 住居表示（都道府県） <small>きた住まいる</small>	北海道
● 住居表示（市町村） <small>きた住まいる</small>	札幌市
● 住居表示（町名番地） <small>きた住まいる</small>	中央区北1条西1丁目1-1

「きた住まいる」適合に必要な項目であることを示すマーク

「きた住まいる」適合に必要な内容について

内容	参照
「きた住まいる」適合に必要な項目がすべて記載されていること	本ページ
きた住まいるメンバーか、きた住まいるメンバーと紐付いている利用者が作成した住宅データであること	→P65
「住宅性能」の「基本性能項目」で、「耐震等級」が <u>等級 1 以上</u> ※注であること	
「住宅性能」の「基本性能項目」で、「断熱等性能等級」が <u>等級 4 以上</u> ※注であること	
「住宅性能」の「基本性能項目」で、「一次エネルギー消費量等級」が <u>等級 4 以上</u> ※注であること	
「住宅性能」の「基本性能項目」で、「劣化対策等級」が <u>等級 3 以上</u> ※注であること	
ラベリングシートが発行済みであること、または独自のラベリングシートを添付していること	→P53 →P58

※注： 「等級〇以上」とは、「等級〇の評価を受けている」または「等級〇相当であることを確認している」のいずれかに該当し、また、〇の数字が上表に示した数字以上であることをいいます。

例：

「等級 1 以上」→「等級 3 相当であることを確認している」：適合

「等級 3 以上」→「等級 2 の評価を受けている」：適合ではない

※参考資料：国交省 HP「住宅の品質確保の促進等に関する法律について」

・ [http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku\\_house\\_tk4\\_000016.html](http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk4_000016.html)

## 9.4 保管用詳細データの入力・各基準への適合判定

住宅の詳細情報画面（→P35）内の「保管用詳細データの入力・各基準適合性判定」ボタン（以後、「詳細データ入力ボタン」と呼びます）ボタンをクリックすると、詳細な住宅データを入力する画面を開くことができ、住宅データ作成時に選択した住宅区分ごとの基準適合性の判定を行うことができます。


詳細データ入力ボタンをクリックすると、以下のような画面が開きます。

保管用詳細データの入力・各基準適合判定 【きた住まいるブランド(北方型)/きた住まいるブランド住宅/1.北方型住宅】

基本
  設計
  施工状況
  使用部資材
  点検・修繕計画
  現況調査

建築主等	建築主
<input checked="" type="radio"/> 建築主	<input checked="" type="checkbox"/> 氏名 ※連名可、建売の場合、会社名を記入 判定 1 <input type="text" value="北海道"/>
<input type="radio"/> 住宅検査人等	<input checked="" type="checkbox"/> カナ氏名 判定 1 <input type="text" value="ホッカイドウ"/>
<input checked="" type="radio"/> 設計者	<input checked="" type="checkbox"/> 郵便番号 ※記入例 000-0000 (ハイフンを入れる) 判定 1 <input type="text" value="000-0000"/>
<input checked="" type="radio"/> 工事監理者	<input checked="" type="checkbox"/> 住所 ※建築主の現住所を記載 判定 1 <input type="text" value="北海道札幌市"/>
<input checked="" type="radio"/> 工事施工者	<input checked="" type="checkbox"/> 電話番号 ※記入例 000-000-0000 (ハイフンを入れる) 判定 1 <input type="text" value="000-000-0000"/>
<input checked="" type="radio"/> BIS等	<input type="radio"/> メールアドレス <input type="text" value="〇〇@〇〇.jp"/>
<input type="radio"/> 技術者	<input checked="" type="button" value="記入内容を送信する"/>
<input type="radio"/> その他の技術者	<input type="button" value="住宅の詳細情報に戻る"/>
<input checked="" type="radio"/> システム入力責任者	
建築物及びその敷地	
<input type="radio"/> 不動産情報	
<input checked="" type="radio"/> 建築物及び敷地	
<input type="radio"/> 住宅の特長	
設計図書	
<input checked="" type="radio"/> 設計図書の確認	
改修工事の概要	
<input type="radio"/> 改修工事の概要	
性能・品質の証明	
<input type="radio"/> 各種証明書等	
<input type="radio"/> 報告日の記録	
打合せ記録	
<input type="radio"/> 打合せ記録	

「保管用詳細データの入力・各基準適合性判定」画面（以後、「詳細データ入力画面」と呼びます）の各部分の意味および機能、ならびに各項目の入力方法は、基本的にラベリングシート入力画面の内容と同じです。

ただし、詳細データ入力画面では、各基準に対する適合性の判定が自動的にされるため、現在の判定内容を示すマークが表示されています。また、判定内容を  にカーソルを合わせることで各基準の適合要件を表示することができます。

判定内容を示すマークの意味は以下のとおりです。



入力項目の名称の横の判定マークが緑色なら、関連する項目すべてが適合状態です。赤色なら、その項目または関連する項目のいずれかが基準に照らして未適合となっています。

ページの大グループ選択ボタン内の、大グループ名の横の判定マークが緑色なら、その大グループ内のすべての項目が適合状態です。赤色なら、その大グループ内のいずれかの項目が基準に照らして未適合となっています。

カーソルを合わせた項目の判定内容です。

各住宅区分の「適合要件一覧表」に対応している判定番号およびカーソルを合わせると判定内容が表示されるマークです。

小グループ選択ボタン内の、小グループ名の横の判定マークが緑色なら、その小グループ内のすべての項目が適合状態です。赤色なら、その小グループ内のいずれかの項目が基準に照らして未適合となっています。

各住宅区分の「適合要件一覧表」を表示します。


保管用詳細データの入力・各基準適合判定 【きた住まいるブランド(北方型)/きた住まいるブランド住宅/1.北方型住宅】

基本 × 設計 × 施工状況 × 使用部資材 ● 点検・修繕計画 ● 現況調査 ●

建築主等


建築主 ● 建築主 ● 住宅検査人等 ● 設計者 × 工事監理者 ×

建築主

氏名 ※運名可、建築の場合、会社名を記入 判定 1  北海道

入力されていること

郵便番号 ※入力例 000-0000 (ハイフンを入れる) 判定 1  000-0000

住所 ※建築主の現住所を記載 判定 1  北海道札幌市


← 詳細情報に戻る

ラベリングシート表示

適合要件一覧表

■ 各判定マークの例

 **電話番号** 【適合状態】 緑色にチェックマーク


 **工事監理者** 【未適合状態】 赤色にチェックマーク

すべての項目・ページ・ページのグループの判定が適合となった場合には、保管期間へこの住宅データの保管申請（→P61）を行うことができます。

その住宅データがどの住宅区分にもとづいて基準適合性を判定されているかは、詳細データ入力画面上部の、住宅データ横に記載されています。

保管用詳細データの入力・各基準適合判定 【きた住まいるブランド(北方型)】 きた住まいるブランド住宅/1.北方型住宅

基本
  設計
  施工状況
  使用即資材
  点検・修繕計画
  現況調査

建築主等	建築主
<input checked="" type="checkbox"/> 建築主	<input checked="" type="checkbox"/> 氏名 ※連名可、建売の場合、会社名を記入 <span style="float: right;">判定 1  北海道</span>

また、住宅の詳細情報画面、マイページ内の住宅データ一覧にも表示されています。

住宅の詳細情報 入力情報更新日：2019年07月12日

  
NO IMAGE

  
NO IMAGE

ステップ1：基本データの输入は、こちらをクリックしてください（住宅ラベリングシートの作成ができます）

 **住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの输入**

ステップ2：詳細データの输入は、こちらをクリックしてください（住宅履歴情報の保管や北方型住宅等の基準適合判定ができます）

 **保管用詳細データの输入・各基準適合判定**

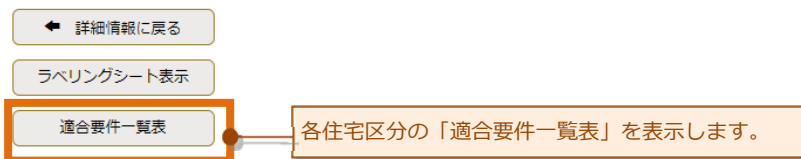
※住宅概要シートとは住宅ラベリングシートのうち個人情報を除いたシートであり、一般ユーザーが閲覧することができます。

住宅名称	きた住まいるブランド(北方型)	所在地	
建築主氏名	北海道	保管状態	未保管
設計事業者(設計)		保管番号	
設計事業者(工事監理)		共通ID	
施工事業者		保管日	
住宅の種類	戸建住宅(新築)	保管期間	保管日から30年間
基準・水準	きた住まいるブランド住宅(判定: X 未適合)	竣工年月日	
録名	1.北方型住宅	ラベリングシート発行	X 未発行(発行に必要な項目が未入力)
きた住まいる判定① (メンバーの遵守事項への適合状況)	X 適合していません	きた住まいる実績	実績に未反映(要件不適合)
概要シート公開	非公開	備考	

## ■ 基準適合性の判定内容について

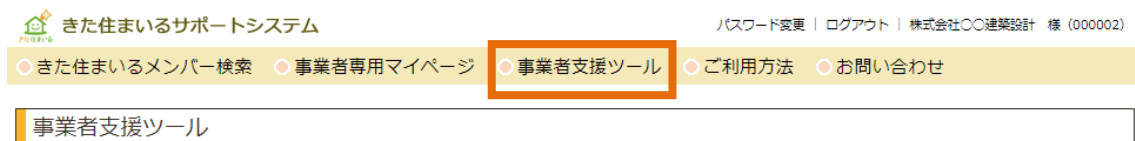
基準適合性の判定は、選択した住宅区分ごとに、それぞれの基準にしたがって自動的に判定されています。

項目ごとの具体的な判定内容は、巻末資料の各住宅区分の適合要件一覧表を参照してください。または、「保管用詳細データの入力・各基準適合性判定」画面の以下のボタンで表示される適合要件一覧表を参照してください。



## ■ 事業者支援ツール

画面上記メニューの「事業者支援ツール」ボタンをクリックすると、以下の様な「事業者支援ツール」画面が表示されます。「システム操作説明書（本書）」や「面積比率を用いる簡略計算シート」等がダウンロードできます。

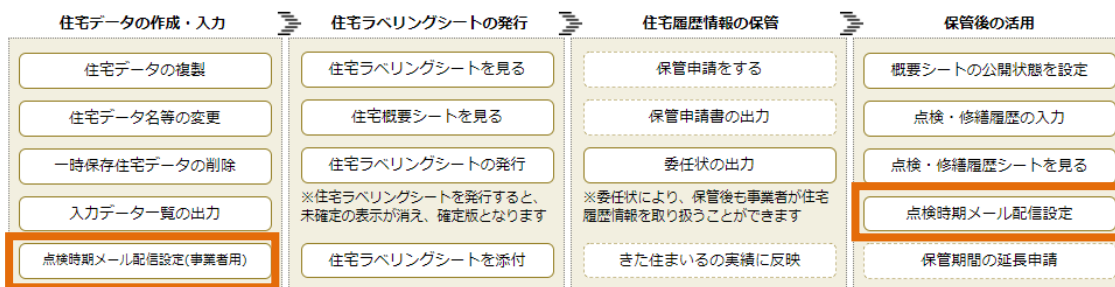


### 事業者支援ツール

- ・ エネマジツール (Excel) (準備中)
- ・ 面積比率を用いる簡略計算シート
- ・ 操作説明書
- ・ 適合するための要件 (北方型住宅 / 北方型住宅ECO)
- ・ 適合するための要件 (北海道R住宅)
- ・ 適合するための要件 (その他新築・既存住宅)

## ■ 点検時期メール配信の設定

指定された時期ごとに点検時期のお知らせをメール配信することができます。住宅の詳細情報の「点検時期メール配信設定（事業者用）」または「点検時期メール配信設定」ボタンをクリックします。



すると、以下の様な「点検時期メール配信の設定」画面が表示されます。

きた住まいのサポートシステム パスワード変更 | ログアウト | 株式会社〇〇建築設計 様 (000002)

きた住まいのメンバー検索
  事業者専用マイページ
  事業者支援ツール
  ご利用方法
  お問い合わせ

**点検時期メール配信の設定（事業者用）【きた住まいのブランド(北方型)】**

住宅データ「きた住まいのブランド(北方型)」の保管後に、指定された時期ごとに点検時期のお知らせをメール配信することができます。

配信を行うか否か <small>必須</small>	<input type="text" value="配信を行わない"/>	配信の基準日 <small>必須</small>	<input type="text"/>	<small>[半角]</small>
配信する年次 <small>必須</small>	<input type="checkbox"/> 1年後 <input type="checkbox"/> 2年後 <input type="checkbox"/> 3年後 <input type="checkbox"/> 4年後 <input type="checkbox"/> 5年後 <input type="checkbox"/> 6年後 <input checked="" type="checkbox"/> 7年後 <input type="checkbox"/> 8年後 <input type="checkbox"/> 9年後 <input type="checkbox"/> 10年後 <small>※上記基準日からの経過年数</small>			
配信タイミング <small>必須</small>	<input type="text"/>	配信先E-Mail <small>必須</small>	<input type="text"/>	<small>[半角]</small>
<input checked="" type="button" value="✓ 配信を設定する"/> <input type="button" value="リセットする"/> <input type="button" value="← 住宅の詳細情報に戻る"/>				

配信を行うか否かで「配信を行う」を選択し、各項目に入力・選択を行うことで、指定されたメールアドレスに、点検時期のお知らせのメールが届きます。

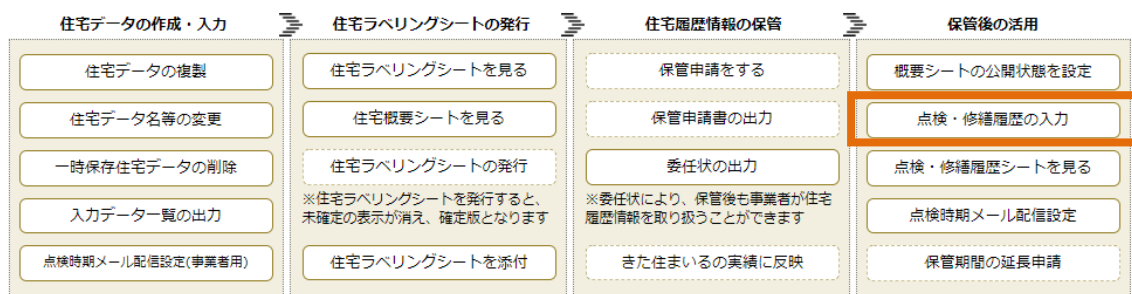


## 10 点検・修繕履歴の入力

住宅データの作成後、その住宅の点検・修繕の履歴を入力することができます。

本機能は、保管後に住宅データが住宅所有者などに移転したあとの入力を想定していますが、きた住まいるメンバーが住宅データの入力ができる間にメンテナンスなどを実施した場合には入力することができます。

住宅の詳細情報画面から、「点検・修繕履歴の入力」をクリックします。



すると以下のような「点検・修繕履歴入力画面」が表示されますので、適宜、点検・修繕履歴を入力していきます。

現在、点検履歴・修繕履歴ともに 10 回分まで入力することができます。

きた住まいるサポートシステム パスワード変更 | ログアウト | 株式会社〇〇建築設計 様 (000002)

きた住まいるメンバー検索
  事業者専用マイページ
  ご利用方法
  お問い合わせ

■ 点検・修繕履歴の入力 【その他新築試験160624/北方型住宅水準】

点検・修繕履歴

点検履歴	点検 1
<input type="radio"/> 点検 1	点検の概要
<input type="radio"/> 点検 2	● 点検実施者会社名 (会社名) <input type="text"/>
<input type="radio"/> 点検 3	● 点検実施者会社名 (連絡先) <input type="text"/>
<input type="radio"/> 点検 4	● 点検実施者 (氏名) <input type="text"/>
<input type="radio"/> 点検 5	● 点検実施者 (資格) <input type="text"/>
<input type="radio"/> 点検 6	● 検査日 <input type="text"/>

※きた住まいるランド「もっと詳しく知りたいパンフレット・資料」ページ参照

・ <https://www.kita-smile.jp/portal/shiryou/hoppougatasiryou.html>

## 11 住宅ラベリングシートの発行について

住宅データの作成後、その住宅の「住宅ラベリングシート」を発行することができます。発行されると、住宅ラベリングシートの内容が確定し、変更できなくなります。

住宅データをきた住まいの実績として反映（→P56）するためには、住宅ラベリングシートを発行することが必要です（本システムでラベリングシートを作成する場合）。

住宅ラベリングシートを発行するためには、その住宅について「住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの入力」で、所定の項目を入力し要件に適合する必要があります。要件は巻末資料の「ラベリングシートを発行する要件」に記載されております。または、「住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの入力」画面の「ラベリングシート発行要件」ボタンをクリックすることで資料を閲覧することができます。

住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの入力 【きた住まいのブランド(北方型)/きた住まいのブランド住宅/1.北方型住宅】

○ 概要 ● 住宅性能 ● 認定・登録

概要	住宅所有者
○ 住宅・土地の概要	● 住宅所有者名 <input type="text" value="北海道"/>
● 住宅の写真	✓ 記入内容を送信する
● 事業者の概要	
設計上の特長 ※新築工事の場合に入力	土地の概要
改修工事の概要 ※改修工事の場合に入力	● 住居表示（都道府県） <small>きた住まいの必須</small> <input type="text" value="北海道"/>
← 詳細情報に戻る	● 住居表示（市町村） <small>きた住まいの必須</small> <input type="text" value="a"/>
ラベリングシート表示	● 住居表示（町名番地） <small>きた住まいの必須</small> <input type="text" value="a"/>
きた住まいの実績要件	● 都市計画区域及び準都市計画区域 <small>きた住まいの必須</small> <input type="text" value="都市計画区域内"/>
<b>ラベリングシート発行要件</b>	● 用途地域 <small>きた住まいの必須</small> <input type="text" value="第一種低層住居専用地域"/>
	● 地区計画や協定等 <input type="text" value="a"/>
	● 敷地面積 <small>きた住まいの必須</small> <input type="text" value="10"/> m <sup>2</sup>

ラベリングシートを発行する要件を閲覧できます

所定の項目が入力され、発行できる状態になると、住宅の詳細情報画面の「ラベリングシートを発行する」ボタンがクリックできるようになります。  
 また、「住宅の詳細情報」画面の「ラベリングシート発行」欄で現在の状態を確認できます。  
 状態は以下の3種類となっております。

- ・ × 未発行（発行に必要な項目が未入力）
- ・ △ 未発行（発行可能）
- ・ ○ 発行済み

現在の状態を確認できます

住宅名称	きた住まいるブランド(北方型)	所在地	aa
建築主氏名	北海道	保管状態	未保管
設計事業者(設計)		保管番号	
設計事業者(工事監理)		共通ID	
施工事業者		保管日	
住宅の種類	戸建住宅(新築)	保管期間	保管日から30年間
基準・水準	きた住まいるブランド住宅(判定:○ 適合)	竣工年月日	2018年05月16日
きた住まいるブランド住宅登録名	1.北方型住宅	ラベリングシート発行	× 未発行(発行に必要な項目が未入力)
きた住まいる判定② (メンバーの遵守事項への適合状況)	× 適合していません	きた住まいる実績	実績に未反映(要件不適合)
概要シート公開	公開中	備考	

住宅データの作成・入力
住宅ラベリングシートの発行
住宅履歴情報の保管
保管後の活用

住宅データの複製	住宅ラベリングシートを見る	保管申請をする	概要シートの公開状態を設定
住宅データ名等の変更	住宅概要シートを見る	保管申請書の出力	点検・修繕履歴の入力
一時保存住宅データの削除	住宅ラベリングシートの発行	委任状の出力	点検・修繕履歴シートを見る
入力データ一覧の出力	※住宅ラベリングシートを発行すると、未確定の表示が消え、確定版となります	※委任状により、保管後も事業者が住宅履歴情報を取り扱うことができます	点検時期メール配信設定
点検時期メール配信設定(事業者用)	住宅ラベリングシートを添付	きた住まいるの実績に反映	保管期間の延長申請

要件に適合するとボタンが実線になりクリックできるようになります

「住宅ラベリングシートの発行」ボタンをクリックすると、次のような画面が開きます。

きた住まいるサポートシステム パスワード変更 | ログアウト | 株式会社〇〇建築設計 様 (000002)

○きた住まいるメンバー検索 ○事業者専用マイページ ○ご利用方法 ○お問い合わせ

### ラベリングシートの発行【その他新築試験160624】

住宅データ「その他新築試験160624」のラベリングシートを発行します。一度発行すると、すべてのデータの更新ができなくなります（住宅データ名等を除く）また、ラベリングシートの発行日は「発行する」ボタンをクリックした日付となります。

ラベリングシートの発行者 必須 設計者 ラベリングシートの発行者を選択

注意書きを確認し、「その他新築試験1...」のラベリングシートを発行します。

✓ 発行する リセットする ← 住宅の詳細情報に戻る

クリック

「ラベリングシートの発行者」（住宅ラベリングシートの右上に、発行日とともに表示される名称）を、設計者・工事監理者・施工者から選択した上で注意書きを確認し、チェックボックスをクリックしてから「発行する」ボタンをクリックすると、ラベリングシートが発行されます。

また、ラベリングシートの発行は、選択した住宅区分について適合とならなくても行うことができます。

ただし、いったん発行すると、その住宅に関するすべてのデータ（住宅データ名等を除く）の変更・更新ができなくなるため、選択した住宅区分について適合となる前にラベリングシートを発行すると、住宅データの保管申請（→P61）が行えなくなってしまうので十分注意してください。

## 12 きた住まいの実績への反映について

住宅データの作成後、所定の要件を満たすと、その住宅データを「きた住まいの実績」として反映することができます。

きた住まいの実績の反映とは、作成した住宅データを「実績シート」に表示させ、住宅概要シートなどを一般利用者に閲覧していただけるようになることです。

きた住まいの実績に反映するためには、その住宅について「住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの入力」で所定の項目を入力することや、きた住まいのメンバーであることなどの要件がありますので、詳しくは巻末資料の「きた住まいの実績に反映する要件」を確認してください。要件は「住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの入力」画面の「きた住まいの実績要件」ボタンをクリックすることで確認できます。

住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの入力 【きた住まいのブランド(北方型)／きた住まいのブランド住宅／1.北方型住宅】

○ 概要 ● 住宅性能 ● 認定・登録

概要	住宅所有者
○ 住宅・土地の概要	● 住宅所有者名 北海道
● 住宅の写真	
● 事業者の概要	✓ 記入内容を送信する
設計上の特長 ※新築工事の場合に入力	土地の概要
改修工事の概要 ※改修工事の場合に入力	● 住居表示（都道府県） <small>きた住まい必須</small> 北海道
← 詳細情報に戻る	● 住居表示（市町村） <small>きた住まい必須</small> a
ラベリングシート表示	● 住居表示（町名番地） <small>きた住まい必須</small> a
きた住まいの実績要件	● 都市計画区域及び準都市計画区域 <small>きた住まい必須</small> 都市計画区域内
ラベリングシート発行要件	● 用途地域 <small>きた住まい必須</small> 第一種低層住居専用地域
	● 地区計画や協定等 a
	● 敷地面積 <small>きた住まい必須</small> 10 m <sup>2</sup>

きた住まいの実績に反映する要件を閲覧できます

きた住まいの実績として反映するためには以下の二通りの方法があります。

## 12.1 本システムで住宅ラベリングシートを発行する場合

その住宅について住宅ラベリングシートを発行（→P53）し、「住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの入力」で、きた住まいの実績反映に必要な項目を入力（→P56）します。

入力が必要な項目は下の図のように「きた住まいの必須」と桃色で表示されているマークを目安にしてください。

詳しくは巻末資料の「きた住まいの実績に反映する要件」を確認してください。

土地の概要	
● 住居表示（都道府県） <small>きた住まいの必須</small>	北海道 ▼
● 住居表示（市町村） <small>きた住まいの必須</small>	a
● 住居表示（町名番地） <small>きた住まいの必須</small>	a
● 都市計画区域及び準都市計画区域 <small>きた住まいの必須</small>	都市計画区域内 ▼
● 用途地域 <small>きた住まいの必須</small>	第一種低層住居専用地域 ▼
● 地区計画や協定等	a
● 敷地面積 <small>きた住まいの必須</small>	10 m <sup>2</sup>
● 地盤情報 <small>きた住まいの必須</small>	添付する ▼
● 地盤改良	a 工法

きた住まいの実績に反映するための入力項目の目安

## 12.2 本システム以外の住宅ラベリングシートを添付する場合

住宅の詳細情報画面から「ラベリングシートを添付する」ボタンをクリックして「独自のラベリングシート添付の場合の入力」画面を開き、所定の項目を入力し、独自のラベリングシートを添付します。

なお、独自のラベリングシートを添付する場合も、巻末資料の「きた住まいるの実績に反映する要件」を確認してください。または、「きた住まいる実績要件」ボタンをクリックしてください。

### 独自のラベリングシート添付の場合の入力 【きた住まいるブランド(北方型)/きた住まいるブランド住宅/1.北方型住宅】

この画面では、きた住まいるサポートシステムでラベリングシートを発行せず、独自のフォーマットでラベリングシートを発行した場合にその添付を行います。きた住まいるサポートシステムで発行したラベリングシートは添付をしないでください。

<input type="radio"/> 概要	<input type="radio"/> 住宅性能
<b>概要</b>	<b>ラベリングシート</b>
<input type="radio"/> 住宅・土地の概要	<input type="radio"/> 住宅ラベリングシート (本システム発行以外) <input type="text" value="---"/> <input type="button" value="閲覧"/> <input type="button" value="追加"/> <input type="checkbox"/> 削除
<input type="radio"/> 事業者の概要	<input type="radio"/> 住宅概要シート (本システム発行以外) <input type="text" value="---"/> <input type="button" value="閲覧"/> <input type="button" value="追加"/> <input type="checkbox"/> 削除
<input type="button" value="← 詳細情報に戻る"/>	<input checked="" type="button" value="✓ 記入内容を送信する"/>
<b>ラベリングシート表示</b>	<b>土地の概要</b>
<input type="button" value="きた住まいる実績要件"/>	<input type="radio"/> 住居表示 (都道府県) <input type="text" value="きた住まいる必須"/> <input type="text" value="北海道"/>
	<input type="radio"/> 住居表示 (市町村) <input type="text" value="きた住まいる必須"/> <input type="text" value="a"/>
	<input type="radio"/> 住居表示 (町名番地) <input type="text" value="きた住まいる必須"/> <input type="text" value="a"/>
	<input type="text" value="10"/> m2
	<input checked="" type="button" value="✓ 記入内容を送信する"/>

以下の項目が、独自の住宅ラベリングシートおよび住宅概要シートを添付する場所です。

<b>ラベリングシート</b>	
<input type="radio"/> 住宅ラベリングシート (本システム発行以外)	<input type="text" value="---"/> <input type="button" value="閲覧"/> <input type="button" value="追加"/> <input type="checkbox"/> 削除
<input type="radio"/> 住宅概要シート (本システム発行以外)	<input type="text" value="---"/> <input type="button" value="閲覧"/> <input type="button" value="追加"/> <input type="checkbox"/> 削除

独自の住宅ラベリングシート・住宅概要シート添付欄



以上の二通りのいずれかの操作を終えて、きた住まいの実績として反映できる状態になると、住宅の詳細情報画面の「きた住まいの実績に反映」ボタンがクリックできるようになります。

また、「住宅の詳細情報」画面の「きた住まいの実績」欄で現在の状態を確認できます。状態は以下の3種類となっております。

- ・実績に未反映（要件不適合）
- ・実績に未反映（要件適合・ラベリングシート未発行）
- ・実績に反映済み

現在の状態を確認できます

住宅名称	きた住まいのブランド(北方型)	所在地	aa
建築主氏名	北海道	保管状態	未保管
設計事業者(設計)		保管番号	
設計事業者(工事監理)		共通ID	
施工事業者		保管日	
住宅の種類	戸建住宅(新築)	保管期間	保管日から30年間
基準・水準	きた住まいのブランド住宅(判定:○ 適合)	竣工年月日	2018年05月16日
きた住まいのブランド住宅登録名	1.北方型住宅	ラベリングシート発行	× 未発行(発行に必要な項目が未入力)
きた住まいの判定② (メンバーの遵守事項への適合状況)	× 適合していません	きた住まいの実績	実績に未反映(要件不適合)
概要シート公開	公開中	備考	

住宅データの作成・入力	住宅ラベリングシートの発行	住宅履歴情報の保管	保管後の活用
住宅データの複製	住宅ラベリングシートを見る	保管申請をする	概要シートの公開状態を設定
住宅データ名等の変更	住宅概要シートを見る	保管申請書の出力	点検・修繕履歴の入力
一時保存住宅データの削除	住宅ラベリングシートの発行	委任状の出力	点検・修繕履歴シートを見る
入力データ一覧の出力	※住宅ラベリングシートを発行すると、未確定の表示が消え、確定版となります	※委任状により、保管後も事業者が住宅履歴情報を取り扱うことができます	点検時期メール配信設定
点検時期メール配信設定(事業者用)	住宅ラベリングシートを添付	きた住まいの実績に反映	保管期間の延長申請

要件に適合となるとクリックできるようになります

「きた住まいるの実績に反映」ボタンをクリックすると、次のような画面が開きます。

The screenshot shows the 'きた住まいるサポートシステム' (KitaZumairu Support System) interface. At the top right, there is a 'ログアウト | システム管理者 様 (000001)' link. Below the header is a navigation bar with links: 'きた住まいるメンバー検索', 'システム管理者専用マイページ', 'ご利用方法', and 'お問い合わせ'. The main content area has a title 'きた住まいるの実績として反映【試験住宅160705】'. Below the title, it says '住宅データ「試験住宅160705」をきた住まいるの実績として反映します。' (Reflect apartment data 'Test Apartment 160705' as performance in KitaZumairu). A pink confirmation box contains the text: '☐ 注意書きを確認し、「試験住宅1607...」をきた住まいるの実績として反映します。' (Check the note and reflect 'Test Apartment 1607...' as performance in KitaZumairu). Below this are three buttons: '✔ 実績として反映する' (Reflect as performance), 'リセットする' (Reset), and '← 住宅の詳細情報に戻る' (Return to apartment details). An orange box highlights the '✔ 実績として反映する' button, with a callout box labeled 'クリック' (Click) pointing to it.

注意書きを確認し、チェックボックスをクリックしてから「実績として反映する」ボタンをクリックすると、きた住まいる実績として反映され、実績シート（→P4）に実績として表示されるようになります。

## 13 保管申請をする

住宅データを新規作成し(→P30)、さまざまなデータを入力したあと、選択した住宅区分ごとの基準に適合した場合には、保管機関へ保管申請を行うことができます。

保管申請をするためには、住宅の詳細情報画面内の「保管申請をする」ボタンをクリックします。

要件を満たさない間は、このボタンはクリックすることができないようになっています。また、「住宅の詳細情報」画面の「基準・水準」欄で現在の状態を確認できます。状態は以下の2種類となっております。

- ・住宅区分 (判定：○ 適合)
- ・住宅区分 (判定：X 未適合)

現在の状態を確認できます

住宅名称	きた住まいのブランド(北方型)	所在地	aa
建築主氏名	北海道	保管状態	未保管
設計事業者(設計)		保管番号	
設計事業者(工事監理)		共通ID	
施工事業者		保管日	
住宅の種類	戸建住宅(新築)	保管期間	保管日から30年間
基準・水準	きた住まいのブランド住宅(判定：○ 適合)	竣工年月日	2018年05月16日
きた住まいのブランド住宅登録名	1.北方型住宅	ラベリングシート発行	× 未発行(発行に必要な項目が未入力)
きた住まいの判定? (メンバーの遵守事項への適合状況)	× 適合していません	きた住まいの実績	実績に未反映(要件不適合)
概要シート公開	公開中	備考	

住宅データの作成・入力	住宅ラベリングシートの発行	住宅履歴情報の保管	保管後の活用
住宅データの複製	住宅ラベリングシートを見る	<b>保管申請をする</b>	概要シートの公開状態を設定
住宅データ名等の変更	住宅概要シートを見る	保管申請書の出力	点検・修繕履歴の入力
一時保存住宅データの削除	住宅ラベリングシートの発行	委任状の出力	点検・修繕履歴シートを見る
入力データ一覧の出力	※住宅ラベリングシートを発行すると、未確定の表示が消え、確定版となります	※委任状により、保管後も事業者が住宅履歴情報を取り扱うことができます	点検時期メール配信設定
点検時期メール配信設定(事業者用)	住宅ラベリングシートを添付	きた住まいの実績に反映	保管期間の延長申請

要件に適合となるとクリックできるようになります

保管申請をするボタンをクリックすると、保管申請画面が表示されます。  
この画面内で、保管者（保管機関からの連絡先となる事業者等）の会社名などを入力していきます。

### 保管機関への保管申請【その他新築住宅 戸建住宅(新築)】

住宅データ「その他新築住宅 戸建住宅(新築)」の保管を保管機関に申請します。保管者の連絡先等を入力して「申請を実行する」をクリックしてください。なお、保管者の連絡先として「工事施工者」の情報が表示されていますが、変更することができます。なお、「点検時期配信メール」の設定は保管後ではなく、保管申請前に行ってください。保管後には設定できなくなります。

入力

#### 保管者について

会社名 <b>必須</b> <small>※商号または名称</small>	<input type="text"/>	代表者役職 <b>必須</b>	<input type="text"/>
代表者氏名 <b>必須</b>	<input type="text"/>	郵便番号 <b>必須</b>	<input type="text"/>
住所 <b>必須</b>	<input type="text"/>	電話番号 <b>必須</b>	<input type="text"/>
E-Mail <b>必須</b>	<input type="text"/> <small>※入力したアドレスには、申請受付のお知らせが送付されます</small>		

#### 住宅ラベリングシート等の確認

保管を申請する前に、こちらから「住宅ラベリングシート」「住宅概要シート」の内容を確認してください。また、「申請を実行する」を押した後は「住宅概要シート・ラベリングシート作成データの入力」「保管用詳細データの入力・各基準適合判定」「物件情報を変更する」および「一時保存物件の削除」は行えなくなります。

[住宅ラベリングシートを見る](#) [住宅概要シートを見る](#)

#### 規約・約款等の確認

住宅ラベリングシート・住宅概要シートの内容を確認し、「住宅履歴情報保管・提供に関する約款」「きた住まいるサポートシステム利用規約」および「保管規約」に同意して「その他新築住宅 戸建住宅(新築)」の保管を申請します。

[住宅履歴情報保管・提供に関する約款](#) [きた住まいるサポートシステム利用規約](#) [保管規約](#)

※「住宅履歴情報保管・提供に関する約款」第9条に基づき情報登録者へ委任を行う場合には、次の委任状を申請時にあわせて提出してください。

[住宅履歴情報保管・提供に関する約款第9条に基づく委任状](#)

クリック

所定の内容を記入して「申請を実行する」ボタンをクリックすると、保管機関に申請内容が送付されます。

また、申請者（きた住まいるメンバー）にも、下記のようなメールが自動送信されます。

様

こちらはきた住まいるサポートシステムです。  
下記の保管申請が保管機関に送信されました。

-----  
 物件名: その他新築試験160624  
 申請日時: 2018/06/26 20:26  
 申請者: 株式会社〇〇建築設計 様  
 申請者メール:  
 保管者郵便番号:  
 保管者所在地:  
 保管者会社名: 株式会社  
 保管者代表職名:  
 保管者代表氏名: 様  
 保管者電話番号: 011- -3333  
 -----

きた住まいるサポートシステム  
 保管申請自動処理システム  
 (本メールは自動的に送信されています)

保管申請を行うと、マイページ（きた住まいるメンバー専用）内の住宅データ一覧や、住宅の詳細情報の画面内に、申請中である旨の表示がされます。

住宅名称	その他新築住宅 戸建住宅(新築)	所在地	札幌市テスト区
建築主氏名	北海花子	保管状態	申請中
設計事業者(設計)	未登録IDです	保管番号	
設計事業者(工事監理)	未登録IDです	共通ID	
施工事業者	未登録IDです	保管日	
住宅の種類	戸建住宅 (新築)	保管期間	保管日から30年間
基準・水準	その他の新築住宅 (判定: ○ 適合)	竣工年月日	2019年02月24日
きた住まいるブランド住宅登録名		ラベリングシート発行	△ 未発行 (発行可能)
きた住まいる判定② (メンバーの遵守事項への適合状況)	× 適合していません	きた住まいる実績	実績に未反映 (要件不適合)
概要シート公開	非公開	備考	

#### 管理している住宅データ一覧

■ その他新築住宅 戸建住宅(新築)		詳細情報
所在地	札幌市テスト区	住宅区分 その他新築住宅 (判定: ○ 適合)
建築主氏名	北海花子	保管状態・番号 申請中
担当者氏名	匿名	きた住まいる実績 実績に未反映 (判定: X 未適合)
竣工年月日	2019年02月24日	最終更新日 2019年07月18日



## 14 利用者の紐付け機能について

本システムでは、きた住まいるメンバーが、メンバー以外のシステム利用者（以後、このような利用者を「利用者 ID」と呼びます）が入力した住宅データを自社の実績として表示させることが可能です。

このことを、「きた住まいるメンバーを利用者 ID と紐付けする」と呼びます。

この機能は、例えば、きた住まいるメンバーの所属社員が部署ごとに利用者 ID を取得して住宅データをそれぞれ入力する場合などを想定しています。

マイページ（→P22）には、現在紐付けされている利用者 ID の一覧が表示されています。新しく紐付けするには、その下の「他の利用者を紐付けする」をクリックします。

■ 紐付けられている利用者ID一覧

氏名	梅藤テスト入力	ID	baitou.yuu@pref.hokkaido.lg.jp	操作	紐付けを解除
氏名	タイガーウッズ	ID	torii@hokkaido-ksc.or.jp	操作	紐付けを解除

他の利用者を紐付けする

クリック

すると、以下のような画面が開きます。

きた住まいるサポートシステム パスワード変更 | ログアウト | 株式会社〇〇建築設計 様 (000002)

○ きた住まいるメンバー検索 ○ 事業者専用マイページ ○ ご利用方法 ○ お問い合わせ

### きた住まいるメンバーと利用者IDの紐付け

会社名	株式会社〇〇建築設計	
登録番号・年月日	登録番号：0012345	登録年月日：2016年05月11日
所在地	札幌市中央区北1条西1丁目1-1	

上記のきた住まいるメンバーに紐付ける利用者のID・パスワードを入力してください。

利用者ID 必須  [半角]      パスワード 必須  [半角]

✓ 紐付けを実行する      リセットする      ← マイページに戻る

紐付けしたい利用者の ID を入力

紐付けしたい利用者のパスワードを入力

クリック

紐付けしたい利用者の ID とパスワードをそれぞれの欄に入力し、「紐付けを実行する」をクリックすると、その利用者 ID が紐付けられ、マイページ内の「紐付けられている利用者 ID 一覧」に表示されます。

なお、利用者 ID またはパスワードが間違っていると紐付けされません。

#### ■ 紐付けられている利用者ID一覧

氏名	梅藤テスト入力	ID	baitou.yuu@pref.hokkaido.lg.jp	操作	紐付けを解除
氏名	タイガーウッズ	ID	torii@hokkaido-ksc.or.jp	操作	紐付けを解除

利用者 ID およびパスワードは、その利用者本人から直接受領して入力してください。  
利用者 ID およびパスワードはシステム管理者等からお知らせすることはできません。

なお、紐付けされた利用者が作成した住宅データが「きた住まいる」に適合（→P46）となった場合、ひも付けされたきた住まいるメンバーの実績として集計され、実績シート（→P10）等に表示されます。



## 15 ひな形データの活用（住宅データの複製）

本システムでは、きた住まいのメンバーが手がけた住宅のデータを入力（→P30）することで、住宅ラベリングシートを発行（→P53）したり、きた住まいの実績として反映（→P56）できるようになります。

このとき、手がけた住宅が複数あり、しかもそれぞれが共通した内容を持つ場合（例えば、自社独自ブランド住宅である場合など）、個別に住宅データを入力するのではなく、ひとつの住宅データを複製して複数の住宅データを作成することができます。

こうした複製元になるデータを「ひな形データ」と呼びます。

通常の住宅データは、保管申請されないままデータ作成時から一年間が経過すると削除されてしまいますが、ひな形データは削除されることがありません。

また、ひな形データは保管申請をすることができません。

### 15.1 ひな形データの作成

ひな形データを作成するには、住宅データの作成（→P30）画面で「データの扱い」を「ひな形データ」と選択します。

住宅データの新規登録

住宅データ名 <small>必須</small> <small>※住宅モデル名等、簡潔に</small>	<input type="text"/> [全角・半角]	基準・水準 <small>必須</small>	<input type="text"/>
住宅の種類 <small>必須</small>	<input type="text"/>	担当作業 <small>必須</small> <small>※注1</small>	<input type="text"/>
データの扱い <small>必須</small> <small>※注2</small>	<input type="text"/> 通常データ ひな形データ		

※注1：設計・建設の実績登録時の「設計・建設」の区分に適合しているもののみとなります。  
※注2：通常データは保管申請が完了すると自動的に削除されます。ひな形データは削除されませんが、保管申請ができません。

新規登録を実行する   リセットする   マイページに戻る

「ひな形データ」を選択

作成されたひな形データは、通常の住宅データと同じように「住宅ラベリングシート・住宅概要シート作成データの入力」（→P41）や「保管用詳細データの入力・各基準適合判定」（→P47）など、さまざまな情報の入力作業を行うことができます。

## 15.2 ひな形データを利用した住宅データの複製

作成したひな形データを活用し、住宅データを複製して作成するには、まず、住宅の詳細情報画面（→P35）で「住宅データの複製」ボタンをクリックします。

すると、次のような画面が開きます。

この画面で「新しい住宅データ名」欄に、複製後の住宅データの名前を入力します。その後「複製を実行する」をクリックすると、入力した名前の住宅データが作成されます。この新しい住宅データには、複製元の住宅データの内容が引き継がれています。

ただし、写真ファイル・各種図面ファイル・選択した住宅区分ごとの判定結果・住宅ラベリングシート発行の有無・きた住まいる実績反映の有無・保管の有無は引き継がれません。これらは各住宅に固有のものであるためです。

## 卷末資料

## ラベリングシートを発行する要件

## ラベリングシートを発行する要件

「住宅概要シート・ラベリングシート作成データの入力」で以下の判定内容が満たされていること

### (1) 新築住宅の場合

住宅データの新規登録「住宅の種類」で「新築」が選択されている場合  
次の表に適合していること

項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	判定内容
概要	住宅・土地の概要	土地の概要		1 住居表示 (都道府県)	空欄以外を選択
				2 住居表示 (市町村)	入力
				3 住居表示 (町名番地)	入力
				4 都市計画区域及び準都市計画区域	空欄以外を選択
				5 用途地域	空欄以外を選択
				6 敷地面積	入力
				7 地盤情報	空欄以外を選択
	住宅の概要			8 竣工年月日	入力
				9 主たる構造	空欄以外を選択
				10 地上階数	入力
				11 耐火構造	空欄以外を選択
				12 延床面積	入力
				13 建築面積	入力
				14 暖房設備	空欄以外を選択
事業者の概要	事業者の概要	事業者の概要	15 設計事業者 (設計) きた住まいID	「15」または「16」を入力し、かつ入力したIDがシステムに登録されているものであること	
			16 施工事業者きた住まいID		
			17 氏名		
			18 登録番号 ※BIS、BIS-Mの場合		
			19 登録番号 ※住宅省エネルギー技術講習会設計者講習会修了者の場合		
			20 氏名		
21 登録番号 ※BIS-E、BIS-Mの場合	「17」かつ「18」を入力 ・「17」かつ「19」を入力 ・「20」かつ「21」を入力 ・「20」かつ「22」を入力 のいずれかを満たし、かつ 「18」、「21」を入力した場合は、入力した登録番号に対応した氏名が「17」、「20」に入力されていること				
22 登録番号 ※住宅省エネルギー技術講習会施工技術者講習会修了者の場合					
住宅性能	省エネルギー性能	地域区分 外皮性能	23 地域区分	空欄以外を選択	
			24 外皮平均熱貫流率(UA値)	入力	
			25 冷房期の外皮平均日射熱取得率(ηA値)	入力	
			26 住宅の計算対象となる延べ床面積 ※熱的境界の内側を対象	入力	
			27 基準一次エネルギー消費量 (その他設備除く) (Est)	入力	
	基本性能項目	きた住まいの基本性能項目 (新築工事の場合)		28 設計一次エネルギー消費量 (その他設備除く) (Et)	入力
				29 耐震等級	空欄以外を選択
				30 断熱等性能等級	空欄以外を選択
				31 一次エネルギー消費量等級	空欄以外を選択
				32 劣化対策等級	空欄以外を選択

### (2) 既存住宅の場合

住宅データの新規登録「住宅の種類」で「改修【リフォーム】」が選択されている場合  
次の表に適合していること

項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	判定内容
概要	住宅・土地の概要	土地の概要		1 住居表示 (都道府県)	空欄以外を選択
				2 住居表示 (市町村)	入力
				3 住居表示 (町名番地)	入力
				4 都市計画区域及び準都市計画区域	空欄以外を選択
				5 用途地域	空欄以外を選択
				6 敷地面積	入力
				7 地盤情報	空欄以外を選択
	住宅の概要			8 改修工事年月日 (本工事)	入力
				9 主たる構造	空欄以外を選択
				10 地上階数	入力
				12 延床面積	入力
				13 建築面積	入力
				14 暖房設備	空欄以外を選択
				15 インスペクション年月日	「18」が入力されている場合は入力されていること
事業者の概要	事業者の概要	事業者の概要	16 設計事業者 (設計) きた住まいID	「15」または「16」を入力し、かつ入力したIDがシステムに登録されているものであること	
			17 施工事業者きた住まいID		
			18 インスペクション実施事業者名		
			19 氏名		
			20 登録番号 ※BIS、BIS-Mの場合		
			21 登録番号 ※住宅省エネルギー技術講習会設計者講習会修了者の場合		
改修工事の概要	改修工事の概要	改修工事の概要	22 氏名	次の①と②を満たすこと ①「19」かつ「20」を入力 ・「19」かつ「21」を入力 ・「22」かつ「23」を入力 ・「22」かつ「24」を入力 ②「20」、「23」を入力した場合は、入力した登録番号に対応したBIS等の氏名が「19」、「22」に入力されていること	
			23 登録番号 ※BIS-E、BIS-Mの場合		
			24 登録番号 ※住宅省エネルギー技術講習会施工技術者講習会修了者の場合		
			25 氏名		
住宅性能	省エネルギー性能	地域区分 外皮性能	26 資格	「18」が入力されている場合は入力されていること	
			27 耐震性能向上に係る改修工事の概要	「18」が入力されている場合は入力されていること	
			28 省エネ性能向上に係る改修工事の概要		
			29 耐久性性能向上に係る改修工事の概要		
			基本性能項目	きた住まいの基本性能項目 (改修後)	耐震等級
	31 外皮平均熱貫流率(UA値)				
	改修工事の概要	改修工事の概要	改修工事の概要	32 冷房期の外皮平均日射熱取得率(ηA値)	「37」、「38」、「39」、「40」の性能等級が選択されている場合は「空欄」以外が選択されていること
33 住宅の計算対象となる延べ床面積 ※熱的境界の内側を対象				「37」、「38」の性能等級が選択されている場合は入力されていること	
34 基準一次エネルギー消費量 (その他設備除く) (Est)				「37」、「38」の性能等級が選択されている場合は入力されていること	
35 設計一次エネルギー消費量 (その他設備除く) (Et)				「39」、「40」の性能等級が選択されている場合は入力されていること	
36 改修 (本工事) 後の性能 等級				「39」、「40」の性能等級が選択されている場合は入力されていること	
改修工事の概要	改修工事の概要	改修工事の概要	37 改修 (本工事) 前の性能 等級	「36」、「38」、「41」のいずれか1つ以上の項目で「空欄」以外が選択されていること	
			38 改修 (本工事) 後の性能 等級		
			39 改修 (本工事) 前の性能 等級		
			40 改修 (本工事) 後の性能 等級		
劣化対策等級	劣化対策等級	劣化対策等級	41 改修 (本工事) 後の性能 等級	「36」、「38」、「41」のいずれか1つ以上の項目で「空欄」以外が選択されていること	
			42 劣化対策等級		

きた住まいの実績に反映する要件

## きた住まいの実績に反映する要件

### (1) ログインしているユーザーが次のどちらかの状態である

- きた住まいのメンバーである
- きた住まいのメンバーに紐付いている

### (2) 「住宅概要シート・ラベリングシート作成データの入力」で以下の判定内容が満たされていること

#### ①住宅データの新規登録「住宅の種類」で「新築」が選択されている場合

項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	判定内容
概要	住宅・土地の概要	住宅の概要		1 竣工年月日	・YYYY/MM/DDで入力（日付選択） ・入力年月日が経過していること
	事業者の概要	事業者の概要		2 設計事業者（設計）きた住まいID	登録されているIDが入力されていること
				3 施工事業者きた住まいID	登録されているIDが入力されていること
住宅性能	基本性能項目	きた住まいの基本性能項目（新築工事の場合）		4 耐震等級	「等級1の評価を受けている」、 「等級2の評価を受けている」、 「等級3の評価を受けている」、 「等級1相当であることを確認している」、 「等級2相当であることを確認している」、 「等級3相当であることを確認している」のいずれかが選択されていること
				5 断熱等性能等級	「等級4の評価を受けている」、 「等級4相当であることを確認している」のいずれかが選択されていること
				6 一次エネルギー消費量等級	「等級4の評価を受けている」、 「等級5の評価を受けている」、 「等級4相当であることを確認している」、 「等級5相当であることを確認している」のいずれかが選択されていること
				7 劣化対策等級	「等級3の評価を受けている」、 「等級3相当であることを確認している」のいずれかが選択されていること

#### ②住宅データの新規登録「住宅の種類」で「改修【リフォーム】」が選択されている場合

大項目	小項目	判定内容
概要	1 改修年月日（本工事）	・YYYY/MM/DDで入力（日付選択） ・入力年月日が経過していること
	2 設計事業者（設計）きた住まいID	登録されているIDが入力されていること
	3 施工事業者きた住まいID	登録されているIDが入力されていること
住宅性能	4 改修（本工事）後の性能 対応する基準	次のいずれかに該当すること ①「4」で「既存住宅基準」を選択し、かつ「5」に次のいずれかが入力されていること 「等級1の評価を受けている」 「等級2の評価を受けている」 「等級3の評価を受けている」 「等級1相当であることを確認している」 「等級2相当であることを確認している」 「等級3相当であることを確認している」
	5 改修（本工事）後の性能 等級	
	6 改修（本工事）後の性能 対応する基準	②「6」で「既存住宅基準」を選択し、かつ「7」に次のいずれかが入力されていること 「等級3の評価を受けている」 「等級4の評価を受けている」 「等級3相当であることを確認している」 「等級4相当であることを確認している」
	7 改修（本工事）後の性能 等級	
	8 改修（本工事）後の性能 対応する基準	③「8」で「既存住宅基準」を選択し、かつ「9」に次のいずれかが入力されていること 「等級3の評価を受けている」 「等級3相当であることを確認している」
	9 改修（本工事）後の性能 等級	

### (3) 次のどちらかの状態である

- 本システムのラベリングシートが発行済である
- 「独自のラベリングシート添付の場合の入力」で以下の判定内容が満たされていること

#### ①住宅データの新規登録「住宅の種類」で「新築」が選択されている場合

大項目	小項目	判定内容
概要	1 住宅ラベリングシート（本システム発行以外）	ファイルが添付されている
	2 住宅概要シート（本システム発行以外）	ファイルが添付されている
	3 住居表示（都道府県）	空欄以外を選択
	4 住居表示（市町村）	入力
	5 住居表示（町名番地）	入力
	6 敷地面積	入力
	7 主たる構造	空欄以外を選択
	8 地上階数	入力
	9 延床面積	入力
	10 竣工年月日	入力
事業者の概要	11 設計事業者（工事監理）きた住まいID	入力し、かつ入力したIDがシステムに登録されているものであること
	12 氏名	次のいずれかに適合していること
	13 登録番号 ※BIS、BIS-Mの場合	①「12」かつ「13」を入力し、入力した内容がBIS等に登録されていること
	14 登録番号 ※住宅省エネルギー技術講習会設計者講習会修了者の場合	②「12」かつ「14」を入力
	15 氏名	次のいずれかに適合していること
	16 登録番号 ※BIS-E、BIS-Mの場合	①「15」かつ「16」を入力し、入力した内容がBIS等に登録されていること
	17 登録番号 ※住宅省エネルギー技術講習会施工技術者講習会修了者の場合	②「15」かつ「17」を入力
住宅性能	18 地域区分	空欄以外を選択
	19 外皮平均熱貫流率(UA値)	入力
	20 冷房期の外皮平均日射熱取得率(ηA値)	入力
	21 住宅の計算対象となる延べ床面積 ※熱的境界の内側を対象	入力
	22 基準一次エネルギー消費量（その他設備除く）(Est)	入力
	23 設計一次エネルギー消費量（その他設備除く）(Et)	入力

#### ②住宅データの新規登録「住宅の種類」で「改修【リフォーム】」が選択されている場合

大項目	小項目	判定内容
概要	1 住宅ラベリングシート（本システム発行以外）	ファイルが添付されている
	2 住宅概要シート（本システム発行以外）	ファイルが添付されている
	3 住居表示（都道府県）	空欄以外を選択
	4 住居表示（市町村）	入力
	5 住居表示（町名番地）	入力
	6 敷地面積	入力
	7 主たる構造	空欄以外を選択
	8 地上階数	入力
	9 延床面積	入力
	10 改修工事年月日（本工事）（リフォームなど改修したデータを保管する場合に入	入力
住宅性能	11 地域区分	空欄以外を選択
	12 外皮平均熱貫流率(UA値)	すべてが入力されている、又はすべて空欄となっていること
	13 冷房期の外皮平均日射熱取得率(ηA値)	
	14 住宅の計算対象となる延べ床面積 ※熱的境界の内側を対象	
	15 基準一次エネルギー消費量（その他設備除く）(Est)	
	16 設計一次エネルギー消費量（その他設備除く）(Et)	

## 北方型住宅(ECO)の適合するための要件

- ・北方型住宅水準
- ・北方型住宅 ECO水準
- ・きた住まいるブランド住宅／北方型住宅
- ・きた住まいるブランド住宅／北方型住宅 ECO



# 北方型住宅／北方型住宅ECO\_適合するための要件

## 判定1

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築主	建築主	氏名	入力されていること
			カナ氏名	入力されていること
			郵便番号	入力されていること
			住所	入力されていること
			電話番号	入力されていること

## 判定2

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	設計者	設計者	建築士事務所名	入力されていること
			建築士事務所種別	選択されていること
			建築士事務所登録番号	入力されていること
			郵便番号	入力されていること
			所在地	入力されていること
			電話番号	入力されていること
			担当者氏名	入力されていること
			建築士資格種別	選択されていること
			建築士登録番号	入力されていること

## 判定3

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	工事監理者	工事監理者	建築士事務所名	入力されていること
			建築士資格種別	選択されていること
			建築士事務所登録番号	入力されていること
			郵便番号	入力されていること
			所在地	入力されていること
			電話番号	入力されていること
			担当者氏名	入力されていること
			建築士事務所種別	選択されていること
			建築士登録番号	入力されていること

## 判定4

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	工事施工者	工事施工者	会社・営業所名	入力されていること
			建設業許可番号	入力されていること
			郵便番号	入力されていること
			所在地	入力されていること
			電話番号	入力されていること
			担当者氏名	入力されていること

## 判定5

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	BIS等	BIS・BIS-Mまたは住宅省エネルギー技術者講習会の修了者（設計の関与）	氏名 カナ氏名 登録番号	「氏名」、「カナ氏名」、「登録番号」に、それぞれ実際に登録されている番号及び氏名、カナ氏名が入力されていること

## 判定6

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	BIS等	BIS-E・BIS-Mまたは住宅省エネルギー技術者講習会の修了者（施工の関与）	氏名 カナ氏名 登録番号	「氏名」、「カナ氏名」、「登録番号」に、それぞれ実際に登録されている番号及び氏名、カナ氏名が入力されていること

北方型住宅／北方型住宅ECO\_適合するための要件

判定7

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	システム入力責任者	システム入力責任者	社名	入力されていること
			郵便番号	入力されていること
			所在地	入力されていること
			電話番号	入力されていること
			氏名	入力されていること
			役職	入力されていること
			建築士資格種別	選択されていること
			登録番号	入力されていること
			メールアドレス	入力されていること
			入力内容	入力されていること

判定8

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築物及び敷地	敷地	郵便番号	入力されていること
			登記簿記載の地名地番	入力されていること
			住居表示（都道府県）	選択されていること
			住居表示（市町村）	入力されていること
			住居表示（町名番地）	入力されていること
			住居表示カナ	入力されていること
			地域区分	選択されていること
			都市計画区域及び準都市計画区域	選択されていること
			市街化区域または市街化調整区域	選択されていること
			建築基準法6条1項4号指定区域	選択されていること
			防火地域等の指定	選択されていること
			敷地面積	入力されていること
			用途地域の指定	選択されていること
			法定容積率	「都市計画区域及び準都市計画区域」で「都市計画区域外」以外を選択した場合は入力されること
			法定建ぺい率	「都市計画区域及び準都市計画区域」で「都市計画区域外」以外を選択した場合は入力されること

判定9

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築物及び敷地	道路	前面道路の幅員	0以上が入力されていること
			敷地と接している部分の長さ	0以上が入力されていること

判定10

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築物及び敷地	構造	主たる構造	選択されていること
			主たる構造が木造の場合の工法	「主たる構造」で「木造」を選択した場合は、選択されていること

判定11

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築物及び敷地	階数	地上階数	0以上が入力されていること
			地下階数	0以上を入力、かつ「地下階数」に1以上を入力した場合は「地階部分」が入力されていること
		延べ面積	地階部分	

判定12

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築物及び敷地	建築面積	建築面積	0以上が入力されていること

判定13

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築物及び敷地	延べ面積	延べ面積	0以上が入力されていること
			床面積（1階）	0以上が入力されていること
			床面積（2階）	0以上が入力されていること
			床面積（3階）	0以上が入力されていること

# 北方型住宅／北方型住宅ECO\_適合するための要件

判定14

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築物及び敷地	工事年月日	工事着手(予定)年月日	入力されていること
			工事完了(予定)年月日	入力されていること

判定15

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	設計図書の確認	必須設計図書	配置図	添付されていること
			各階平面図	添付されていること
			立面図	添付されていること
			断面図	添付されていること
			平面詳細図	添付されていること
			矩形図・断面詳細図	添付されていること
			構造計算書	添付されていること
			電気設備図書	添付されていること
			維持保全計画	添付されていること
			付近見取図	添付されていること
			床面積求積図	添付されていること
			構造詳細図	添付されていること

判定16

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	設計図書の確認	その他の設計図書等	その他	「その他」に添付をした場合は「その他（名称）」が入力されていること
			その他（名称）	

判定17

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	設計図書の確認	建築確認	建築確認年月日	①②のいずれかに適合していること ①「建築確認年月日」「建築確認番号」「建築主事名…」が入力され、「都市計画区域及び準都市計画区域」で「都市計画区域外」以外を選択かつ「建築基準法6条1項4号指定区域」で「該当なし」以外が選択されていること
			建築確認番号	
			建築主事名(行政庁名含む)又は指定確認検査機関名	
	建築物及び敷地	敷地	都市計画区域及び準都市計画区域	②「建築確認年月日」「建築確認番号」「建築主事名…」が空欄で、「都市計画区域及び準都市計画区域」で「都市計画区域外」を選択、かつ「建築基準法6条1項4号指定区域」で「該当なし」が選択されていること
建築基準法6条1項4号指定区域				

判定18

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	設計図書の確認	工事完了検査 (竣工時に記入)	工事完了検査済証年月日	①②のいずれかに適合していること ①「工事完了検査済証年月日」「工事完了検査済証番号」「建築主事名…」が入力され、「都市計画区域及び準都市計画区域」で「都市計画区域外」以外を選択かつ「建築基準法6条1項4号指定区域」で「該当なし」以外が選択されていること
			工事完了検査済証番号	
			建築主事名(行政庁名含む)又は指定確認検査機関名	
	建築物及び敷地	敷地	都市計画区域及び準都市計画区域	②「工事完了検査済証年月日」「工事完了検査済証番号」「建築主事名…」が空欄で、「都市計画区域及び準都市計画区域」で「都市計画区域外」を選択、かつ「建築基準法6条1項4号指定区域」で「該当なし」が選択されていること
建築基準法6条1項4号指定区域				

判定19

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	高い耐久性	長期優良住宅の認定	長期優良住宅の認定	①②のいずれかに適合していること ①「長期優良住宅の認定」で「受けている」を選択した場合は、「認定年月日」「認定番号」「所管行政庁名」がそれぞれ入力されていること ②「長期優良住宅の認定」で「受けていない」を選択した場合は、「認定年月日」「認定番号」「所管行政庁名」が空欄となっていること
			認定年月日(認定を受けている場合)	
			認定番号(認定を受けている場合)	
			所管行政庁名(認定を受けている場合)	

北方型住宅／北方型住宅ECO\_適合するための要件

判定20

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	高い耐久性	積雪に対する屋根の耐久性確保	強風地域	「換気方式」で「軒天のみ」、「棟換気併用」を選択した場合は、選択項目が選択されていること
			屋根種別	「換気方式」で「軒天のみ」、「棟換気併用」を選択した場合は、選択項目が選択されていること
			断熱種別	「換気方式」で「軒天のみ」、「棟換気併用」を選択した場合は、選択項目が選択されていること
			換気方式	選択されていること
			軒天換気口の有効開口面積	<p>「強風地域」について、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「2月の平均風速が3m/s以上4.5m/s未満」を選択した場合、A = 0.7 とする</li> <li>・「2月の平均風速が4.5m/s以上」を選択した場合、A = 0.3 とする</li> <li>・それ以外の場合、A = 1 とする</li> </ul> <p>以下を計算</p> <p>B = 「軒天換気口の有効開口面積」÷「水平天井見付面積」×10000</p> <p>C = 「棟換気口の有効開口面積」÷「水平天井見付面積」×10000</p> <p>①～⑯のいずれかを選択</p> <p>①「換気方式」で「強制(機械)換気」を選択</p> <p>②「屋根種別」で「勾配屋根」を選択、かつ「断熱種別」で「天井断熱」を選択、かつ「換気方式」で「軒天のみ」を選択、かつBがA÷290以上であること</p>
棟換気口の有効開口面積	<p>③「屋根種別」で「勾配屋根」を選択、かつ「断熱種別」で「天井断熱と屋根断熱の複合」を選択、かつ「換気方式」で「軒天のみ」を選択、かつBがA÷240以上であること、かつ「屋根裏通気層の厚さ」に30以上を入力</p> <p>④「屋根種別」で「勾配屋根」を選択、かつ「断熱種別」で「屋根断熱」を選択、かつ「換気方式」で「軒天のみ」を選択、かつBがA÷240以上であること、かつ「屋根裏通気層の厚さ」に30以上を入力</p> <p>⑤「屋根種別」で「勾配屋根」を選択、かつ「断熱種別」で「天井断熱」を選択、かつ「換気方式」で「棟換気併用」を選択、かつBがA÷1200以上であること、かつCがA÷1200以上であること</p> <p>⑥「屋根種別」で「勾配屋根」を選択、かつ「断熱種別」で「天井断熱と屋根断熱の複合」を選択、かつ「換気方式」で「棟換気併用」を選択、かつBがA÷1200以上であること、かつCがA÷1200以上であること、かつ「屋根裏通気層の厚さ」に30以上を入力</p> <p>⑦「屋根種別」で「勾配屋根」を選択、かつ「断熱種別」で「屋根断熱」を選択、かつ「換気方式」で「棟換気併用」を選択、かつBがA÷720以上であること、かつCがA÷1200以上であること、かつ「屋根裏通気層の厚さ」に30以上を入力</p>			
水平天井見付面積	<p>⑧「屋根種別」で「無落雪屋根またはフラット屋根」を選択、かつ「断熱種別」で「天井断熱」を選択、かつ「換気方式」で「軒天のみ」を選択、かつBがA÷360以上であること</p> <p>⑨「屋根種別」で「無落雪屋根またはフラット屋根」を選択、かつ「断熱種別」で「屋根断熱」を選択、かつ「換気方式」で「軒天のみ」を選択、かつBがA÷360以上であること、かつ「屋根裏通気層の厚さ」に30以上を入力</p> <p>⑩「屋根種別」で「無落雪屋根またはフラット屋根」を選択、かつ「断熱種別」で「天井断熱と屋根断熱の複合」を選択、かつ「換気方式」で「軒天のみ」を選択、かつBがA÷360以上であること、かつ「屋根裏通気層の厚さ」に30以上を入力</p> <p>⑪「屋根種別」で「勾配屋根と無落雪屋根等の複合屋根」を選択、かつ「断熱種別」で「天井断熱」を選択、かつ「換気方式」で「軒天のみ」を選択、かつBがA÷290以上であること</p> <p>⑫「屋根種別」で「勾配屋根と無落雪屋根等の複合屋根」を選択、かつ「断熱種別」で「天井断熱」を選択、かつ「換気方式」で「棟換気併用」を選択、かつBがA÷1200以上であること、かつCがA÷1200以上であること</p>			
屋根裏通気層の厚さ	<p>⑬「屋根種別」で「勾配屋根と無落雪屋根等の複合屋根」を選択、かつ「断熱種別」で「屋根断熱」を選択、かつ「換気方式」で「軒天のみ」を選択、かつBがA÷240以上であること、かつ「屋根裏通気層の厚さ」に30以上を入力</p> <p>⑭「屋根種別」で「勾配屋根と無落雪屋根等の複合屋根」を選択、かつ「断熱種別」で「屋根断熱」を選択、かつ「換気方式」で「棟換気併用」を選択、かつBがA÷720以上であること、かつCがA÷1200以上であること、かつ「屋根裏通気層の厚さ」に30以上を入力</p> <p>⑮「屋根種別」で「勾配屋根と無落雪屋根等の複合屋根」を選択、かつ「断熱種別」で「天井断熱と屋根断熱の複合」を選択、かつ「換気方式」で「軒天のみ」を選択、かつBがA÷240以上であること、かつ「屋根裏通気層の厚さ」に30以上を入力</p> <p>⑯「屋根種別」で「勾配屋根と無落雪屋根等の複合屋根」を選択、かつ「断熱種別」で「天井断熱と屋根断熱の複合」を選択、かつ「換気方式」で「棟換気併用」を選択、かつBがA÷720以上であること、かつCがA÷1200以上であること、かつ「屋根裏通気層の厚さ」に30以上を入力</p>			

## 北方型住宅／北方型住宅ECO\_適合するための要件

### 判定21

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	高い耐久性	構造部材の耐久性確保	通気層の設置	①②のいずれかに適合していること ④「通気層の設置」で「設置している」が選択されていること
			通気層設置以外の措置	②「通気層の設置」で「その他の措置を講じている」が選択されており、かつ「通気層設置以外の措置」が入力されていること
			使用木材	①②③のいずれかに適合していること ④「使用木材」で「すべて集成材を使用」を選択
			含水率	②「使用木材」で「乾燥材と集成材を併用」を選択、かつ「含水率」に20以下を入力 ③「使用木材」で「すべて乾燥材を使用」を選択、かつ「含水率」に20以下を入力

### 判定22

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	維持管理の容易さ	等級の確認	日本住宅性能表示基準に基づく「維持管理対策等級」の評価	選択されていること。
			性能評価書交付年月日	「日本住宅性能表示基準に基づく「維持管理対策等級」の評価」で「等級2の評価を受けている」又は「等級3の評価を受けている」を選択した場合は「性能評価書交付年月日」「性能評価書交付番号」「性能評価書交付機関名」を入力すること
			性能評価書交付番号	
			性能評価書交付機関名	

### 判定23

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	維持管理の容易さ	新築時の仕様・性能等の記録の保管	新築時の仕様・性能等の記録の保管	「保管する」が選択されていること

### 判定24

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	維持管理の容易さ	維持管理の容易さ	コンクリート埋設配管	「あり(さや管工法)」「あり(さや管工法と同等の工法)」「なし」のいずれかが選択されていること
			地中埋設配管上のコンクリート打設	「打設なし」「他法令による」のいずれかが選択されていること
			配水管内面の平滑さ(継ぎ手、ヘッダーを含む)	「平滑である」が選択されていること
			配水管清掃時に変形が生じないような設置方法	「設置されている」が選択されていること
			排水管清掃口等の設置(便所)	「設置している」「排水ますに隣接」のいずれかが選択されていること
			排水管清掃口等の設置(その他の部分)	「設置している」「清掃可能なトラップの設置」のいずれかが選択されていること
			給排水管等(ガス管を除く)と設備機器の接合部の点検口等設置	「設置している」「露出配管」のいずれかが選択されていること
			給排水管等のバルブ・ヘッダーの点検口等の設置	「設置している」「露出配管」のいずれかが選択されていること
			排水管清掃のための開口等の設置	「設置している」「露出配管」のいずれかが選択されていること

### 判定25

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	段差	段差	日本住宅性能表示基準に基づく「高齢者等配慮対策等級」の確認	①②のいずれかを選択
			性能評価書交付年月日	①「日本住宅性能表示基準に基づく『高齢者等配慮対策等級』の確認」で「評価を受けていない」「等級3相当であることを確認している」「等級4相当であることを確認している」「等級5相当であることを確認している」のいずれかが選択されていること。
			性能評価書交付番号	
			性能評価書交付機関名	②「日本住宅性能表示基準に基づく『高齢者等配慮対策等級』の確認」で「等級3の評価を受けている」「等級4の評価を受けている」「等級5の評価を受けている」のいずれかが選択されており、かつ右記が全て入力されていること（「性能評価書交付年月日」「性能評価書交付番号」「性能評価書交付機関名」）

北方型住宅／北方型住宅ECO\_適合するための要件

判定26

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	段差	日常生活空間内の段差	浴室段差の種類	選択されていること
			浴室外側	①～⑥のいずれかに適合していること ①「浴室段差の種類」で「段差無し」を選択、かつ「浴室外側」で3以下が入力され、かつ「浴室内側」に3以下が入力されていること ②「浴室段差の種類」で「単純段差」を選択、かつ「浴室内側」が空欄、かつ「浴室外側」に0より大きく20以下が入力されていること ③「浴室段差の種類」で「単純段差」を選択、かつ「浴室内側」に0を入力、かつ「浴室外側」に0より大きく20以下が入力されていること ④「浴室段差の種類」で「単純段差」を選択、かつ「浴室外側」が空欄、かつ「浴室内側」に0より大きく20以下が入力されていること ⑤「浴室段差の種類」で「単純段差」を選択、かつ「浴室外側」に0を入力、かつ「浴室内側」に0より大きく20以下が入力されていること ⑥「浴室段差の種類」で「またぎ段差」を選択、かつ「浴室外側」と「浴室内側」の差が120以下であること、かつ「浴室外側」と「浴室内側」で大きい方が180以下が入力されていること。
			浴室内側	
	階段・手すりなど	階段・手すりなど	浴室	「浴室段差の種類」で「またぎ段差」を選択した場合は、「設置あり」が選択されていること

判定27

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	段差	日常生活空間外の段差	日常生活空間外の室内の段差のうち最大のもの	0以上3以下が入力されていること
			畳コーナー等 ※設けられていない場合は0を入力	①②のいずれかに適合していること ①90以上が入力されていること ②0以上3以下が入力されていること

判定28

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	段差	日常生活空間内の段差	日常生活空間内の段差のうち最大のもの	①②のいずれかに適合していること ①0以上3以下が入力されていること ②300以上450以下が入力されていること
			畳コーナー等の合計面積÷畳コーナー等のある居室面積	「日常生活空間内の段差のうち最大のもの」300以上450以下が入力されている場合は、0.5未満が入力されていること
		畳コーナー等	畳コーナー等のうち最大のものの面積	「日常生活空間内の段差のうち最大のもの」300以上450以下が入力されている場合は、3以上9以下が入力されていること
			畳コーナー等の長辺（間口幅）の最小値	「日常生活空間内の段差のうち最大のもの」300以上450以下が入力されている場合は、1500以上が入力されていること
			畳コーナー等の位置	「日常生活空間内の段差のうち最大のもの」300以上450以下が入力されている場合は、「介助用車いすの移動の妨げにならない」が選択されていること

判定29

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	段差	部屋の配置	便所の配置	「特定寝室と同一階にある」が選択されていること

判定30

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	階段・手すりなど	階段・手すりなど	便所	「設置あり」が選択されていること
			浴槽出入りのための手すり	「設置あり」が選択されていること
			脱衣室のてすり	「設置あり」「下地準備のみ」のいずれかが選択されていること
			上がりかまちの手すり	「設置あり」「下地準備のみ」のいずれかが選択されていること

北方型住宅／北方型住宅ECO\_適合するための要件

判定31

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	階段・手すりなど	階段・手すりなど	転落のおそれのあるバルコニー	④～⑤のいずれかに適合していること ①「転落のおそれのあるバルコニー」で「転落のおそれのあるバルコニーあり」を選択、かつ「バルコニー腰壁等の床面からの高さ」に300未満、かつ「バルコニー手すりの床面からの高さ」に1100以上、かつ「バルコニー手すり子の間隔」に0より大きく110以下が入力されていること
			バルコニー手すりの床面からの高さ	②「転落のおそれのあるバルコニー」で「転落のおそれのあるバルコニーあり」を選択、かつ「バルコニー腰壁等の床面からの高さ」に300以上650未満、かつ「バルコニー手すりの床面からの高さ」－「バルコニー腰壁等の床面からの高さ」に800以上、かつ「バルコニー手すり子の間隔」に0より大きく110以下が入力されていること
			バルコニー腰壁等の床面からの高さ	③「転落のおそれのあるバルコニー」で「転落のおそれのあるバルコニーあり」を選択、かつ「バルコニー腰壁等の床面からの高さ」に650以上1100未満、かつ「バルコニー手すりの床面からの高さ」に1100以上、かつ「バルコニー手すり子の間隔」に0より大きく110以下が入力されていること
			バルコニー手すり子の間隔	④「転落のおそれのあるバルコニー」で「転落のおそれのあるバルコニーあり」を選択、かつ「バルコニー腰壁等の床面からの高さ」に1100以上が入力されていること ⑤「転落のおそれのあるバルコニー」で「転落のおそれなし」「バルコニーなし」のいずれかが選択されていること

判定32

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	階段・手すりなど	階段・手すりなど	転落のおそれのある2階の窓	④～⑤のいずれかに適合していること、または「地上階数」で「1」が入力されていること ①「転落のおそれのある2階の窓」で「2階にあり」を選択、かつ「2階窓台等の床面からの高さ」に0より大きく300未満、かつ「2階窓手すりの床面からの高さ」に1100以上が入力されていること ②「転落のおそれのある2階の窓」で「2階にあり」を選択、かつ「2階窓台等の床面からの高さ」に300以上650未満、かつ、「2階窓手すりの床面からの高さ」－「2階窓台等の床面からの高さ」に800以上が入力されていること ③「転落のおそれのある2階の窓」で「2階にあり」を選択、かつ「2階窓台等の床面からの高さ」が650以上800未満、かつ「2階窓手すりの床面からの高さ」に800以上が入力されていること ④「転落のおそれのある2階の窓」で「2階にあり」を選択、かつ「2階窓台等の床面からの高さ」に800以上が入力されていること
			2階窓手すりの床面からの高さ	
			2階窓台等の床面からの高さ	
基本	建築物及び敷地	階数	地上階数	⑤「転落のおそれのある2階の窓」で「転落のおそれなし」「2階に窓の設置なし」のいずれかを選択

北方型住宅／北方型住宅ECO\_適合するための要件

判定33

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	階段・手すりなど	階段・手すりなど	転落のおそれのある3階以上の窓	④～⑥のいずれかに適合していること、または「地上階数」で「1」又は「2」を入力 ①「転落のおそれのある3階以上の窓」で「3階以上にあり」を選択、かつ「3階以上の窓台等の床面からの高さ」に0より大きく300未満、かつ「3階以上の窓手すりの床面からの高さ」に1100以上、かつ「3階以上の窓の手すり子の間隔」に0より大きく110以下が入力されていること
			3階以上の窓手すりの床面からの高さ	②「転落のおそれのある3階以上の窓」で「3階以上にあり」を選択、かつ「3階以上の窓台等の床面からの高さ」に300以上650未満、かつ「3階以上の窓手すりの床面からの高さ」－「3階以上の窓台等の床面からの高さ」に800以上、かつ「3階以上の窓の手すり子の間隔」に0より大きく110以下が入力されていること
			3階以上の窓台等の床面からの高さ	③「転落のおそれのある3階以上の窓」で「3階以上にあり」を選択、かつ「3階以上の窓台等の床面からの高さ」に650以上800未満、かつ「3階以上の窓手すりの床面からの高さ」に800以上、かつ「3階以上の窓の手すり子の間隔」に0より大きく110以下が入力されていること
			3階以上の窓の手すり子の間隔	④「転落のおそれのある3階以上の窓」で「3階以上にあり」を選択、かつ「3階以上の窓台等の床面からの高さ」に800以上1100未満、かつ「3階以上の窓手すりの床面からの高さ」に1100以上、かつ「3階以上の窓の手すり子の間隔」に0より大きく110以下が入力されていること ⑤「転落のおそれのある3階以上の窓」で「3階以上にあり」を選択、かつ「3階以上の窓台等の床面からの高さ」に1100以上が入力されていること
基本	建築物及び敷地	階数	地上階数	⑥「転落のおそれのある3階以上の窓」で「転落のおそれなし」「3階に窓の設置なし」のいずれかが選択されていること

判定34

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	階段・手すりなど	階段・手すりなど	住宅内階段の有無	選択されていること

判定35

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	階段・手すりなど	階段・手すりなど	転落のおそれのある階段	①～④のいずれかに適合していること ①「転落のおそれのある階段」で「転落のおそれのある階段あり」を選択、かつ「階段の腰壁等の高さ」に0より大きく650未満、かつ「階段の転落防止てすりの踏面先端又は床面からの高さ」－「階段の腰壁等の高さ」に800以上、かつ「階段の転落防止てすりの手すり子の間隔」に0より大きく110以下が入力されていること
			階段の転落防止てすりの踏面先端又は床面からの高さ	②「転落のおそれのある階段」で「転落のおそれのある階段あり」を選択、かつ「階段の腰壁等の高さ」に650より大きく800未満、かつ「階段の転落防止てすりの踏面先端又は床面からの高さ」に800以上、かつ「階段の転落防止てすりの手すり子の間隔」に0より大きく110以下が入力されていること
			階段の腰壁等の高さ	③「転落のおそれのある階段」で「転落のおそれのある階段あり」を選択、かつ「階段の腰壁等の高さ」に800以上が入力されていること
			階段の転落防止てすりの手すり子の間隔	④「転落のおそれのある階段」で「転落のおそれなし」「階段なし」のいずれかが選択されていること

判定36

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	階段・手すりなど	階段・手すりなど	階段	①②のいずれかに適合していること
			住宅内階段の有無	①「階段」で「設置あり」を選択、かつ「階段の転落防止てすりの踏面先端又は床面からの高さ」が700以上900以下
			階段の転落防止てすりの踏面先端又は床面からの高さ	



# 北方型住宅／北方型住宅ECO\_適合するための要件

判定37

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	階段・手すりなど	階段・手すりなど	住宅内階段の有無	①～③のいずれかに適合していること
			最上段の通路等への食込部分及び最下段の通路等への突出部分	①「住宅内階段の有無」で「階段あり」を選択、かつ「蹴上寸法」÷「踏面寸法」が22/21以下、かつ「蹴上寸法」×2+「踏面寸法」が550以上650以下、かつ「蹴込寸法」に30以下、かつ「最上段の通路等への食込部分及び最下段の通路等への突出部分」で「なし」が選択されていること
			蹴上寸法	
			蹴込寸法	
	踏面寸法	②「住宅内階段の有無」で「階段なし」が選択されていること		
段差	段差	日本住宅性能表示基準に基づく「高齢者等配慮対策等級」の確認	③「日本住宅性能表示基準に基づく『高齢者等配慮対策等級』の確認」で「等級3の評価を受けている」が選択されていること	

判定38

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	幅員・トイレ・浴室	便所・浴室等の寸法、出入口の幅員	便所の形式	「腰掛式である」が選択されていること
			浴室短辺内法寸法	1300以上が入力されていること
			浴室内法面積	2以上が入力されていること
			特定寝室の内法面積	9以上が入力されていること

判定39

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	快適な室内空間	健康で快適な室内空間の実現	日本住宅性能表示基準に基づく「ホルムアルデヒド発散等級」の確認	選択されていること
			換気を行う部分の気積	「設計風量」÷「換気を行う部分の気積」が0.5以上であること
			設計風量	
			ドアのアンダーカットやガラの設置など換気経路	「確保している」が選択されていること
			全室暖房	「全室暖房」が選択されていること
暖房方式	選択されていること			

判定40 (北方型住宅ECOでは判定しない → 判定北方型住宅ECO1で判定)

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	省エネルギー	気密性能	気密性能の確保方法	①②のいずれかに適合していること
			気密性能	①「気密性能の確保方法」で「その他（標準的な試験方法により測定し確認）」を選択、かつ「気密性能」が選択、「相当隙間面積の測定」に「する」が入力されていること。 ②「気密性能の確保方法」で「次世代省エネルギー基準設計施工指針による仕様」、「品確法住宅型式性能認定、または特別評価方法認定」、「IBEC評定」のいずれかを選択し、かつ「気密性能」が選択されていることかつ、「相当隙間面積の測定」が選択されていること。
			相当隙間面積の測定	
施工状況	気密 (詳細取合い・測定)	取合い部の気密	相当隙間面積の測定値	①②のいずれかに適合していること
			実施日時	①「相当隙間面積の測定」で「する」を選択した場合は、「相当隙間面積の測定値」で2.0以下を入力、かつ「実施日時」「実施担当者氏名」「実施者の会社名」がそれぞれ入力されていること
			実施者の会社名	
			実施担当者氏名	②「相当隙間面積の測定」で「しない」を選択した場合「相当隙間面積の測定値」「実施日時」「実施担当者氏名」「実施者の会社名」が全て空欄になっていること

判定41 (北方型住宅ECOでは判定しない → 判定北方型住宅ECO2で判定)

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	省エネルギー	エネルギー消費量の低減（平成27年3月31日以前）	断熱性能の確認方法	①～④のいずれかに適合していること
			熱損失係数の計算結果(Q値)	①「外皮平均熱貫流率(UA値)」で0.46以下が入力されていること ②「断熱性能の確認方法」で「次世代省エネルギー基準判断基準による熱損失係数確認」を選択、かつ「熱損失係数の計算結果(Q値)」が入力されていること
			その他の仕様の場合	
		エネルギー消費量の低減（平成27年4月1日以後）	③「断熱性能の確認方法」で「次世代省エネルギー基準設計施工指針による仕様」「品確法住宅型式性能認定」「IBEC評定」のいずれかが選択されていること	
		外皮平均熱貫流率(UA値)	④「断熱性能の確認方法」で「その他」を選択、かつ「その他の仕様の場合」が入力されていること	

判定42

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	美しい街並みの形成	外壁の後退	道路境界線からの外壁の後退距離	1以上が入力されていること

## 北方型住宅／北方型住宅ECO\_適合するための要件

判定43

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	地盤	地盤	着工前敷地全景写真（NO. 1）	写真が1枚以上添付されていること

判定44

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	地盤	造成状況	造成経過年数	入力されていること

判定45

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	地盤	地盤調査者、調査方法	地盤調査報告書の添付	選択されていること

判定46

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	基礎1	遣り方の確認	道路境界線から外壁の後退距離のうち最小距離	入力されていること

判定47

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	基礎1	境界石の確認	境界石の確認	選択されていること

判定48

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	基礎1	基礎の種類	基礎の形式	入力されていること

判定49

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	基礎3	基礎配筋	基礎主筋に使用している鉄筋	入力されていること
			基礎鉄筋かぶり厚さのうち最小値	入力されていること
			基礎配筋写真（NO. 5）	写真が1枚以上添付されていること

判定50

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	基礎3	基礎形状	設計GLからの基礎深さ	入力されていること

判定51

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	土台と基礎の緊結	土台と基礎を緊結する金物	種類・規格	「主たる構造」で「木造」を選択している場合は入力されていること
施工状況	土台と基礎の緊結	土台と基礎を緊結する金物	埋め込み長さ	「主たる構造」で「木造」を選択している場合は入力されていること
基本	建築物及び敷地	構造	主たる構造	選択されていること

判定52

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	排水	コンクリート埋設管	コンクリート埋設管の有無	選択されていること

判定53

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	防錆処理	土台	防錆処理方法	「主たる構造」で「木造」を選択している場合は入力されていること
基本	建築物及び敷地	構造	主たる構造	選択されていること

判定54

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	防錆処理	その他の部材	防錆処理方法	「主たる構造」で「木造」を選択している場合は入力されていること
基本	建築物及び敷地	構造	主たる構造	選択されていること

## 北方型住宅／北方型住宅ECO\_適合するための要件

判定55

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	主要構造材の乾燥	乾燥材の使用	使用木材	①～③のいずれかに適合していること ④「使用木材」で「すべて集成材を使用」が選択されていること
			含水率	②「使用木材」で「乾燥材と集成材を併用」を選択、かつ「含水率」に20以下が入力されていること

判定56

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	耐力壁	耐力壁	耐力壁の配置	「主たる構造」で「木造」を選択している場合は選択されていること
基本	建築物及び敷地	構造	主たる構造	選択されていること

判定57

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	屋根1	屋根の下ぶき材	材質	入力されていること
			屋根の下ぶき材写真 (NO. 1 4)	写真が1枚以上添付されていること

判定58

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	屋根2	屋根葺材または屋上防水仕上げ	材質	入力されていること
			厚さ	入力されていること
			屋根葺き材写真 (NO. 1 6)	写真が1枚以上添付されていること

判定59

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	外壁	外装材	壁体の乾燥のための措置	入力されていること
			外装材製品名	入力されていること
			外装メーカー名	入力されていること
			壁外装 (窓まわり) 写真 (NO. 1 8)	写真が1枚以上添付されていること

判定60

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	断熱 (壁・天井)	壁断熱材(1)	材質	入力されていること
			厚さ	入力されていること
			断熱 (壁) 写真 (NO. 1 9)	写真が1枚以上添付されていること

判定61

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	断熱 (壁・天井)	天井 (または屋根) 断熱材	材質	入力されていること
			厚さ	入力されていること
			断熱 (天井または屋根) 写真 (NO. 2 0)	写真が1枚以上添付されていること

判定62

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	断熱 (床・建具)	玄関ドア	メーカー名	入力されていること
			製品名	入力されていること
			品番	入力されていること
			熱貫流率	入力されていること

判定63

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	断熱 (床・建具)	窓(主なもの)	メーカー名	入力されていること
			製品名	入力されていること
			品番	入力されていること
			熱貫流率	入力されていること

## 北方型住宅／北方型住宅ECO\_適合するための要件

判定64

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	気密（各部取合い）	取合い部	取合い部（選択肢） 外壁と最下階床	選択されていること
			取合い部（選択肢） 外壁と中間階床	選択されていること
			取合い部（選択肢） 外壁と屋根または屋根直下天井	選択されていること
			取合い部（選択肢） 開口部まわり	選択されていること

判定65

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	気密（各部取合い）	取合い部の気密	外壁と最下階床写真（NO.2 2）	写真が1枚以上添付されていること
			外壁と中間階床写真（NO.2 3）	写真が1枚以上添付されていること
			外壁と屋根直下天井写真（NO.2 4）	写真が1枚以上添付されていること
			開口部まわり写真（NO.2 5）	写真が1枚以上添付されていること

判定66

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	気密（詳細取合い・測定）	その他	その他（選択肢） 配管貫通部	選択されていること
			その他（選択肢） 配線貫通部	選択されていること

判定67

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	気密（詳細取合い・測定）	取合い部の気密	配管貫通部写真（NO.3 3）	写真が1枚以上添付されていること
			配線貫通部写真（NO.3 4）	写真が1枚以上添付されていること

判定68

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	換気・給排水管	換気システム	換気方法（選択肢）第1種	「換気方法（選択肢）第1種」「換気方法（選択肢）第2種」「換気方法（選択肢）第3種」「換気方法（選択肢）機械換気併用パッシブ換気」のうち少なくとも一つが入力されていること
			換気方法（選択肢）第2種	
			換気方法（選択肢）第3種	
			換気方法（選択肢）機械換気併用パッシブ換気	
			換気用ダクトの材質	入力されていること
			換気用ダクトの形状	選択されていること
			換気経路確保方法（選択肢）ダクト	「換気経路確保方法（選択肢）ダクト」「換気経路確保方法（選択肢）その他」「換気経路確保方法（選択肢）アンダーカットやガラリ」のうち少なくとも一つが入力されていること
			換気経路確保方法（選択肢）その他	
換気経路確保方法（選択肢）アンダーカットやガラリ				

判定69

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	換気・給排水管	給排水管の維持管理対策	排水管清掃措置（選択肢）掃除口清掃	「排水管清掃措置（選択肢）掃除口清掃」「排水管清掃措置（選択肢）清掃可能なトラップ」「排水管清掃措置（選択肢）その他」のうち少なくとも一つが入力されていること
			排水管清掃措置（選択肢）清掃可能なトラップ	
			排水管清掃措置（選択肢）その他	

## 北方型住宅／北方型住宅ECO\_適合するための要件

### 判定70

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	ホルムアルデヒド対策1	F☆☆☆☆等級相当以上の建材の使用	合板／有無	「なし」「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」のいずれかが選択されていること
			合板写真（NO.38）	「合板／有無」で「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」を選択した場合は、写真が1枚以上添付されていること
			木質系フローリング／有無	「なし」「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」のいずれかが選択されていること
			フローリング写真（NO.39）	「木質系フローリング／有無」で「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」を選択した場合は写真が1枚以上添付されていること
			構造用パネル／有無	「なし」「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」のいずれかが選択されていること
			構造用パネル写真（NO.40）	「構造用パネル／有無」で「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」を選択した場合は写真が1枚以上添付されていること

### 判定71

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	ホルムアルデヒド対策2	F☆☆☆☆等級相当以上の建材の使用	集成材／有無	「なし」「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」のいずれかが選択されていること
			集成材写真（NO.41）	「集成材／有無」で「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」を選択した場合は写真が1枚以上添付されていること
			単板積層材・LVL／有無	「なし」「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」のいずれかが選択されていること
			単板積層材・LVL写真（NO.42）	「単板積層材・LVL／有無」で「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」を選択した場合は写真が1枚以上添付されていること
			MDF／有無	「なし」「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」のいずれかが選択されていること
			MDF写真（NO.43）	「MDF／有無」で「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」を選択した場合は写真が1枚以上添付されていること

### 判定72

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	ホルムアルデヒド対策3	F☆☆☆☆等級相当以上の建材の使用	パーティクルボード／有無	「なし」「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」のいずれかが選択されていること
			パーティクルボード写真（NO.44）	「パーティクルボード／有無」で「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」を選択した場合は写真が1枚以上添付されていること
			その他の木質建材／有無	「なし」「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」のいずれかが選択されていること
			その他の木質建材写真（NO.45）	「その他の木質建材／有無」で「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」を選択した場合は写真が1枚以上添付されていること
			ユリア樹脂板／有無	「なし」「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」のいずれかが選択されていること
			ユリア樹脂板写真（NO.46）	「ユリア樹脂板／有無」で「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」を選択した場合は写真が1枚以上添付されていること

### 判定73

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	ホルムアルデヒド対策4	F☆☆☆☆等級相当以上の建材の使用	壁紙／有無	「なし」「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」のいずれかが選択されていること
			壁紙写真（NO.47）	「壁紙／有無」で「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」を選択した場合は写真が1枚以上添付されていること
			接着剤／有無	「なし」「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」のいずれかが選択されていること
			接着剤写真（NO.48）	「接着剤／有無」で「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」を選択した場合は写真が1枚以上添付されていること
			保温材／有無	「なし」「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」のいずれかが選択されていること
			保温材写真（NO.49）	「保温材／有無」で「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」を選択した場合は写真が1枚以上添付されていること

## 北方型住宅／北方型住宅ECO\_適合するための要件

判定74

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	ホルムアルデヒド対策5	F☆☆☆☆等級相当以上の建材の使用	緩衝材／有無	「なし」「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」のいずれかが選択されていること
			緩衝材写真 (NO.5 0)	「緩衝材／有無」で「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」を選択した場合は写真が1枚以上添付されていること
			断熱材／有無	「なし」「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」のいずれかが選択されていること
			断熱材写真 (NO.5 1)	「断熱材／有無」で「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」を選択した場合は写真が1枚以上添付されていること
			塗料 (現場施工) ／有無	「なし」「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」のいずれかが選択されていること
			塗料 (現場施工) 写真 (NO.5 2)	「塗料 (現場施工) ／有無」で「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」を選択した場合は写真が1枚以上添付されていること

判定75

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	ホルムアルデヒド対策6	F☆☆☆☆等級相当以上の建材の使用	仕上塗装／有無	「なし」「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」のいずれかが選択されていること
			仕上塗装写真 (NO.5 3)	「仕上塗装／有無」で「F☆☆☆☆等級以上又は大臣認定品を使用」を選択した場合は写真が1枚以上添付されていること

判定76

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	外壁の後退	道路境界線からの外壁の後退距離	主たる前面道路の道路境界線からの外壁後退距離	入力されていること

判定77

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
施工状況	竣工	竣工	竣工写真 (NO.5 4)	写真が1枚以上添付されていること

## 北方型住宅／北方型住宅ECO\_適合するための要件

### 判定北方型住宅ECO1

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	省エネルギー	気密性能	気密性能の確保方法	「その他(標準的な試験方法により測定し確認)」が選択されていること
			気密性能	「1.0cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> 以下」が選択されていること
			相当隙間面積の測定	「する」が選択されていること
施工状況	気密 (詳細取合い・測定)	取合い部の気密	相当隙間面積の測定値	1.0以下が入力されていること
			実施日時	入力されていること
			実施者の会社名	入力されていること
			実施担当者氏名	入力されていること

### 判定北方型住宅ECO2

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	省エネルギー	エネルギー消費量の低減 (平成27年3月31日まで)	断熱性能の確認方法	①②のいずれかが選択されていること ①「外皮平均熱貫流率(UA値)」で0.38以下が入力されていること ②「断熱性能の確認方法」で「次世代省エネルギー基準判断基準による熱損失係数確認」を選択、かつ「熱損失係数の計算結果(Q値)」で1.3以下が入力されていること
			熱損失係数の計算結果(Q値)	
		エネルギー消費量の低減 (平成27年4月1日以後)	外皮平均熱貫流率(UA値)	

### 判定北方型住宅ECO3

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	環境負荷の低減	暖房用エネルギー消費量の算出	電力 ガス 灯油	「電力」、「ガス」、「灯油」のいずれかに0より大きい数値が入力されていること

## 北方型住宅／北方型住宅ECO\_適合するための要件

### 判定きた住まいるブランド住宅1

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	設計者	設計者	きた住まいるID	設計に登録されているきた住まいるIDが入力されていること
	工事施工者	工事施工者	きた住まいるID	建設に登録されているきた住まいるIDが入力されていること

### 判定きた住まいるブランド住宅2

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	高い耐久性	等級の確認	日本住宅性能表示基準に基づく「劣化対策等級」の評価	「等級3の評価を受けている」「等級3相当であることを確認している」のいずれかが選択されていること

### 判定きた住まいるブランド住宅3

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	高い耐久性	等級の確認	日本住宅性能表示基準に基づく「耐震等級」の確認	「等級1の評価を受けている」「等級1相当であることを確認している」「等級2の評価を受けている」「等級2相当であることを確認している」「等級3の評価を受けている」「等級3相当であることを確認している」のいずれかが選択されていること

### 判定きた住まいるブランド住宅4

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	省エネルギー	等級の確認	日本住宅性能表示基準に基づく「断熱等性能等級」の評価	「等級4の評価を受けている」「等級4相当であることを確認している」のいずれかが選択されていること

### 判定きた住まいるブランド住宅5

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	省エネルギー	等級の確認	日本住宅性能表示基準に基づく「一次エネルギー消費量等級」の評価	「等級4の評価を受けている」「等級4相当であることを確認している」「等級5の評価を受けている」「等級5相当であることを確認している」のいずれかが選択されていること

### 判定きた住まいるブランド住宅6

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	省エネルギー	エネルギー消費量の低減（平成27年4月1日以降）	合計（Est）	「合計（Et）」と「合計（Est）」が入力され、「合計（Et）」÷「合計（Est）」が1.0以下となること
		エネルギー消費量の低減（平成27年4月1日以降）	合計（Et）	
		エネルギー消費量の低減（平成27年4月1日以降）	「Et ÷ Est」	



# 北方型住宅／北方型住宅ECO\_適合するための要件

## ●表の見方

① 判定1	② 大項目	③ 中項目	④ 小項目	⑤ 入力欄・選択欄	⑥ 適合するための要件
基本		建築主	建築主	氏名	入力されていること
				カナ氏名	入力されていること
				郵便番号	入力されていること
				住所	入力されていること
				電話番号	入力されていること

① 判定の番号です。また、判定する住宅の種類を以下の様に示しています。

- ・判定 + 番号 「北方型住宅水準」、「北方型住宅ECO水準」、「きた住まいるブランド住宅／北方型住宅」、「きた住まいるブランド住宅／北方型住宅ECO」  
※判定40、41は「北方型住宅ECO水準」、「きた住まいるブランド住宅／北方型住宅ECO」では判定されません
- ・判定北方型住宅ECO + 番号 「北方型住宅ECO水準」、「きた住まいるブランド住宅／北方型住宅ECO」
- ・判定きた住まいるブランド住宅 + 番号 「きた住まいるブランド住宅／北方型住宅」、「きた住まいるブランド住宅／北方型住宅ECO」

②～⑥ システムと対応する項目を示しています。

### 保管用詳細データの入力・各基準適合判定 【北方型住宅水準テスト／北方型住宅水準】

基本 ②
  設計
  施工状況
  使用部資材
  点検・修繕計画
  現況調査

建築主等	建築主 ④
<input checked="" type="checkbox"/> 建築主 ③	<input checked="" type="checkbox"/> 氏名 ⑤ <input type="text" value="a"/> ⑥ ?
<input type="checkbox"/> 住宅検査人	<input checked="" type="checkbox"/> カナ氏名 <input type="text" value="a"/> 入力されていること
<input checked="" type="checkbox"/> 設計者	<input checked="" type="checkbox"/> 郵便番号 <input type="text" value="a"/> ?
<input checked="" type="checkbox"/> 工事監理者	<input checked="" type="checkbox"/> 住所 ※建築主の現住所を記載 <input type="text" value="a"/> ?
<input checked="" type="checkbox"/> 工事施工者	<input checked="" type="checkbox"/> 電話番号 <input type="text" value="a"/> ?
<input checked="" type="checkbox"/> BIS等	<input type="checkbox"/> メールアドレス <input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 技術者	
<input type="checkbox"/> その他の技術者	
<input checked="" type="checkbox"/> システム入力責任者	

記入内容を送信する

## 北海道 R 住宅の適合するための要件

- ・北海道 R 住宅水準
- ・きた住まいるブランド住宅／北海道 R 住宅

北海道R住宅\_\_適合するための要件

判定1

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築主	建築主	氏名	入力されていること
			カナ氏名	入力されていること
			郵便番号	入力されていること
			住所	入力されていること
			電話番号	入力されていること
			メールアドレス	入力されていること

判定2

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	住宅検査人等	住宅検査人	担当者氏名	「担当者氏名」「担当者カナ氏名」のどちらかが入力されていること
			担当者カナ氏名	
			当該物件への関与	「本人及び所属会社が仲介・設計・施工に関与していない」が選択されていること
			関係書類の添付（誓約書等）	「本人及び所属会社が仲介・設計・施工に関与していないこと」を示す関係書類が添付されていること
			住宅検査人登録番号	入力されていること

判定3

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	設計者	設計者	建築士事務所名	入力されていること
			建築士事務所種別	選択されていること
			建築士事務所登録番号	入力されていること
			郵便番号	入力されていること
			所在地	入力されていること
			電話番号	入力されていること
			担当者氏名	入力されていること
			建築士資格種別	選択されていること
			建築士登録番号	入力されていること

判定4

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	工事監理者	工事監理者	建築士事務所名	入力されていること
			建築士事務所登録番号	入力されていること
			郵便番号	入力されていること
			所在地	入力されていること
			電話番号	入力されていること
			担当者氏名	入力されていること
			建築士資格種別	選択されていること
			建築士登録番号	入力されていること

判定5

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	工事施工者	工事施工者	会社・営業所名	入力されていること
			建設業許可番号	入力されていること
			郵便番号	入力されていること
			所在地	入力されていること
			電話番号	入力されていること
			担当者氏名	入力されていること

判定6

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	BIS等	BIS・BIS-Mまたは 住宅省エネルギー技術者講習会の修了者 (設計の関与)	登録番号	全て入力し、実際に登録されている番号及び氏名、カナ氏名であること
			氏名	
			カナ氏名	

北海道R住宅\_\_適合するための要件

判定7

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	BIS等	BIS-E・BIS-Mまたは 住宅省エネルギー技術者講習会の修了者 (施工の関与)	登録番号	全て入力し、実際に登録されている番号及び氏名、カナ氏名であること
			氏名	
			カナ氏名	

判定8

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	システム入力責任者	システム入力責任者	社名	入力されていること
			郵便番号	入力されていること
			所在地	入力されていること
			電話番号	入力されていること
			氏名	入力されていること
			役職	入力されていること
			建築士資格種別	選択されていること
			登録番号	入力されていること
			建築士以外の資格	入力されていること
			メールアドレス	入力されていること

判定9

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築物及び敷地	敷地	登記簿記載の地名地番	入力されていること
			住居表示（都道府県）	選択されていること
			住居表示（市町村）	入力されていること
			住居表示（町名番地）	入力されていること
			住居表示カナ	入力されていること
			地域区分	選択されていること
			都市計画区域及び準都市計画区域	選択されていること
			市街化区域または市街化調整区域	選択されていること
			建築基準法6条1項4号指定区域	選択されていること
			防火地域等の指定(一部地域指定を含む)	選択されていること
			敷地面積	入力されていること

判定10

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築物及び敷地	構造	主たる構造	選択されていること
			主たる構造が木造の場合の工法	「主たる構造」で「木造」を選択した場合は、選択されていること

判定11

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築物及び敷地	階数	地上階数	入力されていること
			地下階数	入力されていること

判定12

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築物及び敷地	建築面積	建築面積	入力されていること

判定13

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築物及び敷地	延べ面積	延べ面積	入力されていること
			床面積（1階）	入力されていること
			床面積（2階）	入力されていること
			床面積（3階）	入力されていること
			地階部分	入力されていること

北海道R住宅\_\_適合するための要件

判定14

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	高い耐久性	耐震性能の確保	確保する耐震性能	①②のいずれかに適合していること
			新耐震基準	①「確保する耐震性能」で「S56.6月～」を選択、かつ「新耐震基準」で「建築基準法第7条5項による検査済証がある」「建築基準法第7条5項による検査済証がない」「建築士による確認」のいずれかを選択、かつ「資料（工事完了検査済証等）」で資料を添付すること
			【S56.6】資料（工事完了検査済証等）	
			H12改正基準	②「確保する耐震性能」で「H12.6月～」を選択、かつ「H12改正基準」でいずれかを選択、かつ「資料（工事完了検査済証等）」で資料を添付すること
			【H12.6】資料（工事完了検査済証等）	

判定15

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	高い耐久性	構造部材の耐久性確保	通気層の設置	「通気層の設置」で「設置している」が選択されている、又は「通気層の設置」で「その他の措置を講じている」が選択され「通気層設置以外の措置」が入力されている
			通気層設置以外の措置	
			使用木材	「使用木材」で「すべて集成材を使用」が選択されている、又は「使用木材」で「乾燥材と集成材を併用」「すべて乾燥材を使用」のいずれかが選択され「含水率」で20以下が入力されている
			含水率	

判定16

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件	
設計	土台・床下換気など	床下防湿措置	床下換気孔	基礎の断熱方法等	選択されていること
			防湿措置の方法	「基礎の断熱方法等」で「基礎断熱又はスカート断熱」を選択した場合は、選択されていること。「基礎の断熱方法等」で「基礎断熱又はスカート断熱」以外を選択した場合は、「防湿フィルム」又は「コンクリート打設」が選択されていること。	
			防湿フィルムの厚さ	「防湿措置の方法」で「防湿フィルム」を選択した場合は、0.1以上が入力されていること	
			砂の厚さ	「防湿措置の方法」で「防湿フィルム」を選択した場合は、50以上が入力されていること または、「コンクリートの厚さ」で50以上を入力していること	
			コンクリートの厚さ	①～④のいずれかに該当すること ①「基礎の断熱方法等」で「基礎断熱又はスカート断熱」を選択、かつ「防湿措置の方法」で「防湿フィルム」を選択、かつ「砂の厚さ」が未入力の場合は、50以上が入力されていること ②「基礎の断熱方法等」で「基礎断熱又はスカート断熱」を選択、かつ「防湿措置の方法」で「コンクリート打設」を選択した場合は、100以上が入力されていること ③「基礎の断熱方法等」で「基礎断熱又はスカート断熱」を選択、かつ「防湿措置の方法」で「土間コンクリート床スラブ」を選択した場合は、120以上が入力されていること ④「基礎の断熱方法等」で「基礎断熱又はスカート断熱」以外を選択、かつ「防湿措置の方法」で「コンクリート打設」を選択した場合は、60以上が入力されていること	
			ワイヤーメッシュの径	「基礎の断熱方法等」で「基礎断熱又はスカート断熱」を選択し、「防湿措置の方法」で「コンクリート打設」又は「土間コンクリート床スラブ」を選択した場合は、4以上が入力されていること	
			ワイヤーメッシュの間隔	「基礎の断熱方法等」で「基礎断熱又はスカート断熱」を選択し、「防湿措置の方法」で「コンクリート打設」又は「土間コンクリート床スラブ」を選択した場合は、150以下が入力されていること	

判定17

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	土台・床下換気など	土台防湿措置	防湿措置の方法	「防湿措置なし」以外が選択されていること。
			具体的な防湿措置	「防湿措置の方法」で「その他の防湿措置」が選択されている場合は、入力されていること

判定18

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	段差	日常生活空間内の段差	便所	3以下が入力されていること
			脱衣所・洗面所	3以下が入力されていること
			特定寝室	3以下が入力されていること
			特定寝室から連続する食事室・居間	3以下が入力されていること
			勝手口	3以下が入力されていること

北海道R住宅\_適合するための要件

判定19

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	階段・手すりなど	手すり	階段	「住宅内階段の有無」で「階段あり」が選択されている場合は、「設置あり」が選択されていること 選択されていること
		階段	住宅内階段の有無	

判定20

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	省エネルギー	エネルギー消費量の低減（平成27年4月1日	外皮平均熱貫流率（UA値）	0.46以下が入力されていること
		気密性能	気密性能 相当隙間面積の測定	「2.0cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> 以下」又は「1.0cm <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> 以下」の数値が選択されていること 「する」が選択されていること
施工状況	気密(詳細取合い・測定)	取合い部の気密	測定結果資料（報告書等）	報告書等が添付されていること

判定21

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	構造・雨水の瑕疵保証	構造・雨水の瑕疵保証	瑕疵保証の有無	「あり」が選択されていること
			瑕疵保証期間	入力されていること
			瑕疵保証機関名	入力されていること
			保険証/確約書等の添付	保険証、契約書等が添付されていること

判定22

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
点検・修繕計画	計画の登録・保管	点検・修繕計画の登録・保管	点検・修繕計画等	添付されていること

判定23

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
現況調査	物件概要	調査結果	調査結果	「現況調査票」の添付がある場合は、「現況調査」>「物件概要」>「物件概要」以外の大項目 「現況調査」（判定25～37）の判定項目はすべて適合となる

判定24

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
現況調査	物件概要	物件概要	作成日（年）	選択されていること
			作成日（月）	選択されていること
			作成日（日）	選択されていること
			調査日（年）	選択されていること
			調査日（月）	選択されていること
			調査日（日）	選択されていること
			ご依頼者氏名	入力されていること

北海道R住宅\_適合するための要件

判定25

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
現況調査	評価・アドバイス	評価・アドバイス	総合所見	入力されていること
			断熱／結果	入力されていること
			断熱／評価	入力されていること
			断熱／アドバイス	入力されていること
			防水／結果	入力されていること
			防水／評価	入力されていること
			防水／アドバイス	入力されていること
			防湿／結果	入力されていること
			防湿／評価	入力されていること
			防湿／アドバイス	入力されていること
			構造／結果	入力されていること
			構造／評価	入力されていること
			構造／アドバイス	入力されていること
			換気／結果	入力されていること
			換気／評価	入力されていること
			換気／アドバイス	入力されていること
			劣化／結果	入力されていること
			劣化／評価	入力されていること
			劣化／アドバイス	入力されていること
			設備／結果	入力されていること
設備／評価	入力されていること			
設備／アドバイス	入力されていること			

判定26

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
現況調査	基礎	基礎	基礎の不同沈下	選択されていること
			基礎の不同沈下（コメント）	「基礎の不同沈下」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			鉄筋施工の有無	選択されていること
			鉄筋施工の有無（コメント）	「鉄筋施工の有無」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			鉄筋の露出事象	選択されていること
			鉄筋の露出事象（コメント）	「鉄筋の露出事象」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			コンクリートの劣化【外部仕上げ】	選択されていること
			コンクリートの劣化【外部仕上げ】（コメント）	「コンクリートの劣化【外部仕上げ】」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			コンクリートの劣化【内部躯体】	選択されていること
			コンクリートの劣化【内部躯体】（コメント）	「コンクリートの劣化【内部躯体】」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			基礎写真	「基礎の不同沈下」、「鉄筋施工の有無」、「調査不能」、「鉄筋の露出事象」、「コンクリートの劣化【外部仕上げ】」、「コンクリートの劣化【内部躯体】」がすべて「調査不能」となっていない場合写真の添付が必須
			考察・写真の状況コメント	「基礎の不同沈下」、「鉄筋施工の有無」、「調査不能」、「鉄筋の露出事象」、「コンクリートの劣化【外部仕上げ】」、「コンクリートの劣化【内部躯体】」がすべて「調査不能」となっていない場合は入力が必須

判定27

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
現況調査	【安全性】床下	床下	土台・大引・根太・床束・束石	選択されていること
			土台・大引・根太・床束・束石（コメント）	「土台・大引・根太・床束・束石」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			考察・写真の状況コメント	「土台・大引・根太・床束・束石」で「調査不能」以外を選択した場合は、入力されていること

北海道R住宅\_適合するための要件

判定28

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
現況調査	【安全性】小屋裏	小屋裏	ひび割れ	選択されていること
			ひび割れ (コメント)	「ひび割れ」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			腐朽	選択されていること
			腐朽 (コメント)	「腐朽」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			小屋裏写真	「ひび割れ」、「腐朽」がすべて「調査不能」となっていない場合は添付が必須
			考察・写真の状況コメント	「ひび割れ」、「腐朽」がすべて「調査不能」となっていない場合は入力が必須

判定29

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
現況調査	【暖かさ・耐久性】床下	床下	床下断熱材等の確認	選択されていること
			床下断熱材等の確認 (コメント)	「床下断熱材等の確認」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			基礎断熱材等の確認	選択されていること
			基礎断熱材等の確認 (コメント)	「基礎断熱材等の確認」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			かび臭	選択されていること
			かび臭 (コメント)	「かび臭」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			土の状態	選択されていること
			土の状態 (コメント)	「土の状態」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			床下防湿シート等の確認	選択されていること
			床下防湿シート等の確認 (コメント)	「床下防湿シート等の確認」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			漏水等の有無	選択されていること
			漏水等の有無 (コメント)	「漏水等の有無」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			床下換気口の設置	選択されていること
			床下換気口の設置 (コメント)	「床下換気口の設置」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			床下写真	「床下断熱材等の確認」、「基礎断熱材等の確認」、「かび臭」、「土の状態」、「床下防湿シート等の確認」、「漏水等の有無」、「床下換気口の設置」がすべて「調査不能」となっていない場合は添付が必須
			考察・写真の状況コメント	「床下断熱材等の確認」、「基礎断熱材等の確認」、「かび臭」、「土の状態」、「床下防湿シート等の確認」、「漏水等の有無」、「床下換気口の設置」がすべて「調査不能」となっていない場合は入力が必須

判定30

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
現況調査	外壁	外壁	シーリング材の劣化	選択されていること
			シーリング材の劣化 (コメント)	「シーリング材の劣化」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			外壁材の劣化	選択されていること
			外壁材の劣化 (コメント)	「外壁材の劣化」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			外壁通気層の設置	選択されていること
			外壁通気層の設置 (コメント)	「外壁通気層の設置」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			開口部本体の劣化 (建て付け・開閉不良・施錠不良等)	選択されていること
			開口部本体の劣化 (建て付け・開閉不良・施錠不良等) (コメント)	「開口部本体の劣化 (建て付け・開閉不良・施錠不良等)」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			開口部のガラス・気密シーリングの劣化	選択されていること
			開口部のガラス・気密シーリングの劣化 (コメント)	「開口部のガラス・気密シーリングの劣化」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			開口部の種類 (選択肢) (アルミ)	「開口部の種類 (選択肢) (アルミ)」「開口部の種類 (選択肢) (木製)」「開口部の種類 (選択肢) (PVC)」のいずれか一つ以上を選択、または「開口部の種類 (選択肢) (その他)」を選択、または「シーリング材の劣化」「外壁材の劣化」「外壁通気層の設置」「開口部本体の劣化 (建て付け・開閉不良・施錠不良等)」「開口部のガラス・気密シーリングの劣化」
			開口部の種類 (選択肢) (木製)	
			開口部の種類 (選択肢) (PVC)	
			開口部の種類 (選択肢) (その他)	
			開口部の種類 (コメント)	「開口部の種類 (選択肢) (その他)」が選択されている場合は、入力されていること
考察・写真の状況コメント	「シーリング材の劣化」「外壁材の劣化」「外壁通気層の設置」「開口部本体の劣化 (建て付け・開閉不良・施錠不良等)」「開口部のガラス・気密シーリングの劣化」がすべて「調査不能」となっていない場合は入力が必須			



北海道R住宅\_\_適合するための要件

判定31

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
現況調査	軒裏	軒裏	軒裏（軒天井）の劣化	選択されていること
			軒裏（軒天井）の劣化（コメント）	「軒裏（軒天井）の劣化」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			考察・写真の状況コメント	「軒裏（軒天井）の劣化」で「調査不能」以外を選択した場合は、入力されていること

判定32

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
現況調査	【暖かさ・耐久性】小屋裏	小屋裏	【天井面】断熱材等の確認	選択されていること
			【天井面】断熱材等の確認（コメント）	「【天井面】断熱材等の確認」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			【外壁面】断熱材等の確認	選択されていること
			【外壁面】断熱材等の確認（コメント）	「【外壁面】断熱材等の確認」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			防湿シート等の有無	選択されていること
			防湿シート等の有無（コメント）	「防湿シート等の有無」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			漏水等の有無	選択されていること
			漏水等の有無（コメント）	「漏水等の有無」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			軒裏換気・小屋裏換気口の設置確認	選択されていること
			軒裏換気・小屋裏換気口の設置確認（コメント）	「軒裏換気・小屋裏換気口の設置確認」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			小屋裏換気・通気の確保	選択されていること
			小屋裏換気・通気の確保（コメント）	「小屋裏換気・通気の確保」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			小屋裏写真	「【天井面】断熱材等の確認」「【外壁面】断熱材等の確認」「防湿シート等の有無」「漏水等の有無」「軒裏換気・小屋裏換気口の設置確認」「小屋裏換気・通気の確保」がすべて「調査不能」となっていない場合は添付が必須
			考察・写真の状況コメント	「【天井面】断熱材等の確認」「【外壁面】断熱材等の確認」「防湿シート等の有無」「漏水等の有無」「軒裏換気・小屋裏換気口の設置確認」「小屋裏換気・通気の確保」がすべて「調査不能」となっていない場合は入力必須

判定33

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
現況調査	屋根破風	屋根破風	仕上げ材・屋根葺材、破風の劣化	選択されていること
			仕上げ材・屋根葺材、破風の劣化（コメント）	「仕上げ材・屋根葺材、破風の劣化」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			防水・シーリング材の劣化	選択されていること
			防水・シーリング材の劣化（コメント）	「防水・シーリング材の劣化」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			屋根破風写真	「仕上げ材・屋根葺材、破風の劣化」「防水・シーリング材の劣化」がすべて「調査不能」となっていない場合は添付が必須
			考察・写真の状況コメント	「仕上げ材・屋根葺材、破風の劣化」「防水・シーリング材の劣化」がすべて「調査不能」となっていない場合は入力必須

判定34

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
現況調査	設備	設備	給水・給湯／赤水	選択されていること
			給水・給湯／赤水（コメント）	「給水・給湯／赤水」で「調査不能」以外を選択した場合は、入力されていること
			暖房	入力されていること
			換気方式・局所換気作動	選択されていること
			換気方式・局所換気作動（コメント）	「換気方式・局所換気作動」で「調査不能」以外を選択した場合は、入力されていること
			換気方式・全体換気	入力されていること
			設備（キッチン）写真	写真が添付されていること
			設備（洗面所）写真	写真が添付されていること
			設備（浴室）写真	写真が添付されていること
			設備（トイレ）写真	写真が添付されていること
			設備写真	「給水・給湯／赤水」、「換気方式・局所換気作動」がすべて「調査不能」となっていない場合は写真の添付が必須
考察・写真の状況コメント	「給水・給湯／赤水」、「換気方式・局所換気作動」がすべて「調査不能」となっていない場合は入力必須			

北海道R住宅\_適合するための要件

判定35

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
現況調査	室内	室内	床【部分】/仕上げ材・仕上げ材の状態	選択されていること
			床【部分】/仕上げ材・仕上げ材の状態（コメント）	「仕上げ材・仕上げ材の状態」で「調査不能」以外を選択した場合は、入力されていること
			床【部分】/傾斜・床の傾斜状態	選択されていること
			床【部分】/傾斜・床の傾斜状態（コメント）	「傾斜・床の傾斜状態」で「調査不能」以外を選択した場合は、入力されていること
			床【部分】/傾斜・床の沈み・床鳴り・揺らぎ	選択されていること
			床【部分】/傾斜・床の沈み・床鳴り・揺らぎ（コメント）	「傾斜・床の沈み・床鳴り・揺らぎ」で「調査不能」以外を選択した場合は、入力されていること
			床【部分】/漏水の跡	選択されていること
			床【部分】/漏水の跡（コメント）	「【床】漏水の跡」で「調査不能」以外を選択した場合は、入力されていること
			床【全体】/床全体の傾斜	選択されていること
			床【全体】/床全体の傾斜（コメント）	「床全体の傾斜」で「調査不能」以外を選択した場合は、入力されていること
			壁/仕上げ材・仕上げ材の状況	選択されていること
			壁/仕上げ材・仕上げ材の状況（コメント）	「【壁】仕上げ材・仕上げ材の状況」で「調査不能」以外を選択した場合は、入力されていること
			壁/傾斜壁・柱の傾斜状態	選択されていること
			壁/傾斜壁・柱の傾斜状態（コメント）	「傾斜壁・柱の傾斜状態」で「調査不能」以外を選択した場合は、入力されていること
			壁/漏水の跡	選択されていること
			壁/漏水の跡（コメント）	「【壁】漏水の跡」で「調査不能」以外を選択した場合は、入力されていること
			天井/仕上げ材・仕上げ材の状況	選択されていること
			天井/仕上げ材・仕上げ材の状況（コメント）	「【天井】仕上げ材・仕上げ材の状況」で「調査不能」以外を選択した場合は、入力されていること
			天井/漏水の跡	選択されていること
			天井/漏水の跡（コメント）	「【天井】漏水の跡」で「調査不能」以外を選択した場合は、入力されていること
			階段/路面の沈み・床鳴り・揺らぎ	選択されていること
			階段/路面の沈み・床鳴り・揺らぎ（コメント）	「路面の沈み・床鳴り・揺らぎ」で「調査不能」以外を選択した場合は、入力されていること
			室内写真	「路面の沈み・床鳴り・揺らぎ」、「傾斜・床の傾斜状態」、「傾斜・床の沈み・床鳴り・揺らぎ」、「【床】漏水の跡」、「仕上げ材・仕上げ材の状態」、「【天井】漏水の跡」、「【天井】仕上げ材・仕上げ材の状況」、「傾斜壁・柱の傾斜状態」、「【壁】漏水の跡」、「【壁】仕上げ材・仕上げ材の状況」、「床全体の傾斜」がすべて「調査不能」となっていない場合は写真の添付が必須
			考察・写真の状況コメント	「路面の沈み・床鳴り・揺らぎ」、「傾斜・床の傾斜状態」、「傾斜・床の沈み・床鳴り・揺らぎ」、「【床】漏水の跡」、「仕上げ材・仕上げ材の状態」、「【天井】漏水の跡」、「【天井】仕上げ材・仕上げ材の状況」、「傾斜壁・柱の傾斜状態」、「【壁】漏水の跡」、「【壁】仕上げ材・仕上げ材の状況」、「床全体の傾斜」がすべて「調査不能」となっていない場合は入力が必須

判定36

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
現況調査	バルコニー・ベランダ	バルコニー・ベランダ	バルコニー・ベランダ使用部材の劣化	選択されていること
			バルコニー・ベランダ使用部材の劣化（コメント）	「バルコニー・ベランダ使用部材の劣化」で「調査不能」を選択した場合は、入力されていること
			考察・写真の状況コメント	「バルコニー・ベランダ使用部材の劣化」で「調査不能」以外を選択した場合は、入力されていること

判定37

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
現況調査	敷地・外構	敷地・外構	雪処理（選択肢）（落雪）	「雪処理（選択肢）（落雪）」「雪処理（選択肢）（防雪柵）」「雪処理（選択肢）（ロードヒーティング）」のいずれか一つ以上を選択、または「雪処理（選択肢）（その他）」を選択、または「擁壁・塀の劣化」「堆雪スペース」で「調査不能」が選択されていること
			雪処理（選択肢）（防雪柵）	
			雪処理（選択肢）（ロードヒーティング）	
			雪処理（選択肢）（その他）	
			雪処理（コメント）	「雪処理（選択肢）（その他）」を選択した場合は、入力されていること
			擁壁・塀の劣化	選択されていること
			擁壁・塀の劣化（コメント）	「擁壁・塀の劣化」で「調査不能」以外を選択した場合は、入力されていること
			堆雪スペース	選択されていること
考察・写真の状況コメント	「擁壁・塀の劣化」「堆雪スペース」がすべて「調査不能」となっていない場合は入力が必須			

## 北海道R住宅\_\_適合するための要件

### 判定きた住まいるブランド住宅1

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	設計者	設計者	きた住まいるID	設計に登録されているきた住まいるIDが入力されていること
	工事施工者	工事施工者	きた住まいるID	建設に登録されているきた住まいるIDが入力されていること

### 判定きた住まいるブランド住宅2

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	高い耐久性	等級の確認（改修工事の場合） 日本住宅性能表示基準に基づく「劣化対策等級」の評価	改修（本工事）前の性能 適応する基準	次のいずれかに該当すること ①「改修（本工事）前の性能 適応する基準」で「既存住宅基準」を選択し、「改修（本工事）前の性能 等級」で、「等級3の評価を受けている」「等級3相当であることを確認している」のいずれかが選択されていること ②「改修（本工事）後の性能 適応する基準」で「既存住宅基準」を選択し、「改修（本工事）後の性能 等級」で、「等級3の評価を受けている」「等級3相当であることを確認している」のいずれかが選択されていること
			改修（本工事）前の性能 等級	
			改修（本工事）後の性能 適応する基準	
			改修（本工事）後の性能 等級	

### 判定きた住まいるブランド住宅3

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	高い耐久性	等級の確認（改修工事の場合） 日本住宅性能表示基準に基づく「耐震等級」の確認	改修（本工事）前の性能 適応する基準	次のいずれかに該当すること ①「改修（本工事）前の性能 適応する基準」で「既存住宅基準」を選択し、「改修（本工事）前の性能 等級」で、「等級1の評価を受けている」「等級1相当であることを確認している」「等級2の評価を受けている」「等級2相当であることを確認している」「等級3の評価を受けている」「等級3相当であることを確認している」のいずれかが選択されていること ②「改修（本工事）後の性能 適応する基準」で「既存住宅基準」を選択し、「改修（本工事）後の性能 等級」で、「等級1の評価を受けている」「等級1相当であることを確認している」「等級2の評価を受けている」「等級2相当であることを確認している」「等級3の評価を受けている」「等級3相当であることを確認している」のいずれかが選択されていること
			改修（本工事）前の性能 等級	
			改修（本工事）後の性能 適応する基準	
			改修（本工事）後の性能 等級	

### 判定きた住まいるブランド住宅4

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
設計	省エネルギー	等級の確認（改修工事の場合） 日本住宅性能表示基準に基づく「断熱等性能等級」の評価	改修（本工事）前の性能 適応する基準	次のいずれかに該当すること ①「改修（本工事）前の性能 適応する基準」で「既存住宅基準」を選択し、「改修（本工事）前の性能 等級」で、「等級3の評価を受けている」「等級3相当であることを確認している」「等級4の評価を受けている」「等級4相当であることを確認している」のいずれかが選択されていること ②「改修（本工事）後の性能 適応する基準」で「既存住宅基準」を選択し、「改修（本工事）後の性能 等級」で、「等級3の評価を受けている」「等級3相当であることを確認している」「等級4の評価を受けている」「等級4相当であることを確認している」のいずれかが選択されていること
			改修（本工事）前の性能 等級	
			改修（本工事）後の性能 適応する基準	
			改修（本工事）後の性能 等級	

# 北海道R住宅\_\_適合するための要件

## ●表の見方

① 判定1	② 大項目	③ 中項目	④ 小項目	⑤ 入力欄・選択欄	⑥ 適合するための要件
基本		建築主	建築主	氏名 カナ氏名 郵便番号 住所 電話番号 メールアドレス	入力されていること 入力されていること 入力されていること 入力されていること 入力されていること 入力されていること

① 判定の番号です。また、判定する住宅の種類を以下の様に示しています。

- ・判定 + 番号 「北海道R住宅水準」、「きた住まいるブランド住宅／北海道R住宅」
- ・判定きた住まいるブランド住宅 + 番号 「きた住まいるブランド住宅／北海道R住宅」

②～⑥ システムと対応する項目を示しています。

保管用詳細データの入力・各基準適合判定 【きた住まいるブランド住宅(北方型R住宅)テスト/きた住まいるブランド住宅/3.北海道R住宅】

基本 ②
  設計
  施工状況
  使用部資材
  点検・修繕計画
  現況調査

建築主等	建築主 ④
<input checked="" type="checkbox"/> 建築主 ③	<input checked="" type="checkbox"/> 氏名 ⑤ <input type="text"/> ⑥ ?
<input checked="" type="checkbox"/> 住宅検査人	<input checked="" type="checkbox"/> カナ氏名 <input type="text"/> 入力されていること
<input checked="" type="checkbox"/> 設計者	<input checked="" type="checkbox"/> 郵便番号 <input type="text"/> ?
<input checked="" type="checkbox"/> 工事監理者	<input checked="" type="checkbox"/> 住所 ※建築主の現住所を記載 <input type="text"/> ?
<input checked="" type="checkbox"/> 工事施工者	<input checked="" type="checkbox"/> 電話番号 <input type="text"/> ?
<input checked="" type="checkbox"/> BIS等	<input checked="" type="checkbox"/> メールアドレス <input type="text"/> ?
<input type="checkbox"/> 技術者	
<input type="checkbox"/> その他の技術者	
<input checked="" type="checkbox"/> システム入力責任者	<input checked="" type="checkbox"/> 記入内容を送信する
建築物及びその敷地	<input type="checkbox"/> 住宅の詳細情報に戻る

## その他住宅の適合するための要件

- ・その他の新築住宅
- ・その他の既存住宅

その他の新築住宅／その他の既存住宅\_適合するための要件

判定1

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築主	建築主	氏名	入力されていること
			カナ氏名	入力されていること
			郵便番号	入力されていること
			住所	入力されていること
			電話番号	入力されていること
			メールアドレス	入力されていること

判定2

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	設計者	設計者	建築士事務所名	入力されていること
			建築士事務所種別	選択されていること
			建築士事務所登録番号	入力されていること
			郵便番号	入力されていること
			所在地	入力されていること
			電話番号	入力されていること
			担当者氏名	入力されていること
			建築士資格種別	選択されていること
			建築士登録番号	入力されていること

判定3

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	工事監理者	工事監理者	建築士事務所名	入力されていること
			建築士事務所登録番号	入力されていること
			郵便番号	入力されていること
			所在地	入力されていること
			電話番号	入力されていること
			担当者氏名	入力されていること
			建築士資格種別	選択されていること
			建築士登録番号	入力されていること

判定4

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	工事施工者	工事施工者	会社・営業所名	入力されていること
			建設業許可番号	入力されていること
			郵便番号	入力されていること
			所在地	入力されていること
			電話番号	入力されていること
			担当者氏名	入力されていること

その他の新築住宅／その他の既存住宅\_適合するための要件

判定5

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	BIS等	BIS・BIS-Mまたは住宅省エネルギー技術者講習会の修了者（設計の関与）	氏名	①②③のいずれかに適合していること
			カナ氏名	①「氏名」「カナ氏名」「登録番号※BIS、BIS-M」が入力されており、実際に登録されている番号及び氏名、カナ氏名であること
			登録番号 ※BIS、BIS-M	②「氏名」「登録番号※住宅省エネルギー技術講習会設計者講習会修了者」が入力されていること
			登録番号 ※住宅省エネルギー技術講習会設計者講習会修了者	③判定6が適合していること

判定6

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	BIS等	BIS-E・BIS-Mまたは住宅省エネルギー技術者講習会の修了者（施工の関与）	氏名	①②③のいずれかに適合していること
			カナ氏名	①「氏名」「カナ氏名」「登録番号※BIS-E、BIS-M」が入力されており、実際に登録されている番号及び氏名、カナ氏名であること
			登録番号 ※BIS-E、BIS-M	②「氏名」「登録番号※住宅省エネルギー技術講習会設計者講習会修了者」が入力されていること
			登録番号 ※住宅省エネルギー技術講習会施工技術者講習会修了者	③判定5が適合していること

判定7

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	システム入力責任者	システム入力責任者	社名	入力されていること
			郵便番号	入力されていること
			所在地	入力されていること
			電話番号	入力されていること
			氏名	入力されていること
			役職	入力されていること
			建築士資格種別	選択されていること
			登録番号	入力されていること
			建築士以外の資格	入力されていること
			メールアドレス	入力されていること
			入力内容	入力されていること

その他の新築住宅／その他の既存住宅\_適合するための要件

判定8

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築物及び敷地	敷地	登記簿記載の地名地番	入力されていること
			住居表示（都道府県）	選択されていること
			住居表示（市町村）	入力されていること
			住居表示（町名番地）	入力されていること
			住居表示カナ	入力されていること
			地域区分	選択されていること
			都市計画区域及び準都市計画区域	選択されていること
			市街化区域または市街化調整区域	選択されていること
			建築基準法6条1項4号指定区域	選択されていること
			防火地域等の指定	選択されていること
			敷地面積	入力されていること

判定 9

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築物及び敷地	構造	主たる構造	選択されていること
			主たる構造が木造の場合の工法	「主たる構造」で「木造」を選択した場合は、選択されていること

判定10

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築物及び敷地	階数	地上階数	0以上を入力
			地下階数	0以上を入力、かつ「地下階数」に1以上を入力した場合は「地階部分」を入力
		延べ面積	地階部分	

判定11

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築物及び敷地	建築面積	建築面積	0以上を入力

判定12

大項目	中項目	小項目	入力欄・選択欄	適合するための要件
基本	建築物及び敷地	延べ面積	延べ面積	0以上を入力
			床面積（1階）	0以上を入力
			床面積（2階）	0以上を入力
			床面積（3階）	0以上を入力



# その他の新築住宅／その他の既存住宅\_適合するための要件

## ●表の見方

① 判定1	② 大項目	③ 中項目	④ 小項目	⑤ 入力欄・選択欄	⑥ 適合するための要件
基本		建築主	建築主	氏名	入力されていること
				カナ氏名	入力されていること
				郵便番号	入力されていること
				住所	入力されていること
				電話番号	入力されていること
				メールアドレス	入力されていること

① 判定の番号です。また、判定する住宅の種類を以下の様に示しています。

・判定 + 番号 「その他の新築住宅」、「その他の既存住宅」

②～⑥ システムと対応する項目を示しています。

### 保管用詳細データの入力・各基準適合判定 【北方型住宅水準テスト／北方型住宅水準】

基本 ②
  設計
  施工状況
  使用部資材
  点検・修繕計画
  現況調査

建築主等	建築主 ④
<input checked="" type="checkbox"/> 建築主 ③	<input checked="" type="checkbox"/> 氏名 ⑤ <input type="text" value="a"/> ⑥ <input type="text" value="a"/>
<input type="checkbox"/> 住宅検査人	<input checked="" type="checkbox"/> カナ氏名 <input type="text" value="a"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 設計者	<input checked="" type="checkbox"/> 郵便番号 <input type="text" value="a"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 工事監理者	<input checked="" type="checkbox"/> 住所 ※建築主の現住所を記載 <input type="text" value="a"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 工事施工者	<input checked="" type="checkbox"/> 電話番号 <input type="text" value="a"/>
<input checked="" type="checkbox"/> BIS等	<input type="checkbox"/> メールアドレス <input type="text"/>
<input type="checkbox"/> 技術者	
<input type="checkbox"/> その他の技術者	
<input checked="" type="checkbox"/> システム入力責任者	
建築物及びその敷地	

記入内容を送信する